



TITLE:

# 京都大学結核胸部疾患研究所年報 (昭和 60 年度)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学結核胸部疾患研究所年報 (昭和 60 年度). 京都大学結核胸部疾患研究所紀要 1986, 19(1/2)

ISSUE DATE:

1986-08-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/52124>

RIGHT:

京 都 大 学

# 結核胸部疾患研究所年報

昭 和 6 0 年 度

(1 9 8 6 年 3 月)

京都大学結核胸部疾患研究所

# 京 都 大 学

## 結 核 胸 部 疾 患 研 究 所 年 報

昭 和 60 年 度

(1985 年)

---

### 京都大学結核胸部疾患研究所職員

---

(昭和61年3月30日現在)

所 長 教 授 佐 川 弥之助

#### (内科学第一部門)

主任教授：久世文幸，助教授：川合 満，講師：倉沢卓也，助手：山本孝吉，網谷良一，村山尚子，田中栄作，  
講師(非常勤)：今井節朗，中井 準，吉見輝也，河野博臣，岩田猛邦，辻野博之，中西通泰，技官：本間トキエ，  
技術補佐員：片岡和美

#### (内科学第二部門)

主任教授：大島駿作，助教授：泉 孝英，講師：門 政男，助手：北市正則，松井祐佐公，平田健雄，講師(非常勤)：日置辰一郎，中島道郎，佐藤篤彦，杉本幾久雄，北 徹  
技官：今井保代，技能補佐員：谷岡文子，曾根千雅，奥田敦子

#### (胸部外科学部門)

主任教授：人見滋樹，助教授：伊藤元彦，講師：和田洋巳，助手：光岡明夫，田村康一，青木 稔，講師(非常勤)：吉栖正之，秋山文彌，日野常稔，宮田暉夫，香川輝正，岡田慶夫，草川 實，玉井 直，技官：平井 要  
事務補佐員：山本尚子，技能補佐員：高 淳恵，石橋浩一，寺本奈尾美

#### (病理学部門)

主任教授：竹田俊男，助教授：鈴木康弘  
助手：細川昌則，樋口京一，講師(非常勤)：三ツ井洋司，馬場満男，江崎孝三郎，里内 清  
技官：松下隆寿，小岸久美子，岩井昭一，技能補佐員：門田一美，医員：藤田葉子，(研修医)内木宏延

#### (細菌血清学部門)

主任教授：桂 義元，助教授：細野正道，助手：喜納辰夫，講師(非常勤)：徳永 徹，湊 長博，佐渡敏彦  
技官：清水一技，技能補佐員：高沖悠子，岡田洋子

#### (細胞化学部門)

主任教授：市川康夫，助教授：大川欣一  
講師：永田和宏，助手：前田道之  
講師(非常勤)：穂積本男，矢原一郎  
技官：島田道子，事務補佐員：坪田晴子

(臨床肺生理学部門)

主任教授：佐川弥之助，助教授：久野健志，佐藤公彦，講師：大井元晴，助手：李 勝弘，講師(非常勤)：山林一，仲田 祐，山田久和，大田和夫，中川正清，加藤幹夫，阿部光幸，伊藤春海，平岡眞寛，技能補佐員：服部央子，石田嘉子

(事務部)

事務部長：小林久雄，管理課長：谷澤 充，庶務掛長：中谷 章，同主任：生駒時秀，同事務官：野田芳子，乾和巳，渡辺光子，水原貞子，事務補佐員：杉山智美，田中裕子，二木富美予，經理掛長：佐野重信，同主任：野元頼子，同事務官：畑 勝，北野和男，安達康夫，梅田二郎，事務補佐員：中瀬安子，施設掛長：谷 泰雄，技官：進士 悟，松浦 康，藤木清文，小西喜一郎，業務課長：勝谷 武，医事掛長：千葉修也，同主任：田原親，事務官：沢田佳也，田村長生，殿崎雅弘，久富文志，技官：竹内孝子，事務補佐員：集治昌代，中村房枝，土井弘子，大谷小百合，収入掛長：石井利和，事務官：藤井芳克，関 保子，事務補佐員：多田真由美

(附属感染免疫動物実験施設)

施設 長(兼)教授：桂 義元，助教授：西川伸一，技官：飛田 勇，安岡倉一，大字雪雄，近藤照子，技能補佐員：万福 隆志

(電子顕微鏡室)

技官：増田 稔

(附属病院)

病 院 長(兼)教授：大島駿作

(第一内科診療科)

科 長(兼)教授：久世文幸，外来医長(兼)助教授：川合 満，病棟医長(兼)講師：倉澤卓也，医員：鈴木克洋，(研修医)加藤元一，久保嘉朗，新實彰男

(第二内科診療科)

科 長(兼)教授：大島駿作，外来医長(兼)助教授：泉 孝英，病棟医長(兼)講師：門 政男，医員：長井苑子，安馬広高，江村正仁，(研修医)朝枝哲也，田中 茂，楳原利恵子

(外科診療科)

科 長(兼)教授：人見滋樹，外来医長(兼)助教授：伊藤元彦，病棟医長(兼)講師：和田洋巳，医員：河原崎茂孝

(理学呼吸器科診療科)

科 長(兼)教授：佐川弥之助，外来医長(兼)助教授：佐藤公彦，病棟医長(兼)講師：大井元晴，医員：栗山隆信，越久仁敬，振津知哲，(研修医)松尾晃次，木村哲郎，福井基成，中村吉法，平田博通，関野 一

(検査部)

検査部長(兼)助教授：木野稔也，技師長：木津 啓，技官：前田清子，黒住真史，春名和代，岡部好恵，山根すま子，技術補佐員：林すみ子，森下園子，宮野和子，富田由美子，和田ひな

(放射線部)

放射線部長(兼)助教授：久野健志，技師長：濱川純一，同主任：藏岡信良，技官：大坂泰夫，曾我部康之，灘井智代子，田中龍蔵，技能補佐員：小林 忍，野間口明美

(麻醉部)

麻醉部長(兼)助教授：伊藤元彦

(輸血部)

輸血部長(兼)助教授：佐藤公彦

(手術部)

手術部長(兼)教授：人見滋樹

(材料部)

材料部長(兼)助教授：伊藤元彦

## (薬剤部)

薬剤部長：武山正治，薬剤主任：澤岡平和，技官：藤原壽子，小林千代子，川田昌子，川勝一雄，薬剤師：中島英一，事務補佐員：芦田明子

## (看護部)

看護部長：平野照子，看護婦長：小林とよ，松田比佐子，和多田すみ子，西森三保子，山本喜美，副看護婦長：丘 恵子，齊藤千鶴子，末田恵子，技官：大山峯子，小林裕子，稲田ひろ子，山中祥子，柴田佐代子，松本敏枝，藤井喜代子，福田千恵子，後藤公美子，濃野ヒロ子，岩佐純子，松原千里，川中マスコ，今西美千乃，小林富貴子，阿部喜代子，相川三千代，寺戸美枝子，山西順子，梅田正子，田尻春代，榊 喜久子，高橋わさ子，北川繁子，小林梅野，永利明美，渡部幸子，安藤純子，水上絹子，荻田孝子，三宅重子，平畑早苗，内藤敏子，米沢カヨ子，松田初枝，村西直美，稲垣美智子，湯浅里恵，園田正子，坂東フサエ，滝野清子，谷内かおり，小畑活世，玄 真利子，田中悦子，若村智子，原田芳香，能井美千代，内木カネ子，森 朝子，片桐久江，山道美津子，宮本久子，渡辺ヒデ子，技能補佐員：松本不二，曾我部京子，秋里 梢，田中綾子，濱村初子，早川泉子，濱本初美

---

## 教 官 人 事

---

### 内科学第一部門 田 中 栄 作 助 手

高知県出身，昭和56年3月京都大学医学部卒業，直ちに天理よろづ相談所病院呼吸器内科レジデントとして2年間研修後，引続いて同病院呼吸器内科医員として勤務し，昭和60年10月1日内科学第一部門の助手に任命された。天理よろづ相談所病院勤務時代より慢性気道感染症，ことに *Pseudomonas aeruginosa* 感染成立の機序について研究を開始している。現在同菌の実験感染モデル作成に向けて全精力を注いでおり，近く成果が期待される。同君の幅広い臨床経験が本研究所の中で，臨床研究の成果として結実することを心より期待したい。

(久世 文幸)

---

## 学 術 集 会 記 録

---

### 昭和60年度 京大胸部研学術講演会抄録

#### 1. 肺表面活性物質のアポ蛋白に対するモノクローナル抗体の生物学的効果

病理学部門 鈴 木 康 弘

肺表面活性物質は，脂質と蛋白との複合体であるとされているが，蛋白成分の意義については十分に研究がなされていない。我々は以前より再構成法を用いて，この蛋白の機能を推定してきたが，今回同蛋白に対するモノクローナル抗体を作成し，その局在及び機能への影響を検討した。

豚肺表面活性物質を肺洗滌液から，蔗糖密度勾配超遠心法を用いて分離し，エタノールエーテルで脱脂後，pH 5.0，pH 10.0 及びデオキシコール酸を含む緩衝液で抽出し，夫々アルブミン，38,000ダルトンの特異蛋白(38 kda 蛋白)，15,000ダルトンの蛋白(15 kda 蛋白)を主として含む分画を得た。15 kda 蛋白を含む分画を complete freund's adjuvant と混ぜ，BALB/c マウスを免疫し，脾細胞を採取して，X-63. Ag 8.653 マウスミエ

ローマ細胞と、PEG を用いて融合させ、HAT 培地で選択して後、2回クローニングを行い、15 kda 蛋白に反応するモノクローナル抗体を産生するハイブリドーマ (8B5E) を得た。この抗体は IgG<sub>1</sub>( $\kappa$ ) で、38 kda 蛋白とは交叉反応を示さなかった。ビオチン化抗体を用いて行った免疫組織化学では、抗原は肺胞壁に存在する立方状上皮胞体内にあり、多数の環状の反応産物が認められた。HRP をラベルした Fab を用いた電顕的免疫組織化学によりこれらの反応産物は、II型上皮細胞の層状封入体にあることが確認された。抽出した肺表面活性物質にこの抗体を加えると、表面拡散が著しく阻害され、又表面圧縮に際しては低い最小表面張力が得られなかった。

同抗体産生細胞を移植されたマウスは、10日前後で呼吸困難の症状を呈して死亡し、組織学的にみると、肺はウッ血と虚脱を呈し、末梢気道が著明に拡張し、その部位には硝子膜形成が認められた。経時的に観察すると、この変化はハイブリドーマ移植後7日目に始まり、肺胞内への好酸性顆粒状物質の沈着とマクロファージの浸潤、胞隔への多核球浸潤を伴っており、8日目、9日目になると同様の所見が増強されると共に、水腫をも伴うようになった。電顕的には、水腫液内には多数の拡張していない層状封入体が浮遊しており封入体周辺部は電子密度の高い物質にかこまれ、この中に破壊されつつある脂質層状構造が認められた。細胞の崩壊を示す細胞内小器管の集積像も多く、肺胞上皮が剥離し基底膜が露出している像も顕著であった。組織学的な変化と血中  $\gamma$ -グロブリン分画の上昇は並行し9日目には、アルブミン分画の量とほぼ同量となった。この時期には、肺の機能も低下し tidal volume が極めて減少していた。イミュノブロットングでは、マウス 15 kda 蛋白と交叉反応を呈した。

以上のように、15 kda 蛋白は、肺II型上皮の層状封入体由来し、肺表面活性物質の活性に極めて重要な関与を持つことが証明された。

## 2. 脱癌過程におけるアクテンゲル化因子の変化

細胞化学部門 高 木 邦 明

細胞が運動やドン食機能を示すためには、細胞質内アクチン繊維によるゲル—ゾル転換が重要な役割を担っている。マウス骨髓性白血病細胞 M1 株は、未分化の時には運動能もドン食能も示さず、また、その細胞粗抽出液のゲル化は微量の  $K^+$  および  $Na^+$  によって阻害される。ところが、M1 細胞に分化が誘導され運動能をもつようになる。以上の事実から、M1 細胞中には  $K^+ \cdot Na^+$  感受性のゲル化因子が存在ことが予想されるので、その分離と性質の解明につとめた。その結果、38,000ダルトン (以後 38 Kd と略す) のペプチドからなる二量体蛋白質を精製した。この 38 Kd 蛋白質は骨格筋アクチンと 1 : 3 の結合比で飽和するが、その比が 1 : 12 を越えると 2 mM  $MgCl_2$  存在下にゲル化をおこす。このゲル化は 10 mM  $KCl$  または 20 mM  $NaCl$  存在で完全に阻害される。一方、38 Kd 蛋白質とアクチン比が 1 : 1 以上になるとアクチン繊維の束形成も見られるようになるが、この束形成は 20 mM  $KCl$  存在下でもおこる。しかし、細胞内の 38 Kd 蛋白質とアクチン比はおよそ 1 : 5 程度 (またはそれ以下) であり、この束形成が 38 Kd 蛋白質の主たる機能とは考え難い。ところで、 $K^+$  調節濃度があまりに低値である点に疑問をもち、M1 細胞の分化誘導に伴う細胞内  $K^+ \cdot Na^+$  イオン濃度の変化を検索した。その結果、 $K^+$  イオン濃度は  $139.0 \pm 15.6$  mM から  $74.6 \pm 6.5$  mM へ減少し、 $Na^+$  は逆に  $40.0 \pm 9.0$  mM から  $82.0 \pm 17.0$  mM に増加していることがわかった。さらに興味深いことに、38 Kd 蛋白質自身の  $K^+ \cdot Na^+$  イオンに対する感受性が分化に伴って低下しており、分化後の細胞から分離された 38 Kd 蛋白質によるゲル化阻害には、20 mM  $KCl$  あるいは 50 mM  $NaCl$  を必要とすることがわかった。これらの事実は、M1 細胞の分化に伴って細胞イオン環境が 38 Kd 蛋白質によるアクチン繊維ゲル化を促進するように変化すること、逆に言うと未分化 M1 細胞においては、38 Kd 蛋白質によるゲル化が妨げられるようなイオン環境であることを示している。さらに最近免疫化学的手法により次の諸点が明らかになった。1), 未分化 M1 細胞では 38 Kd 蛋白質は細胞骨格内に含まれておらず、分化後に初めて細胞骨格内成分になる。2), 38 Kd 蛋白質は、骨格筋・赤血球を除く多くの臓器や培養細胞内に含まれる。3), 脳より精製した 38 Kd 蛋白質は  $K^+$  イオンに非感受性であった。4), 未分化 M1 細胞の 38 Kd 蛋白質は高レベルにリン酸化されているのに対し、分化後の M1 細胞の 38 Kd 蛋白質のリン酸化は未分化時の 30% 以下になっていた。38 Kd 蛋白質において、リン酸化の程度と一価陽イオン感受性の関係は明らかでない。今後、この両者の関係、並びに各組織の 38 Kd 蛋白質の役割を明らかにしていきたい。

### 3. 正常マウスにおける抗 DNA 抗体産生細胞の発現と選択

細菌血清学部門 鏑 田 武 志

抗 DNA 抗体は SLE (Systemic lupus erythematosus) に特徴的な自己抗体であり病勢とよく相関することから病原性をもつものとされている。一方、抗 DNA 抗体が非常に diverse なクロノタイプの集団であることが明らかとなってきたので、抗 DNA 抗体のなかにいくつかの亜集団が存在し、それぞれの亜集団が生体内で異なった作用をし、異なった制御をうけていることが想定される。我々は正常マウスで抗 DNA 抗体産生細胞がどのような制御をうけているかを明らかにする目的で、上記の可能性を考慮し、以下の実験を行った。

B細胞は、骨髄中でB前駆細胞より分化し表面免疫グロブリン (sIg) を発現してB細胞となる。B細胞への抗原特異的な選択は、B細胞が sIg を獲得後におこるので、骨髄B前駆細胞より *in vitro* で誘導されたB細胞は生体内で抗原特異的な選択をうける以前のB細胞の集団とされている。そこで、このようなB細胞と選択後のB細胞である脾B細胞を正常マウスである C57BL/6 マウス (8週令) より採取し、LPS で刺激後 IgM 産生ハイブリドーマを多数作製し、これら2つの集団における抗 DNA 抗体産生細胞の頻度、産生される抗 DNA 抗体の性状を比較した。

その結果、骨髄細胞由来および脾細胞由来ハイブリドーマ中の抗 DNA ハイブリドーマの頻度はそれぞれ20%, 19%と高い値であったが両者間に差は認められなかった。一方、得られたモノクローナル抗 DNA 抗体の相対的な avidity を competitive RIA で測定すると骨髄細胞由来および脾細胞由来ハイブリドーマ中の高 avidity 抗 DNA 抗体産生ハイブリドーマの頻度はそれぞれ2.3%, 0.4%と骨髄由来のハイブリドーマで有意に高かった。

以上の所見は、抗 DNA 抗体が亜集団に分けられ、正常マウスの生体内では異なる亜集団によって異なる制御をうけていることを示している。すなわち、高 avidity 抗 DNA 抗体産生B細胞は排除されるが、他の大部分の抗 DNA 抗体産生B細胞は排除されない。高 avidity 抗 DNA 抗体は IgG クラスにクラススイッチして抗原結合部位が減少しても、DNA への反応性を持ち続けると考えられる。IgG クラス抗 DNA 抗体は病原性と関係深いとされているが、正常マウスでは高 avidity 抗 DNA 抗体産生細胞が排除されることにより、IgG クラス抗 DNA 抗体の産生が抑制されているものと考えられた。

また、抗 DNA 抗体産生細胞が正常個体の末梢リンパ臓器に存在し、抗 DNA 抗体が正常血清中に検出されることはよく知られているが、今回の我々の結果は、正常マウスでは病原性と関係の深い抗 DNA 抗体産生細胞が排除され、病原性の低いもののみが発現していることを示唆している。

### 4. 慢性呼吸器疾患における Liquid-Filled Alveolography (LFA) の診断学的意義

内科学第一部門 網 谷 良 一

LFA は1969年沢田英夫、岩田猛邦両博士らによって天理よろづ相談所病院呼吸器内科で初めて日常の検査法として臨床に導入、以来種々の呼吸器疾患症例に対して施行されてきた。本検査は粘性の低い血管造影用の造影剤60% Urografin 15~20 ml を選択造影用の Flexible Bronchocatheter (FBC-5, 町田) を介して目的とする気管支 (区域支又は亜区域支) に選択的に注入することによって肺胞の充盈像を得ようとするものである。正常例では選択された気管支の支配領域に一致して均一な濃度の辺縁鮮明な肺胞造影像を呈する。病的状態として肺胞の虚脱消失や途中の気道に高度の狭窄あるいは閉塞の存在する例では肺胞像の不均等化や欠除がみとめられる。水性 Dionosil を用いた通常の気管支造影後、ただちに FBC-5 に入れかえて施行されるが、要する時間はきわめて短く被検者への侵襲も軽度の咳嗽を生ずる程度で簡便かつ安全な検査法である。

LFA は以下に述べる種々の慢性呼吸器疾患において特徴的な所見を呈し、補助診断法としてきわめて有用であった。

(1) 特発性間質性肺炎、膠原病性間質性肺炎。病変が最も早期に、かつ高度に出現する S<sup>9</sup> 又は S<sup>10</sup> の肋横角近傍に肺胞像の消失 (又は減少) および直径 4~7 mm の小囊胞の集合を高率にみとめた。剖検肺との対比により小囊胞の集合は蜂窩肺に一致する所見であると確認された。本疾患では剖検、開胸肺生検などで広範囲に大き

な組織片を得ない限り病理組織学的診断は困難な場合が多く LFA による蜂窩肺の描出は診断上甚だ有用であった。早期症例においても上記と同様の所見を高頻度に描出でき早期診断の面でも有用性がみとめられた。

## (2) びまん性汎細気管支炎

多量の気道内分泌液の貯留が本疾患の特徴であるが、このために水性 Dionosil では末梢気道の造影は困難である。LFA では末梢気道～肺胞の造影が可能であり、高度の器質的狭窄を示唆する尖形閉塞又は円形閉塞を小・細気管支レベルで描出しえた。肺胞像消失の程度と臨床症状の強さが平行しており、気道内貯留液の量に影響されずに本疾患の進行度を把握することが可能と考えられる。

## (3) 気管支拡張症

(2)と同様に多量の粘稠な気道液が拡張気管支内に貯留するが、LFA では気道盲端まで造影が可能であり拡張気管支末端部に種々の所見を描出しえた。

### (i) 尖形又は円形閉塞。

(ii) 拡張末端部のより末梢における比較的变化の軽度な小・細気管支の存在。

(iii) 嚢胞状拡張の気管支による区域～肺葉の完全占拠像

(iv) 通常の気管支造影では確認しえない気管支拡張像の描出。

## (4) その他

巨大嚢胞、嚢腫、空洞などの存在および、その誘導気管支の証明、気管支瘻の確認などにはきわめて有用な検査法である。

## 5. 間質性肺炎をめぐって一特に病理像を中心に—

内科学第二部門 北 市 正 則

間質性肺炎は肺の病理像に診断根拠をおく疾患群であるが、その形態学的研究は Liebow の分類を中心に行われた。過去10年間に演者が臨床病理学的検討を行った京大胸部研等のびまん性肺疾患症例は経気管支肺生検371例以上、開胸肺生検199例、剖検110例であったが、その中で間質性肺炎群は主要疾患であり、開胸肺生検の80例、剖検では40例を占めていた。BIP から改名された BOOP が間質性肺炎と閉塞性細気管支炎の両疾患群を橋渡しする病型であるため、両疾患群は現在では表の如くまとめられる。

演者の検討した開胸肺生検例では DIP は7例、LIP グループ5例、GIP 2例、BOOP は8例で、その他の多くは UIP と思われた。

表 間質性肺炎群と閉塞性細気管支炎群のまとめ  
Interstitial pneumonia and bronchiolitis obliterans

Intersitial pneumonia (1968, 1975, 1978)	Bronchiolitis obliterans (1973, 1983)
(1) Usual interstitial pneumonia (UIP)	(1) Toxic-fume B.O.
(2) Bronchiolitis obliterans and diffuse alveolar damage (BIP) (BOOP) ←————	(2) Postinfectious B.O.
(3) Desquamative interstitial pneumonia (DIP) (1965)	(3) B.O. associated with connective tissue disease*
(4) Lymphoid interstitial pneumonia (LIP), LIP group —•→ Primary lymphoproliferative disorders of the lung	(4) Localized lesion with B.O.
(5) Giant cell interstitial pneumonia (GIP)	(5) Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) (1985) Idiopathic bronchiolitis obliterans with organizing pneumonia
(*) Cryptogenic bronchiolitis obliterans in adults (1981) Bronchobronchiolitis obliterans (BBO) GIP/DIP→Dust injury, Hard-metal lung disease. Idiopathic pulmonary fibrosis(IPF)→UIP/DIP Cryptogenic fibrosing alveolitis(CFA)→UIP/DIP Idiopathic interstitial pneumonia(IIP)→UIP	



1980年までの概念での LIP はリンパ球系細胞増殖性疾患に入ることが多く、肺標本の免疫組織学的検討が終わるまでは LIP グループとしておいた方がよい。

BOOP は胞隔炎、呼吸細気管支レベルの閉塞性細気管支炎と肺胞道を主とした器質化肺炎の像を示す病型だが、BIP といわれた時の如く急性致死性病変でなく、ステロイド剤が奏効することが多い。診断確定には早期の開胸肺生検の必要性が強調される。また BOOP には S-100 蛋白陽性細胞の誘導があり、病理発生面から注目された。

米国の IPF (1976~86) と英国の CFA (1971~80) の基本病型は UIP または DIP であり、エジンバラ (1972) とデンバー (1986) のグループでは膠原病に伴う例を除いている。我国での IIP (1981) は原因不明で基本病型が UIP である症例をさしている。

間質性肺炎群の中核は IPF、特に UIP を示す病型で難治であるが、肺病理学的にも active case を明白にする必要がある。

## 6. 同種および異種移植における免疫寛容の導入

胸部外科学部門 光 岡 明 夫

今日の臓器移植の進歩は主として非特異的免疫抑制に負うところが大きい。しかし問題がないわけではなく、一方で特異的免疫抑制(免疫寛容)の不断努力が求められる。今回①免疫寛容導入の定量的検定法の利用、②免疫寛容の効率と状態について若干の知見を得たので報告した。

一般に移植免疫抑制の検討は移植片の生着期間で判定することが多く、むしろ優れた抑制法ほど長期間の観察を経ないと結果が出ないなど、発展に著しい困難点がある。というのも移植片拒絶反応のモデルとも考えられる *in vitro* の MLR や CTL が必ずしも *in vivo* 全体の反応を反映しないからである。例えば、異種の組合せでは余り反応が生じないことである。PLN 法による HVG 反応の検定は定量的で移植片拒絶反応をよく反映すると思われ、実際に異種の組合せでより大きい反応性があった。ただ、マウス同志の組合せでは H-2 差異よりも MIs 差異により強く反応を示したのは実際を反映していない点であった。同種および異種における PLN-HVG 反応はともに多くの共通した特長を持っていて、異なった点はまだ明らかでない。よって免疫寛容の検定に本反応を用いた。

動物は全て雌を用いた。host は C57BL/6 マウスを用いた。PLN 法は右足趾に $10^7$ ケの脾細胞(同種の場合は BDF<sub>1</sub> 脾細胞を、異種の場合は F344 ラット脾細胞を 2000 R 照射したもの)を投与し、左足趾に原則的に C57BL/6 の脾細胞を投与した。ピーク反応を示す6日目の左右の膝窩リンパ節重量の比を指標とした。寛容導入は生後2ヶ月頃に胸腺摘除した host に $10^8$ ケの脾細胞を静注し、24時間後にサイクロフォスファミド(CY) 200 mg/kg を腹腔内投与して行なった。本導入法は Chernyakhovskaya ら(1980)によってマウスにおける皮下移植心臓の生着を指標として、同種および異種の組合せで試みられている。今回は PLN 法を中心に定量的・解析的検討を進めた。寛容導入2~4週後に PLN assay した。

先づ semiallogeneic な BDF<sub>1</sub> 脾細胞を用いた導入を行なった。本導入法のうち胸腺摘除、脾細胞、CY のいずれの点を省略しても寛容の効率が低下したが、完全な組合せではほぼ100%の寛容に成功した。これは腫瘍移植(P815)による検討においても確認された。ただし、allo- 又は xenogeneic な脾細胞を用いた場合は大体70~80%の寛容が導入された。

この免疫寛容マウスの脾細胞を正常マウスに移入して寛容の伝達が認められ、血清によっては認められなかった。逆に正常マウスからのいずれも移入によっても免疫寛容マウスの反応性を回復されなかった。またこの寛容は chimerism によっても確かめられ、GVH 反応も同様に抑制した。

今後は先づ同種あるいは異種に対する免疫寛容の効率を改善する試みを行ないたい。

## 7.

臨床肺生理学部門 久野健志

肺の換気機能の測定には、コンプライアンス、フローボリューム曲線、気道抵抗や呼吸抵抗等数多くのパラメーターが考案されてきたが、それぞれに欠点があり、いまだに簡便であることや、病態の全体像を大きく区分出来ることから、古典的なパラメーターである肺活量及び1秒率が、最も信頼されて広く用いられている。そして呼吸器疾患における換気力学的障害は、肺活量の減少及び1秒率の減少によって、拘束性障害と閉塞性障害に分類されている。しかし、この方法は被験者の最大努力を必要とするために、重症の呼吸器疾患々々では施行できず、又被験者の全力を挙げた協力なしには信頼出来る結果を得られない。その上、最大努力時の値であるため微妙な変化を測定出来ないと言う欠点がある。

我々は数年来、患者の最大努力なしに、安静換気の状態での換気機能を測定して、閉塞性障害や拘束性障害を検出し、しかもその障害が気道系のものか、肺胞系のものか間質系のものか、又気道系のものとすれば、中枢気道か、末梢気道か、等を鑑別し得る検査法としてオッシレーション法による呼吸抵抗測定の原理を応用し、ボディボックスを併用して研究をすすめてきたが、ようやく検査法として確立できたので、その詳細を報告した。

即ち、ボディボックスに入った被験者の口より、種々の周波数の波形を含むランダム圧波を負荷し、呼吸器系に加えられた圧 (mouth pressure) と呼吸器系に入っていく流量 (mouth Flow) とを測定し、その比である呼吸インピーダンス (≡呼吸抵抗) により呼吸器系の「硬さ」を表現するものである。更にフーリエ変換を用いて、その周波数特性を 10~40 Hz の間で測定し、同時に、その時の胸郭容量の変動を、Box 内圧の変化として測定し、これを用いて、呼吸インピーダンスを、気道の抵抗を示す気道インピーダンスと肺胞の硬さを示す肺組織胸郭インピーダンスに分離したものである。

各種肺疾患例について、これらのインピーダンスを正常例と比較検討した結果

- 1) 正常例に比して慢性気管支炎においては、気道インピーダンスが全周波数域にわたって増加していた。しかし肺組織胸郭インピーダンスは正常域にあった。これらは病変が気道に局限していることを示している。
- 2) 肺気腫症例においては、気道インピーダンスの上昇は著明でなかったが、その周波数特性が、正常例では右上りであるのに対して右下りであり、又肺組織胸郭インピーダンスの減少傾向があり、気道の病変が慢性気管支炎と異なることや、病変が肺胞系にもあることが示された。
- 3) 間質性肺炎においては、著明な肺組織胸郭インピーダンスの上昇を認め、病変の主座が肺泡領域にあることを示していた。

このように、此の検査法は、肺活量や1秒率よりも肺の線維化や気道病変の性状を忠実に反映しており、インピーダンスの周波数特性の変化等も考慮に入れると、病変の部位や性状のより詳細な診断が可能と考えられるので、今後、その診断的意義について更に検討をつづけるとともに、換気力学の新しい体系化を目指して研究を続けていく予定である。

## 8. 肺機能とその臨床

鳥取大学第3内科 佐々木孝夫

最も簡単な呼吸器は、インプットとして混合静脈血及び吸入気を、アウトプットとして動脈血を持つ「黒い箱」にたとえられる。したがって、混合静脈血と吸入気のガス組成を規制すれば、黒い箱は、動脈血ガス組成で規定できる。これが、臨床上、動脈血ガス分析として成立し、その結果、呼吸不全の存在とその分類を可能とし、酸素化、炭酸ガス排除の治療につながり、今日、動脈血ガスによる考え方は、日常臨床に不可欠なものとなっている。

黒い箱は、さらに、換気装置とそのコントローラ、肺ガス交換器、血液緩衝系の「黒い小箱」に分かれ、それぞれが metabolic servomechanism, すなわち、動脈血ガス組成の恒常維持として連動している。コントローラーとしての呼吸調節機能は、臨床上、低酸素、炭酸ガスおよび運動に対する応答として、さらには睡眠負荷に対する反応としてしらべられ、睡眠時無呼吸症候群の如き、新しい病態を明らかとしている。これも治療に直結している。肺ガス交換器としては、呼気ガス分析、拡散能測定、動脈血分析を介し、死腔量増加、拡散障害、血流シ

ャントの増加として、動脈血ガス異常の病態を明らかとし、それが気管切開、O<sub>2</sub> 吸入あるいは PEEP の使用など治療のロジックを与えている。一方、血液緩衝系は、血液ガス、Hb、電解質およびその他の生化学検査を介し、アシドーシス、アルカローシスの臨床に極めて重要な病態を認知させ、ここでも、治療として、Doxapram, THAM 重曹、レスピレーター使用等の論理と治療すべき肺以外の疾患病態を指摘できる。換気装置は、いわゆる換気力学検査により、閉塞性障害、拘束性障害の2大病態に分離の上、その程度を明らかにされ、それぞれ、気一過クリニグ療法、ステロイド療法、レスピレーター換気などの治療手段選択とその評価を可能としている。

以上、今日、肺機能は、複雑な検査法も駆使すれば、精細に認知され、臨床上有用な病態を明らかにすることができ、それに対応する治療論理まで指示できるところまで、広がっている。しかし、かかる有用な肺機能検査の全てが一般化しているとは云い難い、その理由としていくつかあげられるが、肺機能検査が当初、形態学に基礎をおいて定義された病気の診断法として期待され導入されたのが、本来、型態と機能とが1対1に対応しないがため、病気の診断には不満足な点があげられる。

したがって、本来、型態と機能とは一致しないが、解剖学的に区分された部分部分の機能異常をとらえ、型態と機能とのギャップを少なくすることが要求される。しかし、その際、被検者にとって複雑なものでは一般化しない。その点、時間を変数とする発想の転換により分析される transit time analysis は、従来のスパイログラムを分析するもので、換気機能分析の新しい展開が期待されている。

## 胸部研 特別ゼミナール

- 127回 61年2月17日 前脂肪細胞の造血支持能について（東北歯科大）小玉 博明  
 128回 61年2月28日 系統維持のためのマウス胚の凍結保存法（実中研・生殖研究室）横山 峯介  
 129回 61年3月15日 胸腺細胞の分化について（東京都老研・病理）広川 勝昱  
 130回 61年3月28日 弱組織適合性抗原に対する免疫記憶と同種骨髓移植（放医研・生理病理）佐渡 敏彦

### Seminar

To

Welcome Dr. Jay Moskowitz

On

Senescence Accelerated Mouse (SAM)

At 9:30 A.M., October 21, 1985

The Conference Room of Chest Disease Research

Institute, Kyoto University, Kyoto, Japan

1. Opening Remarks. (5 min.) Director Yanosuke Sagawa, M. D.<sup>b</sup>
2. Development of A Model of Accelerated Senescence in Mice. (12 min.)  
*Toshio Takeda, M. D.<sup>c</sup> Keiichi Higuchi, Ph. D.<sup>c</sup>*  
*Shuji Takeshita, Ph. D.<sup>c</sup> Mafumi Kurozumi, M. T.<sup>d</sup>*
3. Age-related Changes of Dermal Connective Tissues in SAM. (15 min.)  
*Kayoko Higuchi, M. D.<sup>e</sup> Atsushi Utani, M. D.<sup>f</sup>*  
*Atsuko Matsumura, M. A.<sup>c</sup>*
4. Senile Osteoporosis in SAM-P/6 and SAM-R/3. (20 min.)  
*Mutsumi Matsushita, M. D.<sup>g</sup> Tadao Tsuboyama, M. D.<sup>g</sup>*  
*Keigo Hanada, M. V. M.<sup>c</sup>*
5. Senile Amyloidosis in SAM—Morphological and Biochemical Studies on AS<sub>SAM</sub> and Its serum Precursor Apo SAS<sub>SAM</sub>—. (15 min.)  
*Keiichi Higuchi, Ph. D.<sup>c</sup> Tomonori Yonezu, B. Agr.<sup>c</sup>*  
*Hironobu Naiki, M. D.<sup>c</sup>*

6. Genetic Study on SAM amyloidosis—Structure of Amyloid cDNA—(15 min.)  
*Takahiro Kunisada, Ph. D.<sup>h</sup>*    *Keiichi Higuchi Ph. D.<sup>c</sup>*  
*Hideo Yamagishi, Ph. D.<sup>h</sup>*
  7. Learning Ability in Senescence Accelerated Mouse (SAM). (15 min.)  
*Akinobu Nagaoka, Ph. D.<sup>i</sup>*    *Masaomi Miyamoto, Ph. D.<sup>i</sup>*  
*Takao Matsuo, Ph. D.<sup>i</sup>*    *Yuji Nagawa, Ph. D.<sup>i</sup>*
  8. Morphological Changes in the Central Nervous System in SAM-P/8. (15 min.)  
*Haruhiko Akiyama, M. D.<sup>j</sup>*    *Hiroshi Sugiyama, M. D.<sup>j</sup>*  
*Toshio Kawamata, M. D.<sup>j</sup>*    *Ichiro Akiguchi, M. D.<sup>j</sup>*
  9. Chronic Food Restriction Modulates the Advance of Senescence in SAM. (15 min.)  
*Atsuko Kohno, Ph. D.<sup>c</sup>*    *Makiko Umezawa, M. D.<sup>c</sup>*
  10. Special Comments. (10 min.)    *Jay Moskowitz, Ph. D.<sup>a</sup>*
  11. Discussion. (10 min.)
  12. Closing Remarks. (3 min.)    *Toshio Takeda, M. D.<sup>c</sup>*
- a. Dept. of Health & Human Services, Public Health Service, NIH.
  - b. Chest Disease Research Institute, Kyoto University.
  - c. Dept. of Pathology, Chest Disease Research Institute, Kyoto University.
  - d. Dept. of Clinical Laboratory, Chest Disease Research Institute, Kyoto University.
  - e. Dept. of Laboratory Medicine, Faculty of Medicine, Kyoto University.
  - f. Dept. of Dermatology, Faculty of Medicine, Kyoto University.
  - g. Dept. of Orthopedic Surgery, Faculty of Medicine, Kyoto University.
  - h. Dept. of Biophysics, Faculty of Science, Kyoto University.
  - i. Central Research Division, Takeda Chemical Industries, Ltd.
  - j. Dept. of Neurology, Faculty of Medicine, Kyoto University.

---

## 業 績 目 録

---

### 内 科 学 第 一 部 門

#### 〔学 会 発 表〕

#### 1. 結核・非定型抗酸菌症

池田宣昭, 李 啓充: 試験管内抗菌力に影響する諸因子の検討 (シンポジウムⅢ, ピラジナマイドをめぐる最近の話題), 第60回日本結核病学会総会 (60.4.7. 名古屋).

倉澤卓也, 丸井康子, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 西山秀樹, 川合 満, 久世文幸, 牛田伸一, 満石 熙, 長谷光雄, 内平文章, 小田芳郎, 種田和清, 岩田猛邦, 李 英徹, 中井 準, 池田宣昭: 結核症“誤診”症例の臨床的検討, 同上 (60.4.7).

桜井信男, 久世文幸: *M. avium-intracellulare* マウス感染モデルに対する諸種薬剤の治療効果(Ⅱ), 同上(60.4.7),

桜井信男, 久世文幸: びまん性の肺病変に合併した *M. intracellulare* 症の4例, 同上 (60.4.7).

西山秀樹, 丸井康子, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 牛田伸一, 満石 熙, 長谷光雄, 内平文章, 小田芳郎, 種田和清, 岩田猛邦, 李 英徹, 中井 準, 池田宣昭: 肺結核重症発見例の検討, 同上 (60.4.8).

久世文幸: 肉芽腫化 (シンポジウムⅠ, 感染・免疫の立場からみた呼吸器疾患), 第25回日本胸部疾患学会総

会 (60.4.9. 名古屋).

種田和清, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 岩田猛邦: 慢性気道病変と非定型抗酸菌症との関連についての検討, 第59回日本感染症学会総会 (60.5.10. 那覇).

中西通泰, 作野 忠, 小石堯夫, 柴田安宅, 西田 修, 仁尾真実, 橋本 恵, 武田保秀: 血液透析患者にみられた粟粒結核の1例, 第21回京都病院学会 (60.6.16).

N. Sakurai, F. Kuze: Experimental Chemotherapy in chronic Mycobacterium avium-intracellulare infection of mice (14th International congress of Chemathecopy, 60.6.26. 京都).

岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準, 青山 博, 黒木輝夫, 白根博文, 内田博也: 穿孔性腹膜炎で緊急手術を施行した腸結核症の一症例, 第55回日本結核病学会・第25回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.6.29. 京都).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 中耳結核より発見された肺結核症の1症例, 同上 (60.6.29).

黒田直明, 坂東憲司, 辻野博元, 岡崎美樹, 倉沢卓也: 比較的順調に改善した全長にわたる全周性の左主気管支結核症の1例, 第56回日本結核病学会, 第26回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.11.16. 京都).

岡崎美樹, 網谷良一, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 鈴木康弘: 中葉に局限した結核症3例について, 同上 (60.11.16).

村本 環, 大井長和, 白川太郎, 市川季男, 柳農浩吉, 栗本一孝: 肺結核, 脊椎カリエスを合併し, CT 上, 脳底部の強いエンハンスメントを認めた結核性髄膜炎の1例, 第118回日本内科学会近畿地方会 (60.11.30. 大阪).

桜井信男, 久世文幸: M. avium-intracellulare に対する諸種薬剤の試験管内制菌力—dihydropyranone—について—第33回日本化学療法学会西日本支部総会 (60.12.5. 大阪).

## 2. 腫 瘍

平本憲孝, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 岡本交二, 藺 潤, 岡田行功, 宮本 寛, 西内 素, 秦 紘, 立道 清, 庄村東洋, 埴岡啓介, 白根博文, 内田博也: 検診で発見された15才女子肺癌の1手術例, 第42回日本肺癌学会関西支部会 (60.2.23. 京都).

坂本廣子, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 幸 茂男, 中島秀行, 福田照男, 宮本 武: 本院における気管支動脈内制癌剤注入療法と放射線療法併用症例の検討, 同上 (60.2.23).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 胸腺腫20例の臨床的検討——良・悪性の鑑別と悪性胸腺腫の予後を中心に——, 同上 (60.2.23).

岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 40才未満肺癌16例の検討, 同上 (60.2.23).

藤本憲弘, 南部静洋, 湯月洋介, 郡 義明, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 胸水貯留, 肺野浸潤影をくりかえし, 診断に苦慮した肺癌の1剖検例, 同上 (60.2.23).

中原保治, 中原由紀子, 石井賢二, 長野 豊, 牛田伸一, 松山栄一, 大須信義: 肺癌におけるアドリアマイシン気管支動脈内注入後の腫瘍および局所リンパ節内濃度の検討, 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.10. 名古屋).

高嶋義光, 江崎 寛, 鈴木雄二郎, 武藤 真, 長谷光雄: 急激な増大をきたした縦隔奇型腫の1例, 第201回北陸外科学会 (60.5.11. 福井).

李 英徹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 谷口郷美, 和田洋巳, 人見滋樹: 喉頭・気管乳頭腫症の1例, 第8回日本気管支学会総会 (60.5.30. 仙台).

江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄, 高嶋義光: YAG レーザーによる気管・気管支悪性腫瘍の治療症例の検討, 第19回日本肺癌学会北陸地方会 (60.6.29. 富山).

高嶋義光, 江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄: 肺小細胞癌の手術症例の検討, 同上 (60.6.29).

中西通泰, 藤野昇三, 国貞隆信, 馬場信男, 西村一郎, 岡田慶夫: Von Recklinghausen 病に合併した縦隔腫瘍の1例, 第55回日本結核病学会, 第25回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.6.29. 京都).

牛田伸一, 長野 豊, 中原由紀子, 中原保治, 松山栄一, 桂 栄孝: 肺癌を思わせた神経芽細胞腫の1剖検例, 同上 (60.6.29. 京都).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 太田仁八, 石井昌生: 抗エストロゲン療法および卵巣への放射線照射を行なった pulmonary lymphoangiomyomatosis の1例, 同上 (60.6.29)

村山尚子, 山本孝吉, 西山秀樹, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 樋口佳代子, 鈴木康弘, 竹田俊男, 黒住真史, 山根すま子, 田村康一: 胸廓内原発の Germ cell tumor とされる症例, 第43回日本肺癌学会関西支部会 (60.7.27. 神戸).

藤本憲弘, 南部静洋, 田中栄作, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 朝倉庄志, 北野司久, 西村 理, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 肺腫瘍合併が臨床上問題となった肺小細胞癌の1例, 同上 (60.7.27).

白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 空洞内腫瘍をきたした腺癌の一症例, 同上 (60.7.27).

郡 義明, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 松井輝夫, 朝倉庄志, 辰己明利, 藤尾 彰, 北野司久, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 癌性空洞壁に活動性結核を認めた扁平上皮癌の一症例, 同上 (60.7.27).

岩崎博信, 片山信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 進行肺腺癌に対する Cis-platinum 併用療法と在来療法の比較検討, 同上 (60.7.27).

倉沢卓也, 村山尚子, 山本孝吉, 西山秀樹, 川合 満, 久世文幸, 滝 俊彦, 樋口佳代子, 竹田俊男: 小結節影で発見された肺の sclerosing hemangioma の1例, 同上 (60.7.27).

南部静洋, 田中栄作, 郡 義明, 田口善夫, 藤本憲弘, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 牧田泰正: Ommaya reservoir よりの MTX 髄注が奏功した小細胞癌性髄膜炎症の一例, 同上 (60.7.27).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 西内 等, 庄村東洋: 肺癌切除例95例の再発部位の検討および当院における adjuvant therapy の試案, 同上 (60.7.27).

坂本廣子, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌 CR 例における再発機軸と予後の検討, 同上 (60.7.27).

朝倉庄志, 松井輝夫, 辰己明利, 藤尾 彰, 北野司久, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦: びまん性胸膜悪性中皮腫の1例とそれに対する制癌剤感受性テスト, 同上 (60.7.27).

高嶋義光, 江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄, 池田一雄, 山岸利栄: 心筋梗塞に合併した肺癌の1手術例, 第39回北陸医学会総会 (第202回北陸外科学会) (60.9.1. 福井).

牛田伸一, 中原保治, 松山栄一, 青田正樹, 大須信義, 桂 栄孝: 皮様嚢腫から発生したと思われる肺癌の1例, 第26回日本肺癌学会総会 (60.11.5. 仙台).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: Echo-guided percutaneous needle biopsy による胸壁に接した末梢型肺癌の診断, 同上 (60.11.5).

種田和清, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 肺癌の確定診断法の検討, 同上 (60.11.5).

坂本廣子, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌 CR 例における再発様式と予後の検討, 同上 (60.11.5).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: シスプラチンを含む多剤併用を行った肺腺癌の短期治療効果, 同上 (60.11.5).

牛田伸一, 石田 直, 長野 豊, 中原由紀子, 中原保治, 松山栄一, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 網谷良一, 倉沢卓也, 久世文幸: Coenzyme Q<sub>10</sub> 及び  $\alpha$ -tocopherol による放射線肺炎の予防効果—臨床的検討, 同上 (60.11.6).

田口善夫, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 北野司久, 市島国雄: 脊髄横断症状を呈した原発性肺癌症例の検討, 同上 (60.11.6).

岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 高齢者肺癌の臨床的検討, 同上

(60.11.6).

岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 若年者肺癌の臨床的検討, 同上 (60.11.6).

鈴木克洋, 新実彰男, 岡崎美樹, 加藤元一, 久保嘉朗, 桜井信男, 網谷良一, 山本孝吉, 倉澤卓也, 川合 満, 久世文幸, 西山秀樹: 胸水貯留を示した悪性リンパ腫4例の検討, 同上 (60.11.6).

新実彰男, 倉澤卓也, 岡崎美樹, 加藤元一, 久保嘉朗, 鈴木克洋, 桜井信男, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 川合 満, 久世文幸, 黒住真史, 野々村光生: 広汎な浸潤影を呈し, 喀痰細胞診にて推測し得た前立腺癌肺転移の1治験例, 第56回日本結核病学会, 第26回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.11.16. 京都).

南部静洋, 西田 篤, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 野村信介, 赤坂清司, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: DPB と鑑別を要した ATL 肺浸潤の1例, 同上 (60.11.16).

城 泰子, 長谷川幹, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 庄村東洋: 胸腔原発 Giant Cystic Schwannoma の一摘除例, 同上 (60.11.16).

片上信之: エコーガイド下心嚢ドレナージ法による癌性心嚢炎の治療, 第47回日本超音波医学会総会 (60.11.21).

長谷川幹, 片上信之: エコーガイド経皮針生検による縦隔腫瘍の術前病理, 同上 (60.11.21).

### 3. 感染症の化学療法

中西通泰, 倉澤卓也, 西山秀樹, 網谷良一, 丸井康子, 白川太郎, 前川暢夫, 稲葉宣雄, 小田芳郎, 鍵岡 朗, 鈴木雄二郎, 池田宣昭, 柴田安宅, 辻野博之, 坂東憲司, 種田和清, 田口善夫: 呼吸器感染症に対する BAT 9867の臨床的検討, 第32回日本化学療法学会西日本支部総会 (59.12.14. 岡山).

中西通泰, 山本孝吉, 桜井信男, 白川太郎, 柴田安宅, 池田宣昭, 辻野博之, 中井 準, 岩崎博信, 李 英徹, 片上信之, 小笹晃太郎: 呼吸器感染症に対する MK-0787/MK-0791 の臨床検討, 同上 (59.12.14).

望月吉郎, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄, 網谷良一: 遷延化肺炎10症例の検討, 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.11. 名古屋).

角田冲介, 他 (感染性腸炎研究会, 会長 斉藤 誠), 腸チフス患者の調査成績—1983年, 第59回日本感染症学会総会 (60.5.10. 那覇).

角田冲介, 他 (感染性腸炎研究会, 会長 斉藤 誠), パラチフス患者の調査成績—1983年, 同上 (60.5.10).

角田冲介, 他 (感染性腸炎研究会, 会長 斉藤 誠), 輸入感染性腸炎について—1984年, 同上 (60.5.10).

角田冲介, 他 (感染性腸炎研究会, 会長 斉藤 誠), 感染性腸炎起因菌とその薬剤感受性 (昭和59年度の成績), 同上 (60.5.10).

望月吉郎, 田中栄作, 藤本憲弘, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 藤尾 彰, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: Pneumocystis carinii 肺炎の臨床的検討, 同上 (60.5.10. 那覇).

井上 明, 天野孝司, 貫名正文, 寺本忠司, 角田冲介, 小林 裕, 木村政美, 三木 滋, 石垣四郎: レンサ球菌性咽頭炎のサーベイランス, 第59回日本感染症学会総会 (60.5.11. 那覇).

中西通泰, 山本孝吉, 石田 直, 久保嘉明, 久世文幸, 池田宣昭, 辻野博之, 稲葉宣雄, 小田芳郎, 鍵岡 朗, 松原恒雄, 岩田猛邦: BRL 28500 の呼吸器感染症に対する臨床的検討, 第33回日本化学療法学会総会 (60.5.23. 東京).

丸井康子, 西山秀樹, 久世文幸, 池田宣昭, 中西通泰, 稲葉宣雄, 小田芳郎, 荻野文章, 戸川真一, 鍵岡 朗, 長谷光雄, 辻野博之, 坂東憲司, 岩田猛邦, 種田和清: 呼吸器感染症に対する T-2588 の臨床的検討, 第33回日本化学療法学会総会 (60.5.23. 東京).

Y. Yaguchi, S. Nanbu, E. Tanaka, N. Fujimoto, Y. Kohri, Y. Mochizuki, K. Oida, T. Iwata: Clinical usefulness of ofloxacin for outpatient with chronic respiratory tract infection (14th International Congress of chemotherapy, 60.6.26. 京都)

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 藤本憲弘, 南部静洋, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: サイトメガロウイルス肺炎の臨床的検討, 第33回日本化学療法学会西日本支部総会 (60.12.6. 大阪).

#### 4. 気管支喘息・アレルギー性疾患

白川太郎, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 生コーヒー豆取扱者にみられた職業性喘息の一症例, 第58産業衛生学会 (60.3.1. 北九州).

奥泉仁一, 田中健一, 服部 真: アレルギー性鼻炎罹患 TDI 被爆作業員鼻汁の細管式等速電気泳動法による分析, 第56回日本衛生学会 (60.4.4. 熊本).

川合 満, 久世文幸, 川勝一雄, 澤岡平和, 千熊正彦: 経口抗アレルギー剤併用時におけるテオフィリンの体内動態, 日本薬学会第105年会 (60.4.4. 金沢).

白川太郎, 日下幸則, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 超硬合金喘息患者に対する誘発テストの臨床的検討 (I), 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29. 京都).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 木野稔也, 長井範子, 泉 孝英: 生コーヒー豆粉塵による職業性喘息の一症例, 同上 (60.6.19).

M. Kawai: Influences of oral antiallergic drugs on theophylline pharmacokinetics, XV World Congress on Diseases of the Chest, (Sydney, Australia, August 27, 1985).

小林節雄, 川合 満, 倉沢卓也, 西山秀樹, 他: 気管支喘息に対する柴朴湯エキスの長期投与効果の検討——多施設共同試験結果について——第2回和漢薬学会 (60.9.6. 京都).

加藤元一, 川合 満, 倉沢卓也, 溝井一敏, 田中健一: 気管支喘息における Xanthine 製剤及び  $\beta$  刺激薬による手指振戦の研究, 第一報, 第35回日本アレルギー学会総会 (60.9.26. 前橋).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 佐々木義行, 木野稔也, 長井苑子, 泉 孝英: 生コーヒー豆粉塵による職業性喘息の一症例のアレルギー学的検討, 同上 (60.9.26).

田中健一, 竹岡明美, 長屋佳子, 花田 哲, 岡本 豊, 井野隆光, 奥泉仁一, 川合 満: TDI による実験的アレルギーに関する研究 (第9報) MDI を用いたラット接触過敏症惹起の試み, 同上 (60.9.26).

白川太郎, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 日下幸則, 後藤 稠: 超硬合金作業員にみられた職業性喘息の原因物質の検討, 同上 (60.9.26).

奥泉仁一, 田中健一: TDI による実験的アレルギーに関する研究 (10報) ミクロ多検体二次電気泳動法によるアレルギー性鼻炎モデル涙液蛋白成分の検討, 同上 (60.9.28).

川合 満, 加藤元一, 倉沢卓也, 田中健一, 川勝一雄: 経口抗アレルギー薬併用時におけるテオフィリン徐放性製剤の体内動態, 同上 (60.9.28).

田中健一: TDI による鼻アレルギーモデル (パネルディスカッション I. 職業アレルギー), 同上 (60.9.27).

K. Tanaka, Y. Okamoto, S. Hanada, S. Kohno and M. Kawai: Contact sensitivity in rats induced by toluene diisocyanate (TDI), XII International Congress of allergology and Clinical Immunology, 1985 (Washington D. C.). (60.10.22).

白川太郎, 川添隆司, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 日下幸則, 後藤 稠: 超硬合金喘息患者に於る誘発テストの臨床学的検討 (II), 第56回日本結核病学会, 第26回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.11.16. 京都).

岸本育子, 安原真人, 谷川原祐介, 奥村勝彦, 堀 了平, 川勝一雄, 西村浩一, 川合 満, 千熊正彦, 山岡清: 点滴静注における Theophylline の Population Pharmacokinetics, 第6回日本臨床薬理学会 (60.11.29. 別府).

#### 5. 心身医学

河野博臣: "Quality of Life assesment and Cancer treatment. International wark shop," (60.12.11. ミラノ市).



## 6. そ の 他

井野隆光, 沢幡 正, 丸井昭吾, 田中健一: ベンジジンの変異原性—CNDO/2 による計算結果について, 第58回日本産業衛生学会 (60.3.29. 北九州).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 黒木茂一, 山田栄一, 大谷由利子, 郡山俊明, 東 郁夫, 木野稔也: 神戸地域に発生した過敏性肺臓炎患者における各種抗原に対する沈降抗体, 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.9. 名古屋).

藤本憲弘, 郡 義明, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 橋村孝久, 左野 明, 黒田康正, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: Wegener 肉芽腫症における血管造影・特に腎動脈造影の検討, 同上 (60.4.9).

黒田直明, 坂東憲司, 倉澤卓也: 気管支結石症の臨床的検討, 同上 (60.4.11).

岩田猛邦, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清: 気管支拡張症の成因についての一考察, 同上 (60.4.11).

網谷良一, 久世文幸, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦: びまん性汎細気管支炎における Liquid-Filled Alveolography の意義, 同上 (60.4.11).

高嶋義光, 江崎 寛, 鈴木雄二郎, 武藤 真, 長谷光雄: 呼吸器病手術症例の検討, 第64回福井県医学会 (60.5.26. 武生).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 石井昌生: 気管支結石症——気管支ファイバー下結石摘出後の気管支造影像を中心に——第8回日本気管支学会総会 (60.5.30. 仙台).

西田 修, 作野 忠, 中西通泰, 小石堯夫, 柴田安宅, 仁尾真実, 橋本 恵, 武田保秀: 門脈圧亢進症における脾動脈塞栓術, 第21回京都病院学会 (60.6.16. 京都).

仁尾真実, 作野 忠, 中西通泰, 小石堯夫, 柴田安宅, 西田 修, 橋本 恵, 武田保秀: Macroamylase 血症の1例, 同上 (60.6.16).

中西通泰, 作野 忠, 小石堯夫, 柴田安宅, 西田 修, 仁尾真実, 橋本 恵, 武田保秀: 先天性気管支拡張症の2例, 同上 (60.6.16).

岩田猛邦: 肺血管炎の臨床像, (特別講演)第55回日本結核病学会, 第25回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60.6.29. 京都).

網谷良一, 久世文幸, 天野博之, 種田和清, 岩田猛邦, 西田 修, 荒木恒治: 胸水 ACE 異常高値を呈した肺吸虫症の2例, 同上. (60.6.29)

田口善夫, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦: 胸水貯留を繰り返した PSS の1例, 同上 (60.6.29).

村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 西山秀樹, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 荏原順一, 樋口佳代子, 竹田俊男, 住友伸一: Bronchiolitis obliterans の一症例, 同上 (60.6.29).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作: アルミニウム含有溶接フラックス取扱者にみられたびまん性間質性肺炎の1症例, 同上 (60.6.29).

林 孝昌, 南部静洋, 田中栄作, 郡 義明, 藤本憲弘, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 松井輝夫, 朝倉庄志, 藤尾 彰, 北野司久: 両側横隔膜挙上症に横隔膜ペースメーカーを挿着した1例, 同上 (60.6.29).

藤本憲弘, 南部静洋, 田中栄作, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 幡生憲人, 西沢貞彦, 笹井啓資, 黒田康正: びまん性肺疾患のターゲット CT 像, 特に SAB 及び LFA との比較検討, 同上 (60.6.29).

白川太郎, 藤村直樹, 森川敏男, 高田範男, 市川秀男, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 当院呼吸器科における胸水診断に関する検討, 同上 (60.6.29).

坂本廣子, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 中尾 哲, 山本豊城: 巨大な脳動静脈瘻を合併した家族歴の有る肺動静脈瘻の一例, 同上 (60.6.29).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 岡田行功, 白根博文: 診断的気腹により術前横隔膜小孔の存在を知り得た月経随伴性気胸の1例, 同上 (60.6.29).

藤村直樹, 白川太郎, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 心嚢気腫を伴った自然気胸の1症例, 同上 (60.6.

29).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 中島吉彦, 太田仁八, 浅香隆久, 石井昌生: 酸素濃縮器による在宅酸素療法の検討 (第一報), 同上 (60. 6. 29).

望月吉郎, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 種田和清, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 肺炎後, 多発性嚢胞が縮少していったレクリング・ハウゼン氏病の1例, 同上 (60. 6. 29).

李 英徹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 大酒家にみられた嫌気性膿胸の3例, 同上 (60. 6. 29).

中西通泰, 鈴木康弘, 武藤 真, 船津武志: 気管支軟骨の欠損を伴う先天性気管支拡張症の1例, 同上 (60. 6. 29).

郡 義明, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 胸部レ線上びまん性散布状粒状影を呈した肺サルコイドーシスの1例, 同上 (60. 6. 29).

石田 直, 網谷良一, 久世文幸, 田村康一, 鈴木康弘: 気管支線毛の運動を認めず電顕にて微細構造に欠損をみたカルタゲナー症候群の1例, 同上 (60. 6. 29).

大西光英, 幸 茂男, 芝切一平, 中島秀行, 宮本 武, 中尾 哲, 山本豊城, 坂本廣子, 中井 準, 波多 信, 松村康正, 福田照男, 赤土みゆき, 井上祐一, 行野善康, 大畑建治: Rendu-Osler-Weber disease と思われる症例——頭蓋内病変を中心に——, 第207回日本医学放射線学会関西地方会 (60. 7. 20).

R. Amitani, H. Nishiyama, T. Kurasawa, M. Kawai, F. Kuge: Liquid-filled Alveolography: A new diagnostic tool for broncho-pulmonary diseases, XV World Congress on Diseases of the Chest, (Sydney, Australia, August 26, 1985).

岡本 豊, 田中健一: モルモット鼻腔内粘膜の組織構造について, 第24回日本鼻科学会 (60. 10. 5. 秋田).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 幸 茂男: 咯血を主訴として緊急入院した患者に対する気管支動脈塞栓術の止血効果, 第13回日本救急医学会総会 (60. 10. 16).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 慢性呼吸不全急性増悪における呼吸刺激剤 (ドキシプラム) 併用. Controlled O<sub>2</sub> therapy の再評価, 同上 (60. 10. 16).

中尾雅春, 松村武男, 角田冲介, 前島建治: 兵庫県下における児童の寄生虫卵保有者の疫学調査, 第27回日本熱帯医学会総会 (60. 10. 30. 神戸).

坂本邦彦, 清田隆二, 伊藤一則, 松崎 勉, 内園明裕, 上野員義, 大山 勝, 川合 満, 加藤元一, 中神和清, 周東 寛, 溝井一敏: 気道粘液線毛機能と干渉低周波, 第37回日本気管食道科学会総会 (60. 11. 9. 福岡).

岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 梅田文一, 中井 準: 運動負荷からみた間質性肺炎のステロイド療法効果に関する検討, 第56回日本結核病学会, 第26回日本胸部疾患学会合同近畿地方会 (60. 11. 16. 京都).

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: パルス療法にて比較的順調な経過をとった, いわゆる急性 IIP の1例, 同上 (60. 11. 16).

川添隆司, 白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 泉 孝英, 土井俊夫, 末広文彦: びまん性肺出血の1例, 同上 (60. 11. 16).

田中栄作, 南部静洋, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 上田善道, 小橋陽一郎, 市島国雄: 移動する PIE 症候群様の陰影と両側胸水を呈した BOOP (Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia) の1例, 同上 (60. 11. 16).

西尾理英, 李 英徹, 片上信之, 坂本廣子, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 白根博文, 内田博也: 気管・気管支アミロイドーシスの1例, 同上 (60. 11. 16).

望月吉郎, 岩田猛邦, 種田和清, 郡 義明, 田口善夫, 藤本憲弘, 田中栄作, 南部静洋, 左野 明, 黒田康正: 右肺動脈起始部遮断症の1例, 同上 (60. 11. 16).

田口善夫, 岩田猛邦, 種田和清, 望月吉郎, 郡 義明, 藤本憲弘, 田中栄作, 南部静洋, 伊賀幹二, 堀健次郎: 検診で発見された Scimitar sign を伴う部分的肺静脈還流異常症の1例, 同上 (60. 11. 16).

加藤元一, 網谷良一, 久世文幸, 澤見裕康, 村田喜代史, 伊藤春海: 肝硬変に合併し, びまん性粒状影を呈す

る多発性肺動静脈シャントの1例, 同上 (60. 11. 16).

片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 新脈波型フィンガーオキシメーター・Minolta Marquest SM・32 の使用経験, 同上 (60. 11. 16).

南部静洋, 西田 篤, 田中栄作, 藤本憲弘, 田口善夫, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦, 野村信介, 赤坂清司, 上田善道, 小幡陽一郎, 市島国雄: DPB と鑑別を要した ATL の肺浸潤の1例, 同上 (60. 11. 16).

江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄, 高嶋義光, 大野暢宏: 両側同時開胸術による巨大ブラの治療経験, 第32回日本結核病学会, 第21回日本胸部疾患学会, 第6回日本気管支学会合同北陸地方会 (60. 11. 17. 福井).

高嶋義光, 江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄, 大野暢宏: 肺分画症について, 同上 (60. 11. 17).

長谷光雄, 江崎 寛, 武藤 真, 高嶋義光, 大野暢宏: 気管支動脈塞栓術が有用であった2例, 同上 (60. 11. 17).

武藤 真, 江崎 寛, 長谷光雄, 高嶋義光, 大野暢宏, 高田伸弘: 肺犬糸状虫症の一例, 同上 (60. 11. 17).

## 〔誌 上 発 表〕

### 1. 結核・非定型抗酸菌症

久世文幸, 前川暢夫: 肺結核, 日本臨床, 43 (春季臨時増刊号, 感染症学の進歩): 379~387, 1985.

前川暢夫: ツベルクリン反応の歩み: Clinical Laboratory. No. 40, 7~13, 1985.

久世文幸: 肺結核症, Geriatric Medicine, 23(9): 1518-1533, 1985.

武藤 真, 桜井信男, 山本孝吉, 西山秀樹, 倉沢卓也, 川合 満, 中西通泰, 久世文幸, 前川暢夫, 片上信之, 李 英徹, 中井 準, 内平文章, 小田芳郎, 種田和清, 岩田猛邦: 副腎皮質ステロイド薬治療に伴い発症した肺結核症の臨床的検討, 結核, 60(8): 421-428, 1985.

倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸: 最近の気管気管支結核症, Therapeutic Research, 3: 45-50, 1985.

西村千波, 角田冲介, 李 英徹, 中井 準, 西内 素, 立道 清, 庄村東洋: 肺塞栓症後に発症した M. intracellulare 症の1例, 結核, 60(5): 319-324, 1985.

久世文幸: 非定型抗酸菌症 (総説), 呼吸: 4(11): 1298~1318, 1985.

久世文幸: 頸腺結核の治療, 外科診療 Question & Answers 第10号: 358~359, 1985.

池田宣昭, 李 啓充: 1. 試験管内抗菌力に影響する諸因子の検討 [第60回結核病学会総会シンポジウム, ピラジナマイドをめぐる最近の話題 (座長 長澤誠司, 篠田 厚)], 結核60(11): 588-591, 1985.

久世文幸: Case and Treatment, 治療学, 14: 853-854, 1985.

久世文幸, 山本孝吉, 網谷良一, 村山尚子, 桜井信男, 鈴木康弘: 肉芽腫化——実験的マウス抗酸菌症を対象とした肺洗滌細胞の動態——, 日胸疾会誌, 23(10): 1105-1108, 1985.

久世文幸: 非定型抗酸菌症, 結核 (泉孝英編・分担執筆) 223~232, 医学書院, 1985.

岩田猛邦: 肺結核: 薬剤投与中に必要な臨床検査と検査回数, 結核 (分担執筆), 113~115, 医学書院, 1985.

中井 準: 肺結核の治療上問題となる合併症——慢性関節リウマチ, 結核 (分担執筆) 154~156, 医学書院, 1985.

岩田猛邦, 田口善夫: 開胸生検を要した肺結核例, 結核 (分担執筆) 238~241, 医学書院, 1985.

中井 準: 非定型的な胸部X線所見を示した肺結核, 結核 (分担執筆) 242~243, 医学書院, 1985.

西山秀樹, 武藤 真, 前川暢夫: 両肺野の多発性結節状陰影を呈した症例, 結核 (分担執筆) 244~246, 医学書院, 1985.

川合 満: 吸入性ステロイド剤治療開始後1年3ヶ月目に発症した肺結核症例, 結核 (分担執筆), 265~266, 医学書院, 1985.

今井節朗: 結核症に関する関係法規と解説, 結核 (分担執筆) 302~309, 医学書院, 1985.

李 啓充: 抗酸菌貪食に伴うマウス腹腔マクロファージのスーパーオキシサイト産生および抗酸菌の細胞内増殖に及ぼすスーパーオキシサイトの影響, 結核, 60: 23~30, 1985.

## 2. 腫瘍

倉澤卓也, 村山尚子, 西山秀樹, 久世文幸, 渡辺 智, 樋口加代子, 竹田俊男, 中島道郎: 肺 Pseudolymphoma の1例と本邦報告例の検討, 京大胸部研紀要, 18(11, 2号): 60-72, 1985.

片上信之, 石原 隆, 森 徹, 石川稔晃: 重層扁平上皮および骨化を伴った甲状腺乳頭腫の1例, 内科55(2): 383-385, 1985.

中井 準, 他47名: NK 171 第2相試験, 癌と化学療法, 12(10): 2011-2017, 1985.

K. Tanaka, T. Ino, Y. Sawahata, S. Marui, H. Yashima and H. Igaki: Mutagenicity of N-acetyl and N, N'-diacetyl derivatives of three aromatic amines used as epoxy resin hardeners, Mutation Research, 143, 11-15, 1985.

田中健一: 工業化学物質による発ガンとその予防 (総説), MOL, 23, 83-89. 1985.

## 3. 感染症の化学療法

三木文雄, 前川暢夫, 中西通泰, 松原恒雄, 池田宣昭, 柴田安宅, 他133名: 呼吸器感染症に対する Cefminox (MT-141) と Cafotaxime の薬効比較試験, 感染症学雑誌, 59(2): 115-163, 1985.

斉藤 玲, 前川暢夫, 中西通泰, 青木幸平, 松原恒雄, 池田宣昭, 岩田猛邦, 稲葉宣雄, 辻野博之, 他163名: 呼吸器感染症を対象とする Aspoxicillin と Piperacillin の二重盲検法による薬効比較試験, 感染症学雑誌, 59(2): 164-200, 1985.

中西通泰, 丸井康子, 鈴木克洋, 鈴木雄二郎, 前川暢夫, 辻野博之, 稲葉宣雄, 鍵岡 朗, 岩田猛邦, 網谷良一: Azthreonam (SQ 26,776) の呼吸器感染症に対する臨床的検討, Chemotherapy, 33(S-1): 418-424, 1985.

原 耕平, 前川暢夫, 中西通泰, 桜井信男, 小笹晃太郎, 丸井康子, 辻野博之, 青木幸平, 稲葉宣雄, 鍵岡 朗, 柴田安宅, 他181名: 呼吸器感染症に対する Sulbactam/Cefoperazone と Cefotaxime との薬効比較試験, Chemotherapy, 33(2): 159-188, 1985.

小林宏行, 久世文幸, 中西通泰, 西山秀樹, 辻野博之, 稲葉宣雄, 鍵岡 朗, 岩田猛邦, 種田和清, 松原恒雄, 青木幸平, 他130名: 呼吸器感染症に対する Sultamicillin と Bacampicillin の薬効比較試験, 59(7): 708-748, 1985.

副島林造, 中西通泰, 倉沢卓也, 白川太郎, 稲葉宣雄, 内平文章, 鍵岡 朗, 網谷良一, 望月吉郎, 柴田安宅, 他161名: 呼吸器感染症に対する AC-1370 と Cefoperazone の二重盲検法による薬効比較試験, Chemotherapy, 33(5): 481-512, 1985.

三木文雄, 前川暢夫, 中西通泰, 西山秀樹, 山本孝吉, 柴田安宅, 辻野博之, 他143名: 細菌性肺炎を対象とした Lenampicillin (KBT-1585) と Bacampicillin の薬効比較試験, 感染症学雑誌, 59(6): 605-638, 1985.

斉藤 篤, 前川暢夫, 久世文幸, 中西通泰, 西山秀樹, 辻野博之, 稲葉宣雄, 小田芳郎, 鍵岡 朗, 岩田猛邦, 種田和清, 中井 準, 坂本廣子, 片上信之, 松山栄一, 牛田伸一, 池田貞雄, 青木幸平, 他177名: 呼吸器感染症に対する Aztreonam と Cefoperazone との薬効比較試験成績, 感染症学雑誌, 59(11): 1084-1120, 1985.

中西通泰, 山本孝吉, 桜井信男, 白川太郎, 小笹晃太郎, 池田宣昭, 岩崎博信, 李 英徹, 片上信之, 中井 準, 辻野博之: 呼吸器感染症に対する Imipenem/Cilastatin sodium (MK-0787/MK-0781) の臨床検討, Chemotherapy, 33(S-4): 602-608, 1985.

中西通泰, 倉沢卓也, 西山秀樹, 網谷良一, 丸井康子, 白川太郎, 柴田安宅, 池田宣昭, 辻野博之, 坂東憲司, 稲葉宣雄, 小田芳郎, 鍵岡 朗, 岩田猛邦, 種田和清, 田口善夫, 鈴木雄二郎: 呼吸器感染症に対する Ciprofloxacin (BAY-9867) の臨床検討, Chemotherapy, 33(S-7): 439-447, 1985.

中西通泰, 小笹晃太郎, 柴田安宅, 前川暢夫: 呼吸器感染症に対する Sultamicillin (SBTPC) の臨床的検討, Chemotherapy, 39, S-2, 294-297, 1985.

岩田猛邦, 田口善夫: Tarivid の臨床“呼吸器感染症” Medical pharmacy, 19(5): 9-15, 1985.

田口善夫, 南部静洋, 田中栄作, 藤本憲弘, 郡 義明, 望月吉郎, 種田和清, 岩田猛邦: 下気道感染症における Ofloxacin の有用性の検討, 薬理と治療, 3(8): 4561-4567, 1985.

#### 4. 気管支喘息・アレルギー疾患

高橋昭三, 前川暢夫, 川合 満, 他51名:  $\beta$ -受容体刺激性気管支拡張薬 Formoterol の気管支喘息に対する薬効検討——全国30施設共同による二重盲検比較試験, 頓用試験, その1——, Clin. Eval., 12: 647-670, 1984.

高橋昭三, 前川暢夫, 川合 満, 他57名:  $\beta$ -受容体刺激性気管支拡張薬 Formoterol の気管支喘息に対する薬効検討 その2——, Clin. Eval., 12: 671-695, 1984.

信太隆夫, 川合 満, 他62名:  $\beta$ -受容体刺激性気管支拡張薬 Formoterol の気管支喘息に対する薬効検討——全国37施設共同による二重盲検比較試験, 連用試験——, Clin. Eval., 12: 677-727, 1984.

川上保雄, 宮本昭正, 岸本 進, 他8名(治療参加, 前川暢夫, 川合 満): 気管支喘息患者に対するマブテロール (Mabuterol) 錠の連続投与による臨床的検討, 臨床と研究, 61(12): 4037-4048, 1984.

江頭洋祐, 川合 満, 前川暢夫, 山田栄一(他30名): 気管支喘息に対する  $\beta$ -受容体刺激性気管支拡張薬 クレブテロールの比較臨床試験——プロカテロールを対照とする連続投与試験 (Well Controlled Study)——, 臨床と研究, 62(3): 1001-1014, 1985.

浜田朝夫, 川合 満, 前川暢夫, 倉沢卓也, 岩田猛邦, 種田和清, 小田芳郎(他75名): 気管支喘息に対する  $\beta$ -受容体刺激性気管支拡張薬 クレブテロールの二重盲検比較試験——サルブタモールを対照とする連続投与試験——, 臨床と研究, 62(3): 957-280972, 1985.

久世文幸: アレルギー性肉芽腫性血管炎, 日本臨床, 43(10): 2089-2094, 1985.

川合 満, 川勝一雄: キサンチン誘導体, Pharma Medica, 3(2): 47-57, 1985.

川合 満, 網谷良一, 倉沢卓也, 久世文幸, 江部康二: 中医学の立場より行われた気管支喘息に対する漢方薬治療の評価, 今日のアジア伝統医学——各国の現状および科学的検証の進展——, Excerpta Medica/pp. 107-112, 1985.

Mitsuru Kawai, Ryoichi Amitani, Takuya Kurasawa, Koji Ebe and Fumiyuki Kuze: Evaluation of herbal drugs prescribed on the basis of Oriental medical principles for treatment of bronchial asthma, Proc. of the 17th International congress of Internal Medicine (Kyoto, October 1984), Excerpta Medica (International Congress Series No. 693): pp. 148-157, 1985.

川合 満, 加藤元一: 気管支喘息と妊娠, 臨床成人病, 15(10): 1512-1517, 1985.

川合 満, 千熊正彦: ステロイド薬——喘息の治療——, 現代医療, 17(12): 2267-2276, 1985.

川合 満, 千熊正彦: ステロイド薬——COLD の治療——, 現代医療, 17(4): 751-758, 1985.

(最近の薬物療法——感染症・COLD——, 103-121, 現代医療, 1985にも転載)

川合 満: 気管支ぜんそく〔Ⅰ〕, 健, 13(10): 54-57, 1985.

川合 満: 気管支ぜんそく〔Ⅱ〕, 健, 13(12): 51-55, 1985.

川合 満: 気管支ぜんそく〔Ⅲ〕, 健, 14(2): 51-55, 1985.

川合 満: 気管支喘息——私の治療指針——, アレルギーの臨床, 5(7): 562-563, 1985.

川合 満・加藤元一: 喘息死の予防——突然死の対策・内科——, アレルギーの臨床, 5(11): 891-895, 1985.

川合 満: 気管支喘息の分類について (アレルギーQ & A), アレルギーの臨床, 5(11): 932-933, 1985.

牧野荘平, 川合 満, 他63名: 気管支喘息に対する Azelastine (E-0659) の臨床的検討——多施設における用量比較試験——, 臨床と研究, 62: 1263-1645, 1985.

川合 満, 千熊正彦: ステロイド薬, アレルギーの臨床, 5(8): 612-617, 1985.

川合 満, 江部康二: 成人気管支喘息, 現代医療学, 1: 55-59, 1985.

川上保雄, 油井泰雄, 滝島 任, 小林節雄, 川合 満, 前川暢夫, 他21名: 慢性閉塞性肺疾患に対するマブテロール (Mabuterol) の長期連用試験, 臨床成人病, 15(2): 241-253, 1985.

川上保雄, 無江季次, 滝島 任, 前川暢夫, 川合 満, 他95名: 気管支喘息に対するマブテロール (Mabuterol) の薬効検討——多施設共同による二重盲検比較試験 (頓用試験)——, 臨床成人病, 15(6): 807-816, 1985.

信太隆夫, 滝島 任, 高橋昭三, 前川暢夫, 川合 満, 他96名: 気管支喘息に対するマブテロール (Mabuterol) の臨床効果——サルブタモールを対照とした二重盲検連用試験——, 臨床成人病, 15(7): 943-953, 1985.

信太隆夫, 川上保雄, 前川暢夫, 川合 満, 他46名(含参加施設): KC-404 の成人気管支喘息に対する臨床的検討——多施設 Open Trial による評価——, 基礎と臨床, 19(13): 6243~6259, 1985.

信太隆夫, 川上保雄, 前川暢夫, 川合 満, 他44名: KC 404 の成人気管支喘息に対する臨床効果——封筒法による用量試験——, 基礎と臨床, 19(13): 6261-6276, 1985.

川合 満, 倉沢卓也, 網谷良一, 岩田猛邦, 江部康二, 前川暢夫: 気管支喘息の3症例, 現代の漢方治療(熊谷朗 監修, 分担執筆) 160~163, 東洋学術出版社, 1985.

川合 満: 非特異的変調療法, アレルギー性疾患——予防と治療——(宮本昭正, 他編, 分担執筆), 112~120, 医歯薬出版, 1985.

K. Tanaka, Y. Nagaya, S. Marui, Y. Okamoto, and S. Hanada,: Contact sensitivity in rats induced by tolylene diisocyanate (TDI), J. Dermatol., 12, 484-488, 1985.

田中健一, 竹岡明美, 花田 哲, 岡本 豊, 奥泉仁一, 河野茂勝: Toluene Diisocyanate (TDI) によるマウス接触過敏症に関する知見補遺, アレルギー, 34, 128-134, 1985.

M. Tominaga, S. Kohno, K. Tanaka, and K. Ohata: Studies on toluene diisocyanate (TDI)-induced delayed type hypersensitivity Japan., J., Pharmacol., 37, 163-171, 1985.

## 5. 心身医学

Hiroomi Kawano: Quality of life in cancer Patients in JAPAN, Quality of Life in Cancer Patients, p. 23-34, The Organizing Committce of Workshop on Quality of Life in Cancer Patients, Tokyo 1984.

河野博臣: 切除不能癌患者の精神的問題への対処, 消化器外科, 8(11): 1563~1568, 1985.

河野博臣: 人のいのちにかかわるにあたって “Quality of Life” をどう考えれば, 月刊ナーシング, 5(13), 1892~1898, 1985.

河野博臣ら編著: がん患者の Quality of Life について, 有斐閣, 1985.

河野博臣編著: 生と死の医療, 朝倉書房, 1985.

河野博臣ら: 「鼎談」 終末期患者の全人的医療をめぐる, 別冊・死の臨床 No. 3, 1985.

河野博臣: 老人癌患者の心理的特性と死のあり方について, 心身医学, 25(2), 189-195, 1985.

Hiroomi Kawano, Michiyasu Nakanishi: Mental Characteristics of Aged Cancer Patients and Their Way of Facing Death, Sinshin-Igaku 25, 189-195, 1985.

河野博臣: 癌患者のセルフ・ケアの問題, 死の臨床, 8(1), 43~44, 1985.

河野博臣: 死を如何に生きるか, 人の生と死, 39~46, 神戸北ロータリクラブ, 1958.

河野博臣, 飯尾正宏: 特集・21世紀の医療 画像診断, Medical News No. 283, 1~8, 1985.

河野博臣, 樋口和彦: 特集・21世紀の医療 ニューサイエンス, Medical News, No. 284, 1~8, 1985.

河野博臣, 風祭 元: 特集・21世紀の医療, うつ病——21世紀の疾病モデル——, Medical News, No. 285, 1~8, 1985.

## 6. その他

川上義和, 川合 満, 岸不盡彌, 木村謙太郎, 北村 諭, 福地義之助: 慢性閉塞性肺疾患における気道閉塞の管理と予後(座談会), 呼吸, 4(3): 242-260, 1985.

石原享介, 片山信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準, 西村千波, 太田仁八, 浅香隆久, 石井昌生: 膜型酸素濃縮器(マイルドサンソ TC-40) による在宅酸素療法の臨床的検討, 薬理と治療, 13(3): 1909-1917, 1985.

坂本邦彦, 清田隆二, 伊東一則, 松崎 勉, 内藺明裕, 上野員義, 大山 勝, 川合 満, 加藤元一, 中神和清, 周東 寛, 清井一敏: 気道粘液纖毛機能と干渉低周波, Therapeutic Research, 3(1): 96-101, 1985.

石原享介, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 気管支結石症, 気管支鏡診断と治療, 気管支学, 7(1): 62-70, 1985.

石原享介, 岩崎博信, 片上信之, 坂本廣子, 李 英徹, 梅田文一, 中井 準: びまん性汎細気管支炎, 慢性肺

気腫の気道抵抗およびその不均等換気の特異性について，呼吸と循環，32(6)：627-632，1984.

佐川弥之助，網谷良一，池田宣昭，石原享介，岩田猛邦，川合 満，坂本廣子，中井 準，武藤 真，山田栄一，山島英世，李 英徹，他47名：呼吸器疾患における呼吸困難に対するノイキノンの臨床効果の検討，日胸，44(9)：774-782，1985.

前川暢夫：生活環境と呼吸器疾患，和歌山赤十字病院医学雑誌，3：3～9，1985.

前川暢夫：呼吸器疾患——現代医学の立場——，現代の漢方治療(熊谷朗 編，分担執筆)，10～11，東洋学術出版社，1985.

片上信之，坂本廣子，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準：OK-432 (ピシバニール) 胸腔内注入による自然気胸の治療とその予後，日本胸部臨床，44(3)：189～194，1985.

中西通泰：肺性脳症，総合臨床，34：547～550，1985.

中西通泰，武藤 真，船津武志：気管支軟骨の欠乏を伴う先天性気管支拡張症の1例，日本胸部疾患学会雑誌，23：921～927，1985.

中西通泰：Annual Review 呼吸器1986，(分担執筆)，3. 肺結核の短期療法，p. 167～172，中外医学社，1985.

石原享介，宮本 武，吉本信次郎：溺水 (near drowning) 画像診断のため疾患図譜7，肺・縦隔「3」，メジカルレビュー社，1985.

山田栄一：呼吸器疾患に対するコルドリン，レフトーゼ併用療法の効果，新薬と治療，34(12)：2425～2428，1985.

長岡 滋，川合 満，池田宣昭，中川正清，今井節朗，東向一郎，他(共同研究)：急性上気道炎に対するトルフェナム酸の臨床的薬効の検討(第Ⅱ相試験：イブプロフェンとの比較)，診療と新薬，22(6)：1387～1407，1985.

川合 満，千熊正彦：Mucoregulator と Mucolubricant, FARUMASHA, 21(2)：139～143，1985.

## 〔研究会・講演会〕

### 1. 結核・非定型抗酸菌症

中井 準：抗酸菌感染症の臨床と検査，兵庫県臨床衛生検査技師会第8回合同研究会 (60.3.3).

倉沢卓也，川合 満，久世文幸：最近の気管・気管支結核，第4回気道分泌研究会 (60.3.30. 鹿児島).

久世文幸：マウス実験結核症における肺洗滌細胞の経時的観察，第54回実験結核研究会 (60.4.6. 名古屋).

久世文幸，斉藤 肇，楠 伸治，浅野健治：ナイアシンテスト・アニリン法と各種ペーパー法の比較検討，第8回臨床抗酸菌談話会 (60.4.6. 名古屋).

久世文幸，桜井信男：RA に合併した M. intracellulare 症の1剖検例，第17回非定型抗酸菌症研究協議会 (60.4.7. 名古屋).

久世文幸，山本孝吉，村山尚子，前川暢夫：実験的マウス抗酸菌症を対象とした肺洗滌細胞の動態 (60.6.7. 日結研総会報告，東京).

村山尚子，山本孝吉，久世文幸：マウス肺能マクロファージの殺カンジダ活性，第55回実験結核研究会 (60.9.25. 東京).

久世文幸：非定型抗酸菌の臨床細菌学——現状と今後の問題点，第37回国立大学附置研究所結核及び胸部疾患(がん・免疫)談話会 (60.11.22. 福岡).

### 2. 腫 瘍

黒田直明，坂東憲司，倉沢卓也：多発性ポリープ様結節をみた肺多発癌の1例，第24回近畿気管支鏡懇話会 (60.3.1. 大阪).

白川太郎，藤村直樹，加藤幹夫，日置辰一朗：Class V にもかかわらず気管支鏡にて原発巣不明の一症例，第24回近畿気管支鏡懇話会 (60.3.1. 大阪).

五十部淳，田村康一，人見滋樹，倉沢卓也：気管支軟骨腫の1手術例，第26回近畿気管支鏡懇話会 (60.11.8. 大阪).

坂本廣子, 片上信之, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: 肺小細胞癌に対する CONP-CONP 療法と CONP-VAD 療法の治療成績, 第33回兵庫県肺癌懇話会 (60.11.20).

西内 素, 橋平 誠, 庄村東洋, 梅田文一, 中井 準: 胸骨正中切開による肺癌手術の経験, 同上(60.11.20).

谷口理子, 片上信之, 尾西理英, 坂本廣子, 李 英徹, 石原享介, 岩崎博信, 梅田文一, 中井 準: シスプラチンを用いた BAI と放射線療法により CR をきたした肺癌の 2 症例, 第 4 回兵庫県癌治療懇話会 (60.11.21).

### 3. 感染症の化学療法

岩田猛邦: 呼吸器感染症, 田辺市医師会研究会 (60.3.1. 田辺).

角田冲介: 輸入感染性腸炎の実態, 神戸市旅行者感染症研究会 (60.7.4. 神戸).

岩田猛邦: 呼吸器感染症, 御所市医師会 (60.8.20. 御所).

岩田猛邦: 慢性気道疾患について, 大阪市南区医師会勉強会 (60.9.7. 大阪).

岩田猛邦: 呼吸器感染症, 奈良市医師会 (60.9.20. 奈良).

岩田猛邦: 呼吸器感染症, 天理市医師会 (60.9.28. 天理).

岩田猛邦: 慢性気道感染症について, 高知県医師会主催研究会 (60.10.11. 高知).

岩田猛邦: 慢性気道感染症について, 福井県医師会主催研究会 (60.10.24. 福井).

岩田猛邦: 慢性気道感染症, 高田日医師会 (60.12.9. 大和高田).

### 4. 気管支喘息・アレルギー疾患

川合 満: 気管支喘息の治療方針, 長田区医師会学術集談会 (60.1.24. 神戸).

川合 満: アレルギー性疾患, 特に気管支喘息を中心として, 和歌山市医師会 (60.2.16. 和歌山).

川合 満: 気管支喘息及び鼻アレルギーの治療——最近の進歩, 枚方医師会 (60.3.14. 大阪).

田中健一, 岡本 豊, 丸井昭吾, 張 寛正, 杉山正夫, 中井義明: TDI による鼻アレルギーモデル鼻粘膜に観察された好塩基性細胞の形態に関する若干の知見, 第 3 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー研究会(60.3.19. 東京).

川合 満: 気管支喘息患者の日常管理, 第12回京滋臨床アレルギー懇話会 (60.4.6. 京都).

川合 満: 気管支喘息とアレルギー性鼻炎の最近の診断と治療, 西京医師会 (60.4.14. 京都).

川合 満: 気管支喘息の病態と治療, 北京首都病院 (60.4.28. 北京).

川合 満: 気管支喘息の中・西結合的治療について, 上海中医学院 (60.4.30. 上海).

山田栄一: 喘息治療と気道過敏性の変化, 神戸アレルギー研究会 (60.1.6. 神戸).

川合 満: 気管支喘息の病型に応じた治療法について, 金沢市医師会 (60.6.26. 金沢).

川合 満:  $\beta$  刺激薬・研究開発の進歩, 気管支喘息薬物療法研究会 (60.7.13. 京都).

川合 満: 気管支喘息治療の留意点, 浜松市医師会 (60.9.7. 浜松).

川合 満: 気管支喘息の病型に応じた治療法について, 新潟市医師会 (60.9.11. 新潟).

川合 満: 気管支喘息の治療指針, 松山胸部疾患懇話会 (60.9.14. 松山).

川合 満: アレルギー性肺疾患の病態と治療, 宝塚市内科小児科医会 (60.9.21. 宝塚).

川合 満: 気管支喘息の治療, 釧路市医師会 (60.10.17. 釧路).

川合 満: 気管支喘息の治療——病型別, 重症度別の治療方針——, 北九州市医師会 (60.11.21. 小倉).

川合 満: 気管支喘息患者の治療指針と日常管理, 八戸市医師会 (60.11.28. 八戸).

白川太郎, 藤村直樹, 日下幸則, 後藤 稔: 超硬合金喘息のアレルギー学的検討, 第 3 回臨床アレルギー研究会 (60.11.30. 大阪).

川合 満: 気管支喘息の診断と治療, 綴喜医師会 (60.12.17. 京都).

### 5. 心身医学

河野博臣: 末期癌患者のケア, 実地医家の会研究会 (60.4.14. 東京).

河野博臣: “自分の発見” 朝日新聞 (60.4.21. 東京).



河野博臣：老いと死，特殊法人神戸学生青年センター（60.5.11. 神戸）。  
河野博臣：末期癌患者の看護，白本看護協会（60.6.2. 名古屋）。  
河野博臣：末期癌患者のケアをめぐる，北播地区看護協会（60.6.8. 三木）。  
河野博臣：老人性痴呆について，阪神福祉センター（60.6.19. 西宮）。  
河野博臣：末期医療の基礎，東京大学看護部（60.6.20. 東京）。  
河野博臣：末期医療の基礎，東京大学看護部（60.7.11. 東京）。  
河野博臣：死を前にした成長，智恩院（60.7.20. 京都）。  
河野博臣：疼痛の心身医学的アプローチ，京都市医師会（60.8.4. 京都）。  
河野博臣：死の臨床，広島カウンセリングスクール（60.9.7. 広島）。  
河野博臣：Patients Care，厚生省（60.9.29. 神戸）。  
河野博臣：末期癌患者ターミナル・ケアのあり方，自治医大医師部（60.10.4. 栃木県河内郡）。  
河野博臣：末期癌患者のケアとケア，大牟田医師会（60.10.9. 大牟田）。  
河野博臣：末期癌患者のケア，京都大胸部研看護部（60.10.16. 京都）。  
河野博臣：死から生へ，日本キリスト教団三原教会（60.10.27. 三原）。  
河野博臣：死を生きる。三木教会（60.11.10. 三木）。  
井上トク子，中西通泰，三浦昭代：告知する側に要求されること，第9回死の臨床研究会（60.12.7. 京都）。  
南ゆかり，中西通泰，三浦昭代：病名告知に関する一考察，同上（60.12.7. 京都）。  
河野博臣 座長：ワークショップ：病名告知をめぐる問題，同上（60.12.8）。

## 6. そ の 他

川合 満：気道閉塞性肺疾患の薬物療法，兵庫県病院薬剤師会神戸支部学術講演会（60.1.24. 神戸）。  
網谷良一：Liquid-filled Alveolography (LFA) の診断的意識，第22回京阪神呼吸器疾患談話会（60.2.9. 大阪）。  
片上信之，坂本廣子，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準，太田仁八，石井昌生：進行性の呼吸困難と低ガンマグロブリン血症を呈したびまん性肺疾患の1例，第28回びまん性肺疾患研究会（60.2.16. 大阪）。  
郡 義明，田中榮作，藤本憲弘，田口善夫，望月吉郎，種田和清，岩田猛邦，上田義道，小橋陽一郎，市島国雄：胸部レ線上記びまん性散布性粒状影を呈し，急速なう胞形成を来した1例，同上（60.2.16. 大阪）。  
坂本邦彦，清田隆二，大山 勝，川合 満，加藤元一，溝井一政，他：気道粘液纖毛機能と干渉低周波，第4回気道分泌研究会（60.3.30. 鹿児島）。  
川合 満：COPD と酸素療法，京大老年科セミナー，（60.5.15. 京都）。  
川合 満：閉塞性肺疾患の薬物療法，姫路小児科医会（60.5.18. 姫路）。  
川合 満：閉塞性肺疾患の薬物療法，京都府病院薬剤師会学術講演会（60.5.25. 京都）。  
久世文幸：胸部疾患の変遷（芝蘭会大阪府支部会講演，60.6.7. 大阪）。  
石原享介，片上信之，坂本廣子，李 英徹，岩崎博信，梅田文一，中井 準：びまん性汎細気管支炎（DPB）の臨床的検討，第4回阪神呼吸器勉強会（60.6.8）。  
白川太郎，藤村直樹，高田範男，加藤幹男，日置辰一郎：喀痰細胞診陽性にもかかわらず，原発巣の発見不能であった肺癌の1症例——lung cancer か non specific reaction か——，第25回近畿気管支鏡懇話会（60.7.5. 大阪）。  
南部静洋，野村信介，田中榮作，藤本憲弘，田口善夫，郡 義明，望月吉郎，種田和清，岩田猛邦，上田善道，小橋陽一郎，市島国雄：湿性咳嗽，発熱と呼吸困難を主訴とし，胸部 X-P 上記びまん性陰影を呈した1例，第29回びまん性肺疾患研究会（60.7.13. 大阪）。  
長谷川幹，城 泰子，片上信之，坂本廣子，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準，永井謙一：悪性リンパ腫治療中に出現したびまん性肺疾患の1例，同上（60.7.13. 大阪）。  
川添隆司，白川太郎，藤村直樹，高田範男，加藤幹夫，日置辰一郎，北市正則，泉 孝英，土井俊夫，末広文

彦：咯血と高熱及び呼吸困難を主訴とし、びまん性肺陰影を呈した一症例、第30回びまん性肺疾患研究会（60.10.12）。

李 英徹，片上信之，坂本廣子，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準，北川正信：労作時呼吸困難，乾性喀嗽を主訴としたびまん性肺疾患の1例，同上（60.10.12）。

白川太郎，川添隆司，藤村直樹，加藤幹夫，日置辰一朗：気管支鏡を用いた経鼻挿管法，第26回近畿気管支鏡懇話会（60.11.8. 大阪）。

郡 義明，南部静洋，田中栄作，藤本憲弘，田口善夫，望月吉郎，種田和清，岩田猛邦：胸部X線上多発空洞様陰影を呈した肺サルコイドーシスの1例，第5回日本サルコイドーシス研究会総会（60.11.9. 岡山）。

久保嘉朗，新実彰男，岡崎美樹，加藤元一，網谷良一，倉沢卓也，久世文幸，田村康一，牛田伸一，大草加子，西村一男，山辺博彦：多発性小結節陰影を呈し，経過中空洞形成，自然退縮を示した1例，第31回びまん性肺疾患研究会（60.12.14. 大阪）。

南部静洋，藤本憲弘，田口善夫，郡 義明，望月吉郎，種田和清，上田善道，小橋陽一郎，市島国雄：乾性咳嗽，労作時呼吸困難を主訴とし，胸部 X-P 上びまん性陰影を呈した1例，第31回びまん性肺疾患研究会（60.12.14. 大阪）。

#### 京大胸部研内科 I 合同研究発表会（第1回）（60.12.21. 京都）

黒田直明，坂東憲司（大阪府済生会中津病院 呼吸器科）：気管支結石症の臨床的検討

石原享介，片上信之，坂本廣子，李 英徹，岩崎博信，梅田文一，中井 準（神戸市立中央市民病院 呼吸器内科）：気管支結石症の気管支鏡診断と治療

鈴木雄二郎（和歌山赤十字病院 呼吸器科）：止血困難であった大量咯血の2症例

白川太郎（高槻赤十字病院 呼吸器科）：気道過敏性と喘息——職業性喘息をモデルに——

山田栄一（神鋼病院 内科）：気管支喘息の気道過敏性

桜井信男（京大胸部研 内科1）：実験的非定型抗酸菌症に関する研究

李 啓充（京大胸部研 内科1）：胸，腹水中の形質転換増殖因子（TGF）に関する検討

山本孝吉，村山尚子（京大胸部研 内科1）：ヒト肺胞マクロファージに対する組み替え型 インターフェロンガンマの効果

岡本 豊，田中健一（東レ安全性試験室）：TDI によるモルモット鼻アレルギーモデル鼻粘膜に観察された好塩基性細胞の形態に関する研究

山鳥英世，足立嘉之，松本鉄也，森 一彌，池田宣昭（国立療養所南京都病院）：若年者肺結核の臨床像

足立嘉之，松本鉄也，山鳥英世，森 一彌，池田宣昭（国立療養所南京都病院）：Mycobacterium chelonae 症の1例

中尾雅春，角田冲介（神戸通信病院 内科），松村武男（神戸大学医動物）：オウム病の二家族内発生例の検討と野生の鳩におけるオウム病クラミジア抗体の保有率について

田口善男，岩田猛邦，種田和清，望月吉郎，郡 義明，藤本憲弘，南部静洋（天理よろづ相談所病院 呼吸器内科），高橋 浩，相原雅典（同臨床病理部），福本 晃（大阪通信病院 検査科）：Legionella bozemanii による激症肺炎の一例

武藤 真，大野暢宏，江崎 寛，長谷光雄，高嶋義光（福井赤十字病院 呼吸器科）：肺犬糸状虫症の1例

坂本廣子，片上信之，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準（神戸市立中央市民病院 呼吸器内科）：肺小細胞癌の化学療法——CONP-CONP, CONP-VAD の randomized control study を中心に——

牛田伸一（国立姫路病院 内科）：Co-enzyme Q<sub>10</sub> 及び  $\alpha$ -tocopherol による放射線肺炎の予防効果——臨床的検討——（間質性肺炎に対する radical scavenger の応用についての文献的考察）

南部静洋（天理よろづ相談所病院 呼吸器内科）：DPB と鑑別を要した ATL の肺浸潤の1例

片上信之，坂本廣子，李 英徹，石原享介，岩崎博信，梅田文一，中井 準（神戸市立中央市民病院 呼吸器内科）：肺，縦隔病変の診断と治療におけるリニア型電子超音波断層装置の有用性

中原保治（国立姫路病院 内科）：気管支鏡下高周波電流焼灼法の試み

望月吉郎（天理よろづ相談所病院 呼吸器内科）：当院で経験した睡眠時無呼吸症候群について

## 講演会

Dr. P. R. J. Gangadahram (Director of Mycobacterial Research Section, National Jewish Hospital and Research Center, U.S.A)

Animal models of M. Intracellulare Infection. 京大胸部研主催内科第一部門 (60. 6. 25)

## 内科学第二部門

## 〔著書・分担執筆〕

泉 孝英編集：「結核」医学書院。東京，1985。

分担執筆 I-8 結核の血清反応 I-9 BCG p. 29-33, II-2 肺結核の治療 p. 99~102 (泉 孝英), III-3, 2, B 空洞と空洞様陰影を示す他疾患との鑑別 p. 129~136 (木野稔也), III-1 結核性胸膜炎 p. 171~175 (荏原順一), VI-2 不明熱により入院, BHL が認められ, サルコイドーシス, 悪性リンパ腫が疑われたリンパ節結核 p. 237~238, 12. 消長する咳, 痰, 喘息, 微熱を主訴として半年余確診されなかった左主気管支結核例 p. 257~259 (日置辰一郎), 22. 肺癌と合併した肺結核症例 p. 274~276 (門 政男), わが国における結核文献 p. 311~318 (泉 孝英, 米田良蔵)。

泉 孝英：30. 呼吸器疾患の救急・Mills, J., Ho, M. T., Trunkey, D. D. 編. Current Emergency Diagnosis & Treatment 全科救急診療指針, p. 497~512, 金芳堂, 1985。

泉 孝英：Lecture 23 肺の防御・免疫機能 (5), 感染因子と肺の反応 (1), Lecture 24 肺の防御・免疫機能 (6), 感染因子と肺の反応 (2), Lecture 25 肺の防御・免疫機能 (7), 感染因子と肺の反応 (3), 本間日臣編 呼吸器病学, 第2版 p. 288~299, p. 300~313, p. 314~327, 医学書院, 1985。

木野稔也：好酸球性肺浸潤症候群 (PIE 症候群)。日野原重明, 阿部正和総編集「今日の治療指針」p. 277, 医学書院, 1986。

伊藤春海, 藤堂義郎, 中野善文, 村田喜代史, 富樫かおり, 鳥塚莞爾, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作：1. 肺末梢病変, 3. 肺のX線 CT. 小林敏雄, 志田寿夫監修「肺小病変の画像診断」p. 14-19. 日本医事新報社出版局, 1985。

## 〔総 説〕

大島駿作, 荏原順一：肺胞マクロファージの代謝と機能。医学のあゆみ, 135(12,13)：1023~1028, 1985。

大島駿作, 北市正則：特集「薬物療法の実際」肺線維症。診断と治療, 74(1)：102~104, 1986。

泉 孝英, 長井苑子：特集「肺臓炎と肺線維症」気管支肺胞洗浄液所見と肺臓炎。内科, 55(4)：619~624, 1985。

泉 孝英：特集「免疫からみた疾患」免疫学的機序による呼吸器疾患。クリニカ 12(4)：329~336, 1985。

泉 孝英, 長井苑子, 竹内 実：講座「免疫実験操作法」リンパ球サブセットの分画法—末梢血および気管支肺胞洗浄液からの分離方法—。呼吸, 4(7)：803~807, 1985。

泉 孝英, 藤村直樹, 北市正則, 荏原順一, 長井苑子, 西村浩一, 竹内 実：特集「アレルギー性肺疾患 (肺と免疫をめぐって)」慢性ベリリウム肺, 肺と心, 32(3)：203~211, 1985。

泉 孝英：「臨床医のための新しい病気 見直された病気」肺線維症 (特発性間質性肺炎)。臨床医, 11(増)：1587~1588, 1985。

泉 孝英, 松井祐佐公：特集「薬物と呼吸器」免疫抑制剤。最新医学, 40(7)：1376~1383, 1985。

泉 孝英：「免疫学的検査および治療法」呼吸器疾患における免疫学的検査の意義。臨床医, 11(10)：136~137, 1985。

泉 孝英：「Current topics」びまん性汎細気管支炎の独立性をめぐって。medicina, 22(10)：1864~1873, 1985。

泉 孝英, 長井苑子: 今月の臨床免疫「過敏性肺臓炎」過敏性肺臓炎における気管支肺胞洗浄液所見. *Medical Immunology*, 10(4): 489~495, 1985.

泉 孝英, 松井祐佐公: 呼吸器ウイルス感染症. *医薬ジャーナル*, 21(12): 2417~2421, 1985.

泉 孝英, 長井苑子: 特集「免疫不全」サルコイドーシスにおける免疫不全. *医学のあゆみ*, 135(9): 805~810, 1985.

泉 孝英, 長井苑子, 竹内 実, 北市正則, 藤村直樹, 平田健雄, 田村 久, 沢野哲重, 橋本圭司, 三尾直士: 特集「肺と気管支トピックと診療の進歩」間質性肺疾患における BALF 細胞サブセット測定の臨床的意義. 診断と治療, 73(12): 2502~2506, 1985.

泉 孝英, 長井苑子, 藤村直樹: BALF リンパ球. *Immuno-Advance*, 14(2): 75~80, 1985.

木野稔也: 昆虫由来の浮遊性抗原による吸入性アレルギー. *日本胸部臨床*, 44(4): 257~265, 1985.

長井苑子: リンホカインと肺の免疫—各種肺疾患におけるリンホカインの関与, 意義をめぐって—. 呼吸, 5(3): 244~258, 1986.

# 〔原 著〕

木野稔也, 福田康二, 古江増裕, 荏原順一, 泉 孝英, 大島駿作: 気管支造影剤 (水性デジオノジュール®) の肺胞および気管支内貯留によって生じ, 同時に真菌に対する IgE 抗体と沈降抗体が検出された喘息性肺好酸球増多症の1例. *日胸疾会誌*, 23(7): 829~836, 1985.

門 政男, 大島駿作, 松井祐佐公, 下方 薫, 原 耕平, 神田哲郎, 志摩 清, 岳中耐夫: 共同研究による Etoposide (VP-16) 注射剤の原発性肺癌に対する phase II Study. 癌と化学療法, 13(1): 116~121, 1986.

Matsui, Y., Ohshima, S.: Migration inhibition and stimulation factors produced from peripheral blood lymphocyte cultures of sensitized guinea pigs. *Asian Pacific J Allergy Immun*, 3(2): 151~155, 1985.

松井祐佐公, 大島駿作, 門 政男, 中山昌彦, 下方 薫, 酒井秀造, 伊藤文雄, 智片英治, 原 耕平, 神田哲郎, 志摩 清, 岳中耐夫, 外間政哲, 源河圭一郎: 原発性肺癌に対する経口 VP-16 (Etoposide) の phase II study. 癌と化学療法, 12(9): 1801~1807, 1985.

橋本圭司: サルコイドーシスにおける気管支肺胞洗浄液 (BALF) 中の T リンパ球サブセットに関する検討—特に臨床病期との関連性について—. *日胸疾会誌*, 24(3): 218~229, 1986.

荏原順一: 各種びまん性肺疾患における肺胞マクロファージの IgG-Fc レセプター活性についての検討. *日胸疾会誌*, 23(7): 790~798, 1985.

荏原順一, 木野稔也: PIE 症候群の成立機序に関する一考察—Challenge testにて確定診断した薬剤性 PIE 症候群の1例を中心に—. アレルギーの臨床, 5(13): 34~38, 1985.

Nagai, S., Fujimura, N., Hirata T., Izumi, T.: Differentiation between idiopathic pulmonary fibrosis and interstitial pneumonia associated with collagen vascular diseases by comparison of the ratio of OKT 4<sup>+</sup> cells and OKT 8<sup>+</sup> cells in BALF T lymphocytes. *Eur. J. Respir. Dis.* 67(1): 1~9, 1985.

古江増裕, 木野稔也, 今井弘行, 大島駿作: Double antibody solid phase method による血清 IgE 値の測定—測定精度の検討と radioimmunosorbent test (RIST) による測定値の比較—. 臨床免疫, 17(8): 778~788, 1985.

伊藤春海, 泉 孝英, 北市正則, 西村浩一, 木野稔也, 長井苑子, 古江増裕, 人見滋樹, 大島駿作, 村田喜代史, 野間恵之, 藤堂義郎, 伊藤 剛, 金岡正樹, 古田睦広, 浅本 仁, 西田寿男, 鳥塚莞爾: 特集「間質性肺病変のX線診断と臨床」間質性肺病変の CT 像. 画像診断, 16(1): 6~14, 1986.

神奈木玲児, 福士泰夫, 繁田勝美, 平岩 望, 福田善弘, 井村裕夫, 稲本 俊, 児玉 宏, 門 政男, 大島駿作, 吉田凱宣, 遠藤治郎, 箱守仙一郎: 肺腺癌の糖鎖性腫瘍マーカーとしてのシアリル Xi (シアリル SSEA-1) 抗原. *医学のあゆみ*, 136(5): 381~382, 1986.

寺松 孝, 大島駿作, 木野稔也, 松井祐佐公, 門 政男他31名: 急性上気道炎に対する Emorfazone の臨床評価—Ibuprofen との二重盲検比較試験—. 臨床と研究, 62(10): 3347~3359, 1985.

小野寺秀紀, 小林 裕, 赤荻照章, 迫 雅美, 林 英夫, 小関忠尚, 谷池圭子, 竹中 温, 徳田 一, 北市正

則, 泉 孝英: びまん性過誤腫性肺脈管筋腫症の1例. 日本胸部臨床, (3): 243~248, 1986.

中島重徳, 津谷泰夫, 上西豊基, 北谷文彦, 海野雅澄, 上田英之助, 前倉亮治, 一之沢昭夫, 栗原直嗣, 藤本繁夫, 泉 孝英, 西村浩一, 波田朝夫: 慢性閉塞性肺疾患における塩酸トリメトキリール (ベベロン®) の臨床的有用性について. 診療と新薬, 22(9): 2215~2221, 1985.

小泉 満, 遠藤啓吾, 中島言子, 阪原晴海, 中島鉄夫, 太田仁八, 河村泰孝, 松井祐佐公, 鳥塚莞爾: Neuron specific enolase (NSE) RIA kit (Pharmacia) の基礎的・臨床的検討. 核医学, 23(2): 173~179, 1986.

黄川田啓子, 本田和徳, 佐藤篤彦, 谷口正実, 早川啓史, 千田金吾, 今井弘行, 北市正則: Lymphoid interstitial pneumonia—自験例および本邦報告例の集計成績—. 日胸疾会誌, 23(7): 804-813, 1985.

千田金吾, 佐藤篤彦, 本田和徳, 岡野昌彦, 谷口正実, 秋山仁一郎, 早川啓史, 今井弘行, 北市正則: 小麦が原因と推定された慢性型の過敏性肺炎の1例. 日胸疾会誌, 23(12): 1472-1479, 1985.

三宅正幸, 伊藤元彦, 瀧 俊彦, 住友伸一, 有安哲哉, 人見滋樹, 北市正則, 清水慶彦: Intravascular bronchioloalveolar tumor の1例. 日胸疾会誌, 24(1): 74-78, 1986.

#### 〔学会記録, 報告書, 会議録〕

泉 孝英, 長井苑子, 藤村直樹, 北市正則, 木野稔也, 大島駿作: 自覚症状によって発見されたサルコイドーシス77例の5年後の所見について. サルコイドーシス研究会誌, 4: 69~70, 1985.

泉 孝英, 長井苑子, 大島駿作, 沢野哲重: 肺結核症例における BALF マクロファージ, リンパ球サブセットに関する研究. 昭和59年度日米医学研究協力報告書, p. 303~313.

泉 孝英, 長井苑子, 大島駿作: 特発性間質性肺炎と膠原病性間質性肺炎—モノクローナル抗体を用いた検討成績からみた活動度と疾患特異性—. 厚生省特定疾患間質性肺疾患調査研究班昭和59年度研究報告書, p. 95~99.

泉 孝英: 第60回総会特別講演「類上皮細胞肉芽腫形成性肺疾患の病態生理」. 結核, 61(2): 85~93, 1986.

泉 孝英: 過敏性肺臓炎をめぐる最近の問題点—ATS meeting 1985 (Anaheim) から—. 第32回間質性肺疾患研究会討議録, p. 28~36, 1986. 2. 1.

Izumi, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Fujiwara, N.: Clinical value of the measurement of bronchoalveolar lavage fluid cell subsets in interstitial lung diseases. Chest 89(3): 137S~138S. 1986.

松井祐佐公, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作: 皮膚病変で発症した Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis (旧名 lymphomatoid granulomatosis) の1例. サルコイドーシス研究会誌, 4: 146~147, 1984.

北市正則, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作: Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type (Lymphomatoid granulomatosis) の1例の病理学的所見について. サルコイドーシス研究会誌, 4: 63-64, 1984.

北市正則, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作: 肺胞マクロファージに及ぼす喫煙の影響に関する研究, びまん性肺疾患と肺胞マクロファージ. 昭和59年度喫煙と健康に関する委託研究報告概要, p. 328~344.

橋本圭司, 長井苑子, 泉 孝英, 北市正則, 藤村直樹, 竹内 実, 蔡 熒煌, 大島駿作, 沢野哲重: サルコイドーシスにおける臨床病期と BAL リンパ球所見の対比検討. サルコイドーシス研究会誌, 4: 75~76, 1984.

長井苑子, 泉 孝英, 竹内 実, 北市正則, 大島駿作, 橋本圭司, 沢野哲重: サルコイドーシスにおける BALF リンパ球の IL-2 に対する反応性について. サルコイドーシス研究会誌, 4: 31-32, 1984.

長井苑子, 泉 孝英: 特別報告—ボルチモア国際会議より— 1. 肉芽腫形成組織化について. サルコイドーシス研究会誌, 4: 17~18, 1984.

三上理一郎, 細田 裕, 山本正彦, 泉 孝英, 信友浩一: 肺サルコイドーシス国際治療委員会報告. サルコイドーシス研究会誌, 4: 19~20, 1984.

田村康一, 光岡明夫, 瀧 俊彦, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 倉沢卓也, 門 政男, 西村浩一, 佐藤公彦: 気管支鏡の合併症および対策—大量出血について—. 気管支学, 7(4): 506~513, 1985.

#### 〔学会, 研究会発表〕

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 西村浩一, 大島駿作, 藤村直樹, 今井弘行: BALF 細胞サブセットからみ

た各種膠原病に伴う間質性肺炎の比較検討. 第82回日本内科学会講演会 (60. 4. 5).

泉 孝英: 特別講演「類上皮細胞肉芽腫形成性肺疾患の病態生理」. 第60回日本結核病学会総会 (60. 4. 8).

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 門 政男, 大島駿作: 特発性間質性肺炎(慢性型)症例の自然経過について. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 11).

泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 木野稔也, 大島駿作, 藤村直樹: 自覚症状によって発見された肺サルコイドーシス 77 例の胸部 X線所見上の予後—ステロイド剤投与群と非投与群の比較—. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 11).

Izumi, T., Nagai, S., Mio, T., Fujimura, N., Kitaichi, M.: Alveolar macrophage subsets in sarcoidosis, idiopathic pulmonary fibrosis, and interstitial pulmonary fibrosis associated with collagen vascular disease. American Thoracic Society 1985 Annual Meeting (1985. 5. 15. Anaheim).

泉 孝英: 過敏性肺臓炎をめぐる最近の問題点—ATS meeting 1985 (Anaheim) から—. 第32回間質性肺疾患研究会 (60. 5. 24).

Izumi, T., Nagai, S., Kitaichi, M., Fujimura, N.: Clinical value of the measurements of BALF cell subsets. 28th Aspen Lung Conference (1985. 6. 12. Aspen).

泉 孝英: シンポジウムⅡ「肉芽腫性疾患の病態と治療」3. 肉芽腫性肺疾患の免疫学的検討. BALF 所見を中心として. 第35回日本アレルギー学会総会 (60. 9. 27).

泉 孝英: パネルディスカッションⅠ「職業アレルギー」2. 4) ベリリウム. 第35回日本アレルギー学会総会 (60. 9. 27).

泉 孝英, 長井苑子, 大島駿作: サルコイドーシス中年女子発症例の予後について. 第5回サルコイドーシス研究会総会 (60. 11. 9).

泉 孝英: サルコイドーシス患者における喫煙状況. 第5回サルコイドーシス研究会総会 (60. 11. 9).

泉 孝英: シンポジウム「Seronegative spondyloarthritis の基礎と臨床」サルコイドーシス. 主催リウマチセンター間連絡会 (60. 11. 23).

泉 孝英: 特別講演「膠原病における肺病変」. 第24回京大臨床免疫同好会 (61. 1. 25).

泉 孝英: サルコイドーシス病因への疫学的接近. コメント 厚生省難病の疫学班ワークショップ (61. 2. 28).

木野稔也, 三尾直士, 西村浩一, 古江増裕, 荏原順一, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作, 今井弘行: 原因不明の PIE 症候群における臨床的アレルギー学的研究. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 10).

木野稔也, 正垣幸雄, 大島駿作: 昆虫による気管支喘息の研究, (XII) 蝶・蛾, トビケラ, ユスリカの存在と気管支喘息患者におけるこれら昆虫アレルギーの意義. 第35回日本アレルギー学会総会 (60. 9. 26).

Kino, T., Chihara, J., Oshima, S.: Frequency of reaginic sensitivity to insects in patients with bronchial asthma, XII International Congress of Allergology and Clinical Immunology (1985. 10. 24. Washington D. C.).

門 政男, 西村浩一, 三尾直士, 荏原順一, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作, 瀧 俊彦, 安場広高: 原発性肺癌患者血清中の Neuron-specific Enolase の臨床的検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 9).

門 政男, 西村浩一, 荏原順一, 松井祐佐公, 大島駿作, 福士泰夫, 神奈木玲児, 箱守仙一郎: 肺癌患者血清中の sialylated stage-specific embryonic antigen-1 (シアリル SSEA-1) の臨床的検討. 第26回肺癌学会総会 (60. 11. 5).

門 政男, 西村浩一, 大島駿作, 田村康一, 杉本幾久雄: 気管支内異物の3症例. 第26回近畿気管支懇話会 (60. 11. 8).

松井祐佐公, 北市正則, 長井苑子, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 安場広高: Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type (旧名 Lymphomatoid granulomatosis) の1例. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 11).

松井祐佐公, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作, 安場広高: 皮膚病変で発症した Malignant lymphoma of lymphomatoid granulomatosis type の1例. 第5回京都呼吸器疾患シンポジウム (60. 7. 21).

Matsui, Y., Kado, M., Ohshima, S.: A phase II study of oral VP-16 in small cell lung cancer (SCLC)

in Japan. IV World Conference of Lung Cancer. (1985.8.26. Toronto).

松井祐佐公, 三尾直士, 西村浩一, 福田康二, 長井苑子, 荏原順一, 佐々木義行, 北市正則, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作: 肺癌患者の腫瘍マーカーとしての CEA, TA-4, NSE, CA-19-9, TPA の臨床的有用性について. 第26回日本肺癌学会総会 (60.11.6).

松井祐佐公: 肺癌症例における経口及び静注用 VP-16 の単独効果について. 第22回京大癌研究会 (61.1.21).

Hirata, T., Bitterman, P., Crystal, R. G.: The maturation of monocytes into macrophages is associated with the expression of transferrin receptors. American Thoracic Society 1985 Annual Meeting (1985.5.12 Anaheim).

北市正則: Idiopathic pulmonary fibrosis の1例. びまん性肺疾患研究会特別例会 (60.5.25).

北市正則, 古江増裕, 長井苑子, 西村浩一, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 鈴木康弘, 藤本眞次, 後藤幸一: DPB と思われる1剖検例. 一最近経験された細気道病変症例との病理組織学的比較検討. 第3回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会 (60.7.6).

北市正則: シンポジウム「マクロファージをめぐる」肺泡マクロファージの形態学. 第1回肺と免疫研究会 (60.8.3).

北市正則, 古江増裕, 西村浩一, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作, 鈴木康弘, 桜井信男, 光岡明男, 藤本眞次, 後藤幸一, 滝沢茂男, 堀 充弘, 上田英之助: DPB と気管支拡張症を含む気道病変症例の末梢気道病変の病理組織学的検討. 第31回閉塞性肺疾患研究会 (60.8.11).

北市正則: 特別講演 II 「肉芽腫性肺疾患の病理像をめぐる」. 第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.11.16).

北市正則, 泉 孝英, 長井苑子, 大島駿作: サルコイドーシス症例の肺泡マクロファージの透過型電顕所見 (第2報). 第5回サルコイドーシス研究会総会 (60.11.8).

北市正則, 泉 孝英: 開胸肺生検199例中に認められた11例の bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) について. 第27回FLDシンポジウム (61.3.8).

藤村直樹, 古江増裕, 長井苑子, 木野稔也, 泉 孝英, 大野駿作, 芦田淑子: ハンダ, フラックス, ヒューム吸入により誘発された職業性気管支喘息. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.11).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: アルミニウム含有溶接フラックス取り扱い者にみられた間質性肺炎の一例. 第55回日本結核病学会第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 中耳結核により発見された肺結核症の1症例. 第55回日本結核病学会. 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 長井苑子, 木野稔也, 泉 孝英: 生コーヒー豆粉塵による職業性喘息の1症例. 第55回日本結核病学会, 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

藤村直樹, 白川太郎, 高田範夫, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 心嚢気腫をともなった自然気胸の1症例. 第55回日本結核病学会, 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

藤村直樹, 芦田淑子, 北市正則, 門 政男: 肺炎を繰り返した tracheopathia osteochondroplastica の1症例. 第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.11.16).

藤村直樹, 芦田淑子, 北市正則, 泉 孝英, 黒住真史: 良性胸水における細胞診悪性疑診の起因について. 第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.11.16).

橋本圭司, 泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 竹内 実, 三尾直士, 大島駿作, 田村 久, 沢野哲重: サルコイドーシスにおける臨床病期と BALF リンパ球所見の対比検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.11).

佐々木義行, 木野稔也, 古江増裕, 三尾直士, 泉 孝英, 大島駿作: 喘息患者におけるコナヒョウヒダニの主要感作抗原分画の研究—Western blotting 法を用いて. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.10).

佐々木義行, 三尾直士, 沢野哲雄, 浅本 仁, 木野稔也, 松井祐佐公, 泉 孝英, 大島駿作: コナヒョウヒダニ抗原とハウスダスト抗原の比較検討—主要感作抗原分画の差異. 第35回日本アレルギー学会総会 (60.9.26).

Sasaki, Y., Kino, T., Furue, M., Izumi, T., Oshima, S.: Identification of major antigenic fractions of mite allergen., XII International Congress of Allergology and Clinical Immunology (1985.10.21. Washington,

D.C.).

荏原順一, 松井祐佐公, 安場広高, 古江増裕, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 池田貞雄: 原発性肺クリプトコッカス症の成立機序におけるⅣ型アレルギーの関与について. 第25回日本胸部疾患学会総会(60. 4. 10).

荏原順一, 木野稔也, 三尾直士, 安場広高, 古江増裕, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作, 黒住真史: PIE 症候群における BAL 好酸球の特徴—Hypersegmentation の観察—について. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 9).

荏原順一: シンポジウム「マクロファージをめぐる」肺胞マクロファージのレセプター. 第1回肺と免疫研究会 (60. 8. 3).

Chihara, J., Kino, T., Yasuba, H., Furue, M., Fukuda, K., Izumi, T., Oshima, S.: A comparative study of bronchoalveolar lavage findings in PIE syndrome before and during corticosteroid therapy. IX Asia-Pacific Congress on Diseases of The Chest (1985. 8. 24. Sydney).

Chihara, J., Kino, T., Izumi, T., Oshima, S.: Serum eosinophil chemotactic factor (ECF) levels and bronchoalveolar lavage findings in patients with PIE syndrome. XV World Congress on Diseases of The Chest. (1985. 8. 28. Sydney).

荏原順一, 木野稔也, 三尾直士, 福田康二, 泉 孝英, 大島駿作: PIE 症候群における肺内好酸球の特徴—hypodense eosinophil の観察—について. 第35回日本アレルギー学会総会 (60. 9. 26).

Chihara, J., Kino, T., Furue, M., Izumi, T., Oshima S.: Observation of pulmonary eosinophils with hypersegmented nuclei in patients with PIE syndrome. XII International Congress of Allergology and Clinical Immunology (1985. 10. 24. Washington D. C.).

荏原順一, 西村浩一, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 光岡明夫: Endobronchial hamartoma の1例. 第26回近畿気管支鏡懇話会 (60. 11. 8).

荏原順一, 福田康二, 西村浩一, 長井苑子, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 池田貞雄: 原発性肺クリプトコッカス症の1例と細胞性免疫の関与について. 第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 11. 26).

長井苑子, 泉 孝英, 北市正則, 竹内 実, 三尾直士, 大島駿作, 沢野哲重, 橋本圭司: サルコイドーシスにおける BALF マクロファージサブセットの検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4. 10).

Nagai S., Izumi T.: Lung T-cell responses to IL-2 in sarcoidosis patients. American Thoracic Society. 1985 Annual Meeting (1985. 5. 13. Anaheim).

長井苑子, 三尾直士, 西村浩一, 古江増裕, 北市正則, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作, 田村康一: リウマチ性間質性肺炎を疑われ入院したがパルス療法に反応せず4ヶ月の急性経過で死亡した IPF (idiopathic pulmonary fibrosis) の一例. 第55回日本結核病学会第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 6. 29).

長井苑子, 泉 孝英, 門 政男, 北市正則, 西村浩一, 古江増裕, 三尾直士, 大島駿作, 田村康一: 有機塗装業者にみられた IPE の1例. 第5回京都呼吸器疾患シンポジウム (60. 7. 20).

長井苑子: シンポジウム「BAL をめぐって」肺胞マクロファージの Immunoregulatory function に関する検討. 第26回 FLD シンポジウム (60. 9. 14).

長井苑子, 泉 孝英, 竹内 実, 三尾直士, 北市正則, 大島駿作, 前田道之, 橋本圭司: サルコイドーシス症例における BALF 細胞の IL-1, IL-2 産生能に関する検討. 第35回アレルギー学会総会 (60. 9. 28).

長井苑子, 泉 孝英, 竹内 実, 大島駿作: サルコイドーシス症例における IL-1, IL-2 産生状況に関する検討. 第5回サルコイドーシス研究会総会 (60. 11. 8).

長井苑子: サルコイドーシス病因への疫学的接近—免疫学から. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班ワークショップ (61. 2. 28).

福田康二, 木野稔也, 西村浩一, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作: アレルギー性気管支肺真菌症に罹患後3年間のステロイド投与中に結核性胸膜炎を発症した一例. 第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 11. 26).



西村浩一, 泉 孝英, 長井苑子, 北市正則, 荏原順一, 松井祐佐公, 古江増裕, 三尾直士, 門 政男, 木野稔也, 大島駿作, 藤村直樹, 今井弘行, 村田喜代史, 伊藤春海, 本田和徳: 類上皮細胞肉芽腫病変を形成するびまん性肺疾患のX線 CT, Review 像による検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.9).

西村浩一, 三尾直士, 古江増裕, 荏原順一, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作, 田中龍蔵, 曾我部康之, 浜川純一, 村田喜代史, 伊藤春海: Fuji Computed Radiography およびX線 CT・Review 像を使用した SAB 像の検討. 第8回日本気管支学会総会 (60.5.30).

西村浩一, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 李 民実, 光岡明夫, 伊藤春海, 東 義人, 川村壽人, 今井弘行, 吉井正雄: D.O.E. とびまん性斑状影で発症し自然軽快したびまん性間質性肺炎の1例. 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

西村浩一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 伊藤春海: 両側好酸球性胸膜炎を伴いびまん性汎細気管支炎の病像を示した1例. 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6.29).

西村浩一, 北市正則, 門 政男, 泉 孝英, 大島駿作, 今井弘行: リンパ節気管支内穿孔による気管支結核の1例. 第25回近畿気管支鏡懇話会 (60.7.5).

西村浩一, 古江増裕, 長井苑子, 北市正則, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 伊藤春海: CT 所見と剖検肺所見が対比出来た DPB の1例. 第3回びまん性汎細気管支炎をめぐる研究会 (60.7.6).

西村浩一, 古江増裕, 三尾直士, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 鈴木康弘, 伊藤春海: びまん性汎細気管支炎と考えられた1剖検例. 第5回京都呼吸器疾患シンポジウム (60.7.20).

西村浩一, 古江増裕, 長井苑子, 北市正則, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 村田喜代史, 伊藤春海: DPB の胸部 CT 所見と剖検肺所見の対比. 第31回閉塞性肺疾患研究会 (60.8.10).

西村浩一, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 村田喜代史, 伊藤春海: 類上皮細胞肉芽腫病変形成性肺疾患のX線 CT・Review 像による検討. 第26回FLDシンポジウム (60.9.14).

竹内 実, 泉 孝英, 西村浩一, 長井苑子, 大島駿作, 沢野哲重, 橋本圭司: びまん性汎細気管支炎症例における末梢血単核細胞の natural killer 活性に関する検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.11).

竹内 実, 泉 孝英, 長井苑子, 三尾直士, 大島駿作, 橋本圭司, 沢野哲重: Flow cytometry (Ortho Spectrum III) による BALF マクロファージ subset と末梢血 monocyte subset の比較検討. 第35回日本アレルギー学会総会 (60.9.28).

竹内 実, 松井祐佐公, 長井苑子, 佐々木義行, 荏原順一, 泉 孝英, 大島駿作: 肺癌症例における末梢血 NK 細胞活性と Leu-7<sup>+</sup> 細胞%, Leu-11<sup>+</sup> 細胞%に関する検討. 第26回日本肺癌学会総会 (60.11.5).

佐竹範夫, 荏原順一, 福田康二, 西村浩一, 長井苑子, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 三宅正幸, 光岡明夫, 落合良彦: 抗生剤不応性の移動性浸潤像を呈した bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) の1例. 第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.11.26).

佐竹範夫, 荏原順一, 朝枝哲也, 榎原利恵子, 田中 茂, 福田康二, 西村浩一, 長井苑子, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 笠木寛治, 伊藤春海: 女性化乳房を主訴とし, 血中 HCG  $\alpha$ -fetoprotein が高値を示した原発性肺腺癌の1例. 第44回日本肺癌学会関西支部会 (61.2.8).

榎原利恵子, 西村浩一, 福田康二, 長井苑子, 荏原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 住友伸一, 田村康一, 今井弘行, 小松幹雄: 1年間に肺野異常影が顕在化し, 集検にて発見された肺好酸球性肉芽腫症の1例. 第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.11.26).

千田道雄, 村田喜代史, 伊藤春海, 米倉義晴, 藤堂義郎, 鳥塚莞爾, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作: N-13 窒素ガスをを用いたポジトロン CT による新しい局所換気機能検査法. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.9).

村田喜代史, 伊藤春海, 千田道雄, 藤堂義郎, 米倉義晴, 鳥塚莞爾, 西村浩一, 泉 孝英, 大島駿作: 閉塞性肺疾患における換気障害の三次元的評価-<sup>13</sup>W<sub>2</sub>を用いたポジトロン CT による検討. 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4.9).

梅枝愛郎, 中沢次夫, 小林節雄, 木野稔也, 泉 孝英, 他: わが国における PIE 症候群の現況 (第3報)

ABPA について. 第25回日本胸部疾患学会総会 (40. 4. 10).

吉田凱宣, 遠藤治郎, 稲本 俊, 児玉 宏, 樋口佳代子, 竹田俊男, 門 政男, 大島駿作, 繁田勝美, 浜窪隆雄, 福士泰夫, 神奈木玲児, 箱守仙一郎: ヒト肺腫および乳癌における糖鎖性 SSEA-1 抗原群. 第44回日本癌学会総会 (60. 10. 29).

森岡淳夫, 木野昌也, 原みどり, 西村 光, 長尾 光, 中山 康, 弘田雄三, 北浦 泰, 久保新一郎, 河村慧四郎, 泉 孝英, 米倉義晴: 心サルコイドーシスの1例. 日本循環器学会第59回近畿地方会 (60. 7. 6).

伊藤節子, 阪口忠彦, 真野智子, 秋山裕一, 宮野前健, 三河春樹, 北市正則, 長井苑子, 泉 孝英: 低  $\gamma$  グロブリン血症, Sjögren 症候群に合併した lymphoid interstitial pneumonia (LIP) の一例. 第15回日本小児ウイルス病研究会第16回日本小児感染免疫学研究会 (60. 11. 21).

村中正治, 田所憲治, 木野稔也, 鈴木修二: 単純化学物質の免疫原性におよぼす  $Al(OH)_3$  gel, activated carbon, silica および Bordetella pertussis の adjuvant 効果の検討. 第15回日本免疫学会総会 (60. 12. 5).

田村康一, 光岡明夫, 瀧 俊彦, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 倉沢卓也, 門 政男, 西村浩一, 佐藤公彦: シンポジウム「気管支鏡の合併症および対策」大量出血について. 第8回日本気管支学会総会 (60. 5. 30).

住友伸一, 平田敏樹, 吉谷 信, 三宅正幸, 山崎文郎, 五十部潤, 池 修, 中村達雄, 千原幸司, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 門 政男, 渡部 智: 胸膜肺全剝除術を行ったメゾテリオーマの1例. 第44回日本肺癌学会関西支部会 (61. 2. 8).

伊藤 剛, 金岡正樹, 小原安喜子, 北市正則, 浅本 仁, 古田睦広: 癌性リンパ管症. 第74回日本病理学会総会 (60. 4. 17).

古田睦広, 伊藤 剛, 浅本 仁, 小原安喜子, 北市正則, 金岡正樹, 尾崎元昭: Amniotic band syndrome (ABS) の1剖検例. 第74回日本病理学会総会 (60. 4. 17).

久保嘉郎, 石田 直, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 西山秀樹, 倉沢卓也, 久世文幸, 北市正則, 小笹晃太郎: 移動する浸潤影を呈した bronchiolitis obliterans の1例. 第116回日本内科学会近畿地方会 (60. 6. 22).

小野寺秀記, 小林 裕, 赤荻照章, 迫 雅美, 林 英夫, 藤田洋一, 小関忠尚, 北市正則, 泉 孝英: びまん性過誤腫性肺脈管筋腫症 (HAM) の1例. 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 6. 29).

藤本真次, 青野千鶴, 北市正則, 泉 孝英: 胸部 XP 上, 過膨脹所見を示し, 進行性の湿性咳嗽, 呼吸困難を呈した1例. 第29回びまん性肺疾患研究会 (60. 7. 13).

久保嘉朗, 岡崎美樹, 加藤元一, 桜井信男, 村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 西山秀樹, 川合 満, 久世文幸, 北市正則, 樋口佳代子, 竹田俊男: 移動性の浸潤影を呈し, 組織学的に bronchiolitis obliterans with organizing pneumonia の所見を認めた1例. 第5回京都呼吸器疾患シンポジウム (60. 7. 20).

川添隆司, 白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹男, 日置辰一郎, 北市正則, 泉 孝英, 土井俊男, 末広文彦: 咯血と高熱及び呼吸困難を主訴とし, びまん性肺陰影を呈した一症例. 第30回びまん性肺疾患研究会 (60. 10. 12).

川添隆司, 白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹男, 日置辰一郎, 北市正則, 泉 孝英, 土井俊夫, 末広文彦: びまん性肺出血の1症例. 第26回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 11. 26).

村山尚子, 網谷良一, 山本孝吉, 西山秀樹, 倉沢卓也, 川合 満, 久世文幸, 荏原順一, 樋口佳代子, 竹田俊男, 住友伸一: Bronchiolitis obliterans の一症例. 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60. 6. 29).

山岡新八, 平井正志, 栗山隆信, 大井元晴, 久野健志, 佐川弥之助, 西村浩一, 米倉義晴, 鳥塚完爾: COPD 患者の運動負荷による循環動態の検討. 第31回閉塞性肺疾患研究会 (60. 8. 10).

#### 〔そ の 他〕

大島駿作 (司会), 木村郁郎, 近藤有好, 佐川弥之助, 福地義之助: 座談会「間質性肺炎」. 呼吸, 4(7): 751~764, 1985.

大島駿作: 環境と呼吸器疾患. 呼吸, 4(11): 1297, 1985.

泉 孝英: 特別講演「BAL の臨床的意義」. 第46回大阪呼吸器疾患談話会 (60. 6. 5).

泉 孝英, 長井苑子: 間質性肺炎をめぐって. 第5回東京呼吸器談話会 (60. 7. 11).

- 泉 孝英：中華人民共和国東北三省呼吸器科医師講習会（瀋陽）。気管支肺胞洗浄（1985.7.24,25），間質性肺炎（7.26），肺と免疫（7.27）。
- 泉 孝英：結核を見逃さないために。遼寧省結核防疫医会（1985.7.29. 瀋陽）。
- 泉 孝英：結核を見逃さないために。大連市第一結核医院（1985.7.30）。
- 泉 孝英：実践講座「私の処方」慢性気道感染症。Medical Tribune 1985.6.6.
- 泉 孝英：「診療のコツ」サルコイドーシスとACE。診療手帖（89）：42, 1985.
- 泉 孝英：びまん性汎細気管支炎の独立性をめぐって。東京都養育院付属病院内科カンファレンス（60.9.12）。
- 泉 孝英：Interstitial lung diseases—第28回 Aspen Lung Conference 印象記一。呼吸，4(10)：1289～1293, 1985.
- 泉 孝英：慢性閉塞性肺疾患の診断と治療—特にびまん性汎細気管支炎を中心として—。呼吸器シリーズ（その7）—。第80回高岡市内科医会学術講演会（60.10.24）。
- 泉 孝英：ひとこと「医学雑誌の乱立」。内科，56(6)：1052, 1985.
- 泉 孝英：一冊の本「The Tragedy of Baltic States」。medicina, 22(11)：2097, 1985.
- 泉 孝英：論説「医療費の適正化」。日胸疾会誌，23(9)：969～900, 1985.
- 泉 孝英：いま「日本医師会」を考える。何より必要な強力な執行部。ばんふう（55）：44, 1986.
- 木野稔也：昆虫による気管支喘息研究の現状。第2回ユスリカアレルギー研究班連絡会議（60.4.18）。
- 木野稔也：好酸球性肺炎の臨床。彦根市医師会（60.12.14）。
- 木野稔也：吸入性昆虫アレルギーと気管支喘息。三菱京都病院研究会（61.2.21）。
- 木野稔也：吸入性昆虫アレルギーの気管支喘息における関わりについて。沖縄県立中部病院講演会（61.3.13）。
- 木野稔也：PLE 症候群の臨床。長浜赤十字病院講演会（61.3.27）。
- 門 政男：肺癌検診について。野田川町健康づくり推進協議会講演会（60.6.3）。
- 長井苑子：特別講演「BAL の病態生理学的意義」。第46回大阪呼吸器疾患懇話会（60.6.5）。
- 北市正則：びまん性肺疾患を主とした肺病理。第193回チーム医療臨床医学セミナー（60.6.23）。
- 北市正則：びまん性肺疾患の病理像と肺生検について。札幌医科大学第3内科・外科合同カンファレンス（60.11.27）。
- 北市正則：間質性肺炎をめぐって—特に病理像を中心に—。昭和60年度結核胸部疾患研究所学術講演会（60.1.25）。
- 西村浩一，泉 孝英：滋賀県高島郡医師会講習会「慢性閉塞性肺疾患」第5回慢性閉塞性肺疾患の臨床（60.4.26）。
- 西村浩一，福田康二，泉 孝英：慢性気管支炎とびまん性汎細気管支炎—第3回京都呼吸器疾患シンポジウム—。呼吸，3(11)：1457～1458, 1984.

### 内科第二部門 主催講演会

- Johann Wolfgang Goethe 大内科 (Frankfurt an Main, BRD).
- J. Meier-Sydow 教授 “Chronic bronchiolitis” (60.9.17).

## 胸部外科学部門

### 〔学会発表〕

#### 「シンポジウム・特別講演」

- 伊藤元彦：教育セミナー「縦隔の画像診断」司会，第4回日本臨床画像研究会（60.1）。
- 光岡明夫：縦隔腫瘍の画像診断——手術所見との対比，とくに質的診断を中心に，第4回日本臨床医学研究会，

教育セミナー「縦隔の画像診断」(60.1).

人見滋樹：各種肺生検法の比較検討，第12回東海呼吸器感染症症例研究会特別講演 (60.2).

伊藤元彦：リンパ球サブセットからみた胸腺腫，厚生省がん研究助成金によるワークショップ「胸腺腫の機能」(60.2).

秋山文弥：漏斗胸の手術と成績・腹直筋有茎性翻転術の術式と成績，第2回呼吸器外科研究会シネンポジウム (60.4).

人見滋樹：根治性と機能回復・温存を求める呼吸器外科，第137回近畿外科学会特別講演 (60.4).

伊藤元彦：隣接臓器合併切除——現状と問題点，第85回日本外科学会シンポジウム「呼吸器外科の進歩と問題点」(60.4).

光岡明夫：有茎胸骨翻転術と非翻転変法，第2回呼吸器外科研究会シネンポジウム「漏斗胸の手術と成績」(60.4).

田村康一，光岡明夫，瀧 俊彦，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，倉沢卓也，門 政男，西村浩一，佐藤公彦：気管支鏡の合併症および対策——大量出血について，第8回日本気管支学会総会シンポジウムⅢ (60.5).

秋山文弥：地方病院における胸部外科臨床35年，第28回日本胸部外科学会関西地方会会長講演 (60.6).

人見滋樹：フォーラム「肺移植へのアプローチ」司会，第28回日本胸部外科学会関西地方会 (60.6).

和田洋己，李 民実，山崎文郎，青木 稔：肺移植——フォーラム——外科手技上の問題点，第28回日本胸部外科学会関西地方会 (60.6).

上野陽一郎，篠崎 拓，島本光臣，河原崎茂孝，田辺 一，有安哲哉，秋山文弥：虚血性心疾患臨床における緊急手術・緊急冠動脈バイパス術症例の検討，第28回日本胸部外科学会関西地方会シンポジウム (60.6).

松延政一，外村聖一，清水慶彦，人見滋樹：体外循環型炭酸ガス除去装置を中心とした呼吸管理，第28回日本胸部外科学会関西地方会シンポジウム (60.6).

伊藤元彦：縦隔腫瘍の基礎と臨床——胸腺関連腫瘍を中心に，第38回日本胸部外科学会シンポジウム「呼吸器疾患の外科と問題点」(60.10).

外村聖一：医師の立場から，第23回日本保険医学会シンポジウム「成人病健診業務の問題点」(60.10).

寺松 孝：国立病院療養所の将来の展望，第40回国立病院療養所総合医学会シンポジウム8 (60.11).

北野司久：ヌードマウスを用いた制癌剤感受性試験，第26回日本肺癌学会総会シンポジウムⅢ「肺癌細胞薬剤感受性試験とその臨床応用」(60.11).

池田貞雄，塙 健，安田雄司，小鯖 覚，宮本好博，二宮和子，畠中陸郎，松原義人，船津武志：肺癌における拡大手術の意義——T3 症例を中心にして，第26回日本肺癌学会総会 (60.11).

源河圭一郎：たばこと肺癌，第66回沖縄県医師会医学会総会シンポジウム (60. ).

## 〔学 会 発 表〕

### 1. 腫 瘍

人見滋樹：肺癌治療における最近のトピックス，姫路医師会学術講演会 (60.1).

人見滋樹，李 民実，和田洋己：開業医を主体とした肺癌検診のあり方，厚生省班会議（池田班）研究報告会 (60.2).

千原幸司，呉 俊雄，寺田泰二，松延政一，外村聖一，清水慶彦，中島芳郎，高橋憲太郎：大動脈・肺動脈に浸潤した肺癌症例の検討，第4回京滋脈管外科懇話会 (60.2).

奥村典仁，糸井和美，五十部潤，伊東政敏，井上律子，小林君美：経皮肺生検にて診断した肺癌の1例，第12回東海呼吸器感染症研究会 (60.2).

池 修，八木一之，安田雄司，宮本好博，松原義人，畠中陸郎，船津武志，池田貞雄，二宮和子：原発性肺癌患者に対する FUMCEO 療法の検討，第42回日本肺癌学会関西支部会 (60.2).

門 政男，西村浩一，北市正則，大島駿作，光岡明夫，江村正仁：肺原発の hemangiopericytoma の一症例，同上学会.

朝倉庄志, 松井輝夫, 藤尾 彰, 北野司久, 山本育由: 肺癌 Xeno-graft を用いた制癌剤感受性テスト, 同上学会.

松井輝夫, 朝倉庄志, 藤尾 彰, 北野司久, 奥村秀弘, 井本 卓: 肋骨転移巣切除後に発見された腎癌の2症例, 同上学会.

竹田秋郎, 倉田昌彦, 村木宏要, 金田倫幸, 立花秀一, 室本 仁, 田中瑩子, 陳 和夫: 乳癌の肺転移, 同上学会.

岡田賢二, 小林 淳, 桑原正喜: 巨大嚢胞壁内に浸潤した肺癌の3例, 同上学会.

八木一之, 安田雄司, 池 修, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 多変量解析を用いた肺癌診断の試み, 同上学会.

青木 稔, 安田雄司, 八木一之, 池 修, 宮本好博, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌患者の末梢血及び癌組織周辺におけるリンパ球サブセットの検討, 同上学会.

安田雄司, 池 修, 八木一之, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌組織におけるNSE, 同上学会.

室恒太郎, 有安哲哉, 寺町政美, 塙 健, 三宅正幸, 住友伸一, 光岡明夫, 瀧 俊彦, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹: 肺動脈分節切除により肺全摘除を回避し得た肺癌の一症例, 同上学会.

カレッド・レシャード: 肺癌の診断と治療, 小笠医師会講演 (60. 3).

藤尾 彰, 北野司久, 朝倉庄志, 松井輝夫: 当院における縦隔腫瘍手術例, とくに悪性胸腺腫例の検討, 第18回奈良外科学会 (60. 3).

神頭 徹, 和澤 仁, 千葉 渉, 横見瀬裕保, 玉田二郎: 癌性心膜炎に対する抗癌剤注入療法の評価, 第85回日本外科学会総会 (60. 4).

立花秀一, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 他2名: 胸骨破壊を伴った胸壁腫瘍の1例, 第137回近畿外科学会 (60. 4).

寺田泰二, 呉 俊雄, 千原幸司, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 肺癌術後, 肋骨骨折整復にて, 無気肺の改善を得た一例, 同上学会.

松原義人, 池 修, 安田雄司, 八木一之, 宮本好博, 青木 稔, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌における血清NSEの検討, 第25回日本胸部疾患学会総会 (60. 4).

八木一之, 池 修, 安田雄司, 青木 稔, 宮本好博, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 原発性肺癌における各種腫瘍マーカーの多変量解析による検討, 同上学会.

二宮和子, 池田貞雄, 八木一之, 安田雄司, 池 修, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 肺癌診断におけるCA19-9の有用性の検討, 同上学会.

安田雄司, 松原義人, 池 修, 八木一之, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌における腫瘍関連抗原TA-4, 同上学会.

カレッド・レシャード, 乾 健二, 高橋 豊, 梅宮正志, 竹内吉喜, 鈴木 清: 良性肺疾患における腫瘍マーカーの意義, 同上学会.

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 下地克佳, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 城間 寛, 前里和夫, 源河圭一郎, 外間政哲: 原発性肺癌における各種腫瘍マーカーの検討, 同上学会.

長谷川誠紀, 秋山文弥: 特異なX線陰影の推移を示した肺炎の1例, 第8回静岡県胸部疾患懇話会 (60. 4).

カレッド・レシャード: 肺癌の臨床, 志太医師会講演 (60. 4).

乾 健二, 高橋 豊, 竹内吉喜, カレッド・レシャード: 当院における原発性肺癌切除例の検討, 第6回静岡県癌治療研究会 (60. 4).

カレッド・レシャード, 乾 健二, 竹内吉喜, 高橋 豊: 胸壁合併肺癌切除例の検討, 第2回呼吸器外科研究会 (60. 4).

糸井和美, 奥村典仁, 五十部潤, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 胸壁合併切除術の経験, 同上学会.

桑原正喜, 岡田賢二, 小林 淳: 前鋸筋を用いた有茎筋肉弁による胸壁再建, 同上学会.

倉田昌彦, 竹田秋郎, 立花秀一, 月江富男: 胸壁腫瘍手術における筋皮弁移植の応用, 同上学会.

池 修, 安田雄司, 八木一之, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄

: パンコースト腫瘍の外科治療, 同上学会.

人見滋樹: 肺癌の拡大手術と機能温存, 第119回静岡県西部地区胸部疾患研究会 (60.5).

岡田賢二, 桑原正喜, 小林 淳, 他1名: Bronchorrhea による低 Na 血症をきたした肺胞上皮癌の1剖検例とその喀痰分析, 第8回日本気管支学会総会 (60.5).

李 英徹, 中井 準, 和田洋己, 人見滋樹, 他6名: 喉頭・気管乳頭腫瘍の1例, 同上学会.

人見滋樹, 和田洋己, 李 民実, 寺田忠之: 肺癌集団検診の検討, 厚生省がん助成金による班会議 (60.5).

人見滋樹: 肺癌のレントゲン診断, 第1回生野区医師会学術講演会 (60.5).

松原義人, 池田貞雄: 「血中扁平上皮癌 (SSC) 関連抗原の基礎と臨床」——特に子宮頸部扁平上皮癌及び肺扁平上皮癌の臨床——肺癌における SCC 抗原, SCC 講演会 (60.5).

人見滋樹: 標準的肺癌手術と肺癌症例の胸部レントゲン読影, 大阪市東区医師会学術講演会 (60.5).

高嶋義光, 江崎 寛, 鈴木雄二郎, 武藤 真, 長谷光雄: 急激な増大をきたした縦隔奇型腫の1例, 第201回北陸外科学会 (60.5).

Akira Hokama, Yoshiyuki Sho, Yoshihiro Muto, Kazuo Yamauchi, Hikaru Fujika, Tomonori Miyazato and Keiichiro Genka: Two Cases of Leiomyoma of the Esophagus, 1st International Seminar on Diseases of the Esophagus, Tokyo, 1985.

呉 俊雄, 室恒太郎, 寺田泰二, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 上大静脈再建を行なった悪性胸腺腫の一手術例, 第23回滋賀呼吸器疾患談話会 (60.6).

大道重夫, 浅本 仁, 岡田慶夫: 呼吸器症状を初発とした胃癌, 同上学会.

宮崎之男, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 中野 豊, 梅宮正志, 坂本益雄, 乾 健二: 後縦隔や肺門部に転移した MFH の1例, 第47回日本胸部疾患学会東海地方会 (60.6).

高嶋義光, 江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄: 肺小細胞癌の手術症例の検討, 第19回日本肺癌学会北陸地方会 (60.6).

江崎 寛, 武藤 真, 長谷光雄, 高嶋義光: YAG レーザーによる気管・気管支悪性腫瘍の治療症例の検討, 同上学会.

人見滋樹: 縦隔腫瘍と胸壁腫瘍の診断と治療, 大阪市東区医師会学術講演会 (60.6).

Hiromi Wada, Seiichi Matsunobe: Cancer and immunotherapy—Studies on hemolytic streptococcal preparation OK-432: Effects of OK 432 in augmenting NK activity in spleen cells, 14th International Congress of Chemotherapy (1985.6).

松原義人: 「血中扁平上皮癌 (SSC) 関連抗原の基礎と臨床」——特に子宮頸部扁平上皮癌及び肺扁平上皮癌の臨床, SCC 講演会 (60.6).

伊藤元彦: 肺小細胞癌に対する外科的治療の検討, 厚生省がん研究助成金末舛班班会議 (60.6).

八木一元, 塙 健, 安田雄司, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 甲状腺癌の気管浸潤に対する気道再建, 第28回日本胸部外科学会関西地方会 (60.6).

安田雄司, 塙 健, 八木一元, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌の胸壁合併切除例の検討, 同上学会.

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 立花秀一: 肺尖部胸壁浸潤肺癌の手術経験, 同上学会.

神頭 徹, 和澤 仁, 横見瀬裕保, 玉田二郎: 心嚢内線維腫の1例, 同上学会.

和澤 仁, 神頭 徹, 横見瀬裕保, 玉田二郎: 肺癌左房合併切除例の検討, 同上学会.

江崎 寛, 他4名: 気管上部に発生した腺様嚢胞腫の1経験例, 同上学会.

千原幸司, 松延政一, 寺田泰二, 呉 俊雄, 外村聖一, 中島芳郎, 高橋憲太郎, 清水慶彦: 進行肺癌に対する超拡大根治術 (気管分岐部切除による左肺切除, 胸部食道切除, 下行大動脈人工血管置換) の1手術例, 同上学会.

藤尾 彰, 北野司久, 辰己明利, 朝倉庄志, 松井輝夫: Bis (chloromethyl) ether 暴露者に発生した肺癌の2症例, 第25回日本胸部疾患学会 (60.6).

立花秀一, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 室本 仁, 田中瑩子, 鍵岡 均, 高山康夫, 水谷 哲, 今井輝国,

山崎正博, 杉山武敏, 高橋 玲: 胸腺腫(重症筋無力症)を合併した肺腺癌の1例, 第43回日本肺癌学会関西支部会(60.7).

池 修, 山崎文郎, 五十部潤, 三宅正幸, 中村達雄, 千原幸司, 住友伸一, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 渡部 智, 和田洋己, 清水慶彦, 伊藤元彦, 人見滋樹: 肺過誤腫の自験例, 同上学会.

中村達雄, 李 民実, 山崎文郎, 三宅正幸, 池 修, 五十部潤, 千原幸司, 住友伸一, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 両側性肺重複癌と思われる二治験例, 同上学会.

塙 健, 八木一之, 安田雄司, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄, 二宮和子: 縦隔脂肪腫の1例, 同上学会.

安田雄司, 塙 健, 八木一之, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: Occult Lung Cancer の検討, 同上学会.

松原義人, 塙 健, 安田雄司, 八木一之, 宮本好博, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 縦隔リンパ管腫の3例, 同上学会.

二宮和子, 塙 健, 宮本好博, 安田雄司, 八木一之, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 肺線維症に合併した肺癌症例の検討, 同上学会.

小林 淳, 桑原正喜, 岡田賢二: 三重癌の一例, 同上学会.

朝倉庄志, 松井輝夫, 辰己明利, 藤尾 彰, 北野司久: びまん性胸膜悪性中皮腫の1例とそれに対する制癌感受性テスト, 同上学会.

玉田二郎, 和澤 仁, 神頭 徹: Inflammatory Pseudotumor の1例, 第24回日本肺癌学会中国四国地方会(60.7).

朝田完二, 谷 憲治, 中山 正, 宮本信昭: 血胸で発見された肋骨原発と考えられる Ewing 肉腫の1例, 同上学会.

鈴木 清, 高橋 豊, 梅宮正志, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二, カレッド・レシャード: Neuron Specific Enolase (NSE), 腫瘍性および非腫瘍性肺疾患との関連について, 第46回中部肺癌学会(60.7).

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: 心膜原発腫瘍の1例, 同上学会.

カレッド・レシャード: 肺癌について, 田方医師会講演(60.7).

寺町政美, 奥村典仁, 糸井和美, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 末梢型早期肺癌の1例, 三重大学胸部外科教室第31回総会.

人見滋樹: 早期肺癌のレントゲン診断, 京都府綴喜郡田辺町医師会学術研究会(60.8).

Keiichiro Genka, Mutsuo Kuba and Morio Oshiro: Clinical Study of Radiographically Occult Lung Cancer, 9th Asia-Pacific Congress on Diseases of the Chest, Sydney, 1985.

Mutsuo Kuba, Morio Oshiro, Keiichiro Genka and Seitetsu Hokama: Clinical Evaluation of Carcino-embryonic Antigen (CEA), Ferritin, Beta-2 Microglobulin (BMG), Alpha-Fetoprotein (AFP) and Tissue polypeptide Antigen (TPA) in Patients with Bronchogenic Carcinoma, 9th Asia-Pacific Congress on Diseases of Chest, Sydney, (1985.8).

M. Kitano, A. Fujio, A. Tatsumi, S. Asakura, T. Matsui: Chemosensitivity test of human lung cancer Xeno-graft, XV World Congress on Diseases of the Chest, Sydney (1985.8).

Khaled Reshad, Inuik., Takeuchi Y., Takahashi Y., Umemiya M., Suzuki K. and Toshimitsu T.: The sensitivity and specificity of tumor markers in bronchogenic carcinomas and correlation with stage and cell type, XV World Congress on Diseases of the Chest, Sydney (1985.8).

Ito, M., Taki, T., Mitsuoka, A., Hitomi, S.: The role of surgery in the treatment for small cell lung cancer, IVth World Congress of Lung Cancer, Toronto, (1985.8).

倉田昌彦, 竹田秋郎, 立花秀一, 室本 仁, 久保勝彦, 田中瑩子, 陳 和夫: Significance of carbohydrate Antigen 19-9(CA19-9) as a tumor marker for lung carcinoma, IVth World Congress of Lung Cancer, Toronto (1985.8).

人見滋樹：肺癌の手術，日中交友学術講演会，瀋陽中国医科大学（60.9）。

松原義人：肺ガンにおける腫瘍マーカーの現状と展望，第2回関西医学セミナー（60.9）。

高嶋義光，江崎 寛，武藤 真，長谷光雄，池田一雄，山岸利栄：心筋梗塞に合併した肺癌の1手術例，第39回北陸医学会総会（60.9）。

人見滋樹：肺癌の標準的手術と気管・気管支形成術，中華医学会学術講演会，北京（60.9）。

カレッド・レシャード：肺癌と健康診断，焼津医師会講演（60.9）。

船津武志，松原義人，畠中陸郎，宮本好博，塙 健，安田雄司，八木一之，二宮和子，池田貞雄：肺癌における縦隔鏡検査，第47回日本臨床外科医学会総会（60.10）。

安田雄二，塙 健，八木一之，宮本好博，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：肺癌における胸壁合併切除の検討，同上学会。

池田貞雄，松原義人，桑原正喜：肺癌における CA19-9 の組織内濃度と局在部位，第44回日本癌学会総会。

渡部 智，五十部潤，清水慶彦，山崎文郎，池 修，三宅正幸，中村達雄，千原幸司，住友伸一，青木 稔，光岡明夫，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹：両側性肺病巣に対する胸骨縦切開・両側同時肺切除術の検討，第38回日本胸部外科学会総会（60.10）。

三宅正幸，伊藤元彦，中村達雄，住友伸一，池 修，五十部潤，山崎文郎，青木 稔，千原幸司，光岡明夫，田村康一，和田洋己，人見滋樹，渡部 智，清水慶彦：縦隔原発の悪性胚細胞腫の治療法の検討，同上学会。

船津武志，松原義人，畠中陸郎，小鯖 覚，塙 健，安田雄司，八木一之，宮本好博，二宮和子，池田貞雄：肺癌におけるN因子の術前評価——縦隔鏡検査からの検討——，同上学会。

安倍隆二，水野 浩，生嶋宏彦：気管・気管支再建術の術型中，肺動脈同時再建例を中心に，同上学会。

光岡明夫，山崎文郎，五十部潤，池 修，三宅正幸，中村達雄，千原幸司，住友伸一，田村康一，渡部 智，和田洋己，清水慶彦，伊藤元彦，人見滋樹，田中龍蔵：CT による縦隔腫瘍の鑑別診断，同上学会。

北野司久，朝倉庄志，松井輝夫，藤尾 彰，辰巳明利：組織型別にみた原発性肺癌手術例の検討，同上学会。

藤尾 彰，北野司久，辰巳明利，朝倉庄志，松井輝夫：当院における縦隔腫瘍手術例の検討——とくに悪性腫瘍を中心として——，同上学会。

青木 稔，五十部潤，平田敏樹，吉谷 信，三宅正幸，山崎文郎，池 修，中村達雄，千原幸司，住友伸一，光岡明夫，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹：後縦隔奇型腫の1例，第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会（60.11）。

平田敏樹，住友伸一，光岡明夫，吉谷 信，三宅正幸，五十部潤，山崎文郎，池 修，中村達雄，千原幸司，青木 稔，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹：再生不良貧血に合併した縦隔ゼミノームの1例，同上学会。

高井晶子，倉田昌彦，竹田秋郎，立花秀一，友田恒典：肺癌患者の血中免疫抑制蛋白（IAP）値と急性相反応物質について，同上学会。

桑原正喜，小林 淳，福瀬達郎：胸椎体の変形を来した肋骨発生骨外骨腫の一例，同上学会。

安倍隆二，生嶋宏彦，水野 浩，東日出夫，小原幸信，大山口渥，浅本 仁：モノクローナル抗体検索により診断し得た胸壁原発の悪性リンパ腫の1例，同上学会。

藤尾 彰，松井輝夫，朝倉庄志，辰巳明利，北野司久：再手術を要した胸腺カルチノイドの1例，同上学会。

松井輝夫，朝倉庄志，辰巳明利，藤尾 彰，北野司久：最近経験した縦隔嚢腫の2切除例，同上学会。

大頭信義，青田正樹，横見瀬裕保，中山正吾：肺がん患者にどのように疾患を説明するか——「病識スコアの活用」について，同上学会。

池本 純，立石昭三，他：血痰を伴う右下肺野浸潤として発症した気管支嚢胞由来と考えられる大細胞癌の1例，同上学会。

呉 俊雄，室恒太郎，寺田泰二，松延政一，外村聖一，千原幸司：SIDAH にデメクロサイクリンが有効だった肺癌の2症例，同上学会。

室恒太郎，呉 俊雄，寺田泰二，松延政一，外村聖一，清水慶彦：肺 Atypical carcinoid の1手術例，同上学会。



呉 俊雄, 室恒太郎, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: SIADH にデメクロサイクリンが有効であった肺癌の2症例, 第24回滋賀呼吸器疾患談話会 (60. 11).

室恒太郎, 呉 俊雄, 寺田泰二, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 肺 Atypical carcinoid の1手術例, 同上学会.

荏原順一, 西村浩一, 松井祐佐公, 門 政男, 木野 稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 光岡明夫: Endobronchial hamartoma の1例, 第26回近畿気管支鏡懇話会 (60. 11).

五十部潤, 平田敏樹, 吉谷 信, 山崎文郎, 三宅正幸, 池 修, 中村達雄, 千原幸司, 住友伸一, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹: 気管支軟骨腫の1手術例, 同上学会.

小林 淳, 桑原正喜, 福瀬達郎: 気管内腫瘍に対する経気管支鏡的電気焼灼器具の試作と臨床応用, 同上学会.

安倍隆二, 水野 浩, 生嶋宏彦, 大山口渥, 東 日出夫, 小原幸信: Stage III 肺癌症例に対する気管・気管支再建術の臨床効果について, 第40回国立病院療養所総合医学会 (60. 11).

三宅正幸, 伊藤元彦, 人見滋樹: ヒト, マウス hybridoma による肺癌モノクローナル抗体の作成, 第26回日本肺癌学会総会 (60. 11).

三宅正幸, 伊藤元彦, 光岡明夫, 人見滋樹, 瀧 俊彦: 肺癌の各種マーカーの免疫組織学的検討, 同上学会.

三宅正幸, 伊藤元彦, 光岡明夫, 人見滋樹, 瀧 俊彦: 縦隔原発胚細胞腫の各種マーカーの免疫組織学的検討, 同上学会.

玉田二郎, 和澤 仁, 千葉 渉, 神頭 徹, 抗酸菌排菌のみられた肺癌症例の検討, 同上学会.

安田雄司, 塙 健, 小崎 覚, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 腫瘍マーカーの肺癌組織内濃度, 血清レベルおよび肺癌組織の染色性について, 同上学会.

土井 修, 桑原正喜, 他8名: 中葉原発肺癌の手術予後について, 同上学会.

和田洋己, 大頭信義, 伊藤元彦, 人見滋樹: 肺癌における隣接臓器合併切除——現状と問題点, 同上学会.

カレッド・レシャード, 乾 健二, 糸井和美, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 鈴木 清: 原発性肺癌における腫瘍関連抗原, SCC-Ag の臨床的意義, 同上学会.

カレッド・レシャード, 乾 健二, 糸井和美, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 鈴木 清: 原発性肺癌に対する腫瘍マーカーとしての Neuron Specific Enolase (NSE) の臨床的意義.

二宮和子, 池田貞雄, 塙 健, 安田雄司, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志: 肺癌患者におけるCA 19-9 の検討, 同上学会.

安光 勉, 桑原正喜, 他8名: 原発性肺癌における合併切除例の検討, 同上学会.

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 普久原 浩, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 赤崎 満, 前里和夫, 源河圭一郎: 肺癌患者における腫瘍マーカー NSE, TA-4, CA 19-9, IAP, TPA, CEA の検討, 同上学会.

松原義人, 二宮和子, 安田雄司, 塙 健, 畠中陸郎, 宮本好博, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌患者における血清 NSE の検討, 同上学会.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満: 臨床経過の異なった悪性限局型胸膜中皮腫の2例, 同上学会.

源河圭一郎, 石川清司, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満, 久場睦夫, 宮城 茂, 仲宗根恵俊, 普久原 浩, 大城盛夫: 沖縄県における胃癌死亡と肺癌死亡の逆転とその背景, 同上学会.

瀧 俊彦, 立花秀一, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 三宅正幸, 蕭 金宝, 光岡明夫, 伊藤元彦, 人見滋樹: 術前化学療法を行った肺小細胞癌の組織学検討, 同上学会.

倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 立花秀一, 室本 仁, 久保勝彦, 陳 和夫: 肺癌患者における Carbohydrate Antigen 19-9 (CA 19-9) の臨床的検討, 同上学会.

安光 勉, 古武弥宏, 中野 昇, 中原数也, 桑原 修, 桑原正喜, 倉田昌彦, 土井 修, 森 隆, 沢村献児: 原発性肺癌における合併切除例の検討, 同上学会.

土井 修, 児玉 憲, 黒川英司, 安光 勉, 桑原 修, 桑原正喜, 倉田昌彦, 中原数也, 森 隆, 沢村献児: 中葉原発肺癌の手術予後について, 同上学会.

倉田昌彦, 建石龍平, 山本 暁, 森野英男, 沢村献児, 森 隆, 土井 修, 児玉 憲, 安光 勉, 桑原 修,

桑原正喜, 中原数也: 肺野型小型腺癌(腫瘍径 2 cm 以下)の術後予後, 同上学会.

辰己明利, 朝倉庄志, 松井輝夫, 藤尾 彰, 北野司久: 肺癌を含む重複癌18例の検討, 同上学会.

五十部潤, 田村康一, 平田敏樹, 吉谷 信, 山崎文郎, 三宅正幸, 池 修, 中村達雄, 千原幸司, 住友伸一, 青木 稔, 光岡明夫, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹: 区域気管支形成術を施行した気管支内腫瘍の1例, 第138回近畿外科学会(60.11).

竹田秋郎, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 立花秀一: 乳癌 T<sub>1</sub> 症例の再発例, 同上学会.

朝倉庄志, 北野司久, 松井輝夫, 辰己明利, 藤尾 彰, 奥野毅彦, 坂口千晃, 赤石強司: 小児縦隔腫瘍の2治療例, 第138回近畿外科学会(60.11).

奥村典仁, 寺町政美, 岡田賢二, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 非特異性肉芽腫周辺に発生した肺癌の1例, 第47回中部肺癌学会(60.11).

松永和彦, カレッド・レシャード, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二: 当院における肺癌症例の検討, 同上学会.

中野 豊, 松永和彦, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二: 化学療法が有効であった肺癌の脳転移例について, 同上学会.

鈴木 清, 高橋 豊, 糸井和美, 坂本益雄, 乾 健二, カレッド・レシャード, 中野 豊: 胸水 CEA, ADA 活性および Ferritin 測定の臨床的意義, 同上学会.

松原義人, 安田雄司, 塙 健, 八木一之, 宮本好博, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌患者における SCC 抗原の検討, 第23回日本癌治療学会総会(60.11).

塙 健, 八木一之, 安田雄司, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 原発性肺癌における各種腫瘍マーカーの多変量解析による検討, 同上学会.

桑原正喜, 小林 淳, 岡田賢二: A new diagnostic procedure for anterior mediastinal tumor Transsternal punch biopsy, 同上学会.

人見滋樹, 和田洋己, 李 民実, 寺田忠之: 早期肺癌症例の検討, 厚生省がん研究班班会議(60.11).

松永和彦, カレッド・レシャード, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二: 当院における肺結核と肺癌の合併例の検討, 第7回静岡癌治療研究会(60.12).

カレッド・レシャード, 松永和彦, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二: 原発性肺癌における扁平上皮癌関連抗原の臨床的意義, 同上学会.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満: 悪性胸膜中皮腫の2例, 第18回日本胸部外科学会九州地方会, 鹿児島, 1985.

源河圭一郎, 石川清司, 赤崎 満, 国吉真行, 前里和夫, 宮城 茂, 仲宗根恵俊, 大宜見辰雄: 2年10カ月間の経過観察後に切除した肺門部早期肺癌の1例, 同上学会.

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 下地克佳, 大湾朝忠, 大城盛夫, 石川清司, 国吉真行, 城間 寛, 前里和夫, 源河圭一郎: 肺癌と肺結核の合併例の検討, 第25回日本肺癌学会九州地方会, 福岡, 1985.

源河圭一郎, 石川清司, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満, 久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 普久原浩, 潮平英敏, 真喜志金造, 城間 寛: 同時に切除した肺・胆嚢重複癌の1例, 第25回日本肺癌学会九州地方会, 福岡, 1985.

## 2. 胸腺・免疫

光岡明夫, 伊藤元彦, 細野正道, 米津智徳, 河野篤子, 馬場満男, 竹田俊男: SAM の免疫応答; in vivo の解析, 第2回老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会(60.3).

岡田賢二, 小林 淳, 桑原正喜, 人見滋樹, 星野一正, 五十部 潤, 小林君美: 胸腺腫の臨床病期・病理所見と核 DNA 解析, 第25回日本胸部疾患学会総会(60.4).

光岡明夫, 伊藤元彦, 瀧 俊彦, 三宅正幸, 田村康一, 和田洋己, 人見滋樹: 胸腺・胸腺腫リンパ球サブセットの検討, 同上学会.

和田洋己, 三宅正幸, 中村達雄, 李 民実, 住友伸一, 光岡明夫, 田村康一, 瀧 俊彦, 渡部 智, 伊藤元彦,

人見滋樹：重症筋無力症の胸腺摘除術——ステロイド大量併用の効果，同上学会。

三宅正幸，伊藤元彦，瀧 俊彦，光岡明夫，人見滋樹，桂 義元：胸小細胞癌に対するモノクローナル抗体の作成，同上学会。

安倍隆二，生嶋宏彦，水野 浩，東日出夫，小原幸信，大山口渥，木下和之：3-メチルコラントレンによる肺癌マウスへの免疫療法，第55回日本結核病学会第25回日本胸部疾患学会近畿地方会（60.6）。

Okada, K., Hitomi, S., Hoshino, K.: Nuclear DNA histograms of thymomas, XV World Congress on Diseases of the Chest (Sydney) (60.8)。

光岡明夫，伊藤元彦，細野正道，米津智徳，河野篤子，馬場満男，竹田俊男：老化促進モデルマウス（SAM）の免疫応答；in vivo での解析，第9回日本基礎老化学会大会（60.9）。

水野 浩，安倍隆二，生嶋宏彦：ヒト骨格筋を抗原として用いて測定した抗アセチルコリン受容体抗体価と胸腺摘出後経過，第38回日本胸部外科学会総会（60.10）。

青木 稔，三宅正幸，山崎文郎，五十部潤，池 修，中村達雄，千原幸司，住友伸一，光岡明夫，田村康一，渡部 智，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹：重症筋無力症の胸腺摘除術における術前後のステロイド大量投与法の検討，同上学会。

伊藤元彦，光岡明夫，瀧 俊彦，三宅正幸：ヒト胸腺腫リンパ球のモノクローナル抗体による検討，第44回日本癌学会総会（60.10）。

伊藤元彦：ヒト胸腺腫におけるリンパ球サブセット，厚生省がん研究助成金正岡班班会議（60.10）。

伊藤元彦：胸腺および胸腺腫のヌードマウス移植により誘導されるリンパ球の性格について，同上学会。

### 3. 結 核

玉田二郎：一般病院における気道系抗酸菌検出状況，第60回日本結核病学会総会（60.3）。

坂本益雄，カレッド・レシャード，乾 健二，中野 豊，梅宮正志：粟粒結核の6例の検討，同上学会。

和田洋己，光岡明夫，田村康一，瀧 俊彦，渡部 智，清水慶彦，伊藤元彦，人見滋樹：慢性膿胸治療としての胸膜肺全摘除術，同上学会。

朝倉庄志，松井輝夫，藤尾 彰，北野司久，藤本憲弘，群 義明，田口善夫，望月吉郎，種田利清，岩田猛郎：肺クリプトコッカス症の4治験例，第137回近畿外科学会（60.4）。

和田洋己，三宅正幸，中村達雄，住友伸一，李 民実，光岡明夫，瀧 俊彦，田村康一，渡部 智，清水慶彦，伊藤元彦，人見滋樹，倉沢卓也，久世文幸，北市正則：外科対象となった気管支結核，第8回日本気管支学会（60.5）。

カレッド・レシャード：静岡県島田地区における肺結核の最近の動向と治療成績，第47回日本胸部疾患学会東海地方会（60.6）。

乾 健二，高橋 豊，梅宮正志，坂本益雄，カレッド・レシャード，中野 豊，利光 敏：限局型肺アスペルギルス症切除例の検討，同上学会。

五十部潤，三宅正幸，山崎文郎，池 修，蕭 金宝，住友伸一，千原幸司，中村達雄，青木 稔，光岡明夫，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，渡部 智，清水慶彦：膿胸に対する Air Plombage 術3例の経験，第55回日本結核病学会第25回日本胸部疾患学会近畿地方会（60.6）。

松井輝夫，朝倉庄志，辰己明利，藤尾 彰，北野司久：原発性肺クリプトコッカス症の1治験例，同上学会。

藤尾 彰，北野司久，朝倉庄志，松井輝夫：筋肉弁充填術による結核性膿胸の2治験例，第28回日本胸部外科学会関西地方会（60.6）。

Seitetsu Hokama, Keiichiro Genka and Mutsuo Kuba: Atypical Mycobacteria Isolated from Clinical Materials for Two Years in Okinawa, 15th World Congress on Diseases of the Chest, Sydney, 1985.8.

池田貞雄，畠中陸郎，塙 健，安田雄司，八木一之，小鯖 覚，宮本好博，二宮和子，松原義人，船津武志：膿胸の外科療法——我々の治療方針と手術，第38回日本胸部外科学会総会（60.10）。

高橋 豊，カレッド・レシャード，乾 健二，中野 豊，坂本益雄：膿胸自験例の検討，同上学会。

和田洋己，山崎文郎，池 修，五十部潤，千原幸司，住友伸一，三宅正幸，中村達雄，青木 稔，光岡明夫，

田村康一, 渡部 智, 伊藤元彦, 人見滋樹: 臍胸の外科療法——胸膜肺全摘除術を中心として, 同上学会.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: 結核性脊椎炎の1手術例, 静岡県外科医学会第136回集談会 (60.11).

#### 4. 人工材料

清水慶彦: 人工臓器の現況と将来, 滋賀県医師会講演 (60.3).

松井輝夫, 朝倉庄志, 藤尾 彰, 北野司久, 人工胸骨を用いた胸壁再建の2治験例, 第2回呼吸器外科研究会 (60.4).

松原義人, 青木 稔, 安田雄司, 池 修, 宮本好博, 二宮和子, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 人工気管の実験的研究, 第85回日本外科学会総会 (60.4).

玄 丞休, 大井重夫, 筏 義人, 中村達雄, 渡部 智, 清水慶彦: 癒着防止材としてのポリ乳酸, 第14回医用高分子シンポジウム (60.4).

林 寿郎, 筏 義人, 渡部 智, 清水慶彦, 中島章夫, 中村達雄, 人見滋樹: 親水性ポリアミノ酸膜の生体内分解吸収性材料としての評価, 同上学会.

林 寿郎, 筏 義人, 渡部 智, 清水慶彦, 中島章夫, 中村達雄, 人見滋樹: 合成ポリペプチド膜の生体分解吸収性材料としての評価, 第34回高分子学会年次大会 (60.5).

清水慶彦, 渡部 智, 平井圭一: 気管上皮の再生——特にメッシュ補填の場合, 第8回日本気管支学会総会 (60.5).

八木一之, 安田雄司, 池 修, 青木 稔, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 人工気管による気管・気管分岐部の再建, 同上学会.

平井圭一, 清水慶彦: コラーゲン被覆人工気管の移植に伴う粘膜の再生, 第41回日本電子顕微鏡学会 (60.6).

清水慶彦, 寺崎秀則: 呼吸不全の新しい治療法 ECLA——Extracorporeal Lung Assist, 第76回臨床と解剖セミナー (60.6).

T. Nakamura, Jamshidi, K., HYONS, H., Ikada Y., Shimizu Y., Teramatsu T.: In vitro and in vivo Degradation of poly-L-lactide Fibers. The fifth European Conference on Biomaterials European Conference on Biomaterials September 1985. PARIS France.

渡部 智, 五十部潤, 清水慶彦, 田畑泰彦, 筏 義人: バイオリアクター用酵素含有マイクロカプセルの作製, 第23回日本人工臓器学会大会 (60.10).

中村達雄, 水野 浩, 田村康一, 加藤弘文, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦, K. Jamshidi, 玄 丞休, 筏 義人: ポリラクタイトの生体内分解に関する研究, 同上学会.

田村康一, 中村達雄, 池 修, 水野 浩, 岡田賢二, 人見滋樹, 清水慶彦, 南部昌生, 寺松 孝: 高含水ポリビニルアルコールゲルの医用材料としての基礎的研究——生体内埋植後の変化, 同上学会.

清水慶彦, 渡部 智, 五十部潤, 平井圭一, 日野常稔: Bioactive material としてのコラーゲン合成高分子複合体 気管モデルによる観察, 同上学会.

松原義人, 安田雄司, 八木一之, 塙 健, 宮本好博, 小鯖 寛, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 人工気管の実験的研究, 同上学会.

水野 浩, 田村康一, 人見滋樹, 清水慶彦, 寺松 孝, 園元謙二, 田中渥夫: 菌体固定化高分子材料による抗生物質の生体内での産生(2), 第7回日本バイオマテリアル学会大会 (60.11).

中村達雄, 池 修, 五十部潤, 田村康一, 人見滋樹, 筏 義人, 玄 丞休, K. Jamshidi, 大井重夫, 島本偉志, 渡部 智, 清水慶彦: 生体内分解性高分子材料の分解と生体に及ぼす影響(4), 同上学会.

中村達雄, 人見滋樹, 林 寿郎, 筏 義人, 渡部 智, 清水慶彦: 合成ポリアミノ酸膜の生体内分解吸収材料としての評価(2), 同上学会.

池田貞雄: 人工気管, 第63回国際胸部医学会 (JACPS) 日本支部会定期講演会 (60.11).

Y. Shimizu: Biocompatible materials for soft tissue reconstruction, First Japan-US. Workshop on Biomedical Polymer Science, Sponcered by the JSPS and NSF (1985.11).

## 5. 心・血 管

島本光臣, 秋山文弥: セミナー解離性大動脈瘤の外科・Thromboexclusion 法, 日本胸部外科学会関西地方会第12回学術セミナー (60.2).

伊東政敏, 寺町政美, 奥村典仁, 糸井和美, 井上律子, 小林君美, 加川憲作, 山口正人, 上村博幸: 重症再弁置換の1治験例, 第31回岐阜循環器疾患研究会 (60.5).

伊東政敏, 奥村典仁, 糸井和美, 五十部潤, 井上律子, 小林君美: 開心術中・術後のペーシング, 第15回日本心臓血管外科学会学術総会 (60.5).

上野陽一郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 山崎文郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 高希釈体外循環におけるヘパリン濃度測定の意義, 同上学会.

山崎文郎, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 人工透析中の慢性腎不全合併例に対する弁置換術2例の検討, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 山崎文郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 一時的末梢バルーン閉塞と中枢側 permanent aortic clamp を同時併施する thromboexclusion 法, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 山崎文郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: シンポジウム補助循環・IABP の臨床・IABP の臨床例9年間の成績検討, 同上学会.

長谷川誠紀, 秋山文弥: 肺閉栓症の1例, 第9回静岡輸血懇談会 (60.6).

河原崎茂孝, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 鎖骨下動脈閉塞症に対する両腋窩動脈間バイパス6例の検討, 第134回静岡県外科医会集談会.

田辺 一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 秋山文弥: 腹部大動脈瘤破裂, 特に open rupture 例の検討, 同上学会.

河原崎茂孝, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 鎖骨下動脈閉塞に対する両腋窩動脈間バイパス6例の検討, 第28回日本胸部外科学会関西地方会 (60.6).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 解離性大動脈瘤に対する Thromboexclusion 法の問題点, 同上学会.

長谷川誠紀, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 左冠動脈 CABG 後3年の経過にて右冠動脈狭窄及び AR を発症した大動脈炎症候群の1例, 同上学会.

有安哲哉, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 秋山文弥: 体外循環残留血の濃縮利用に関する検討, 同上学会.

上野陽一郎, 秋山文弥: 腹部大動脈瘤に対する Y 字グラフト置換術後遺残左総腸骨動脈瘤破裂をきたした1例, 昭和60年度静岡県心臓血管外科医会例会 (60.8).

伊東政敏, 寺町政美, 奥村典仁, 糸井和美, 井上律子, 小林君美: 三尖弁逆流を合併した弁膜症の手術経験, 三重大学胸部外科教室第31回総会 (60.8).

有安哲哉, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 秋山文弥: 高齢者 Ebstein 奇形の1治験, 第135回静岡県外科医会集談会 (60.9).

長谷川誠紀, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 冠動脈瘤7例の外科的検討, 同上学会.

秋山文弥, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉: 特発性肥厚性大動脈弁下狭窄症に対する経大動脈中隔心筋切除術——手技上の工夫, 第47回日本臨床外科医学会総会 (60.10).

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 器械弁置換後の緊急再弁置換術, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 腎不全を伴った弁膜症の外科治療 (血液透析及び限外濾過を用いた体外循環中の水分管理), 第38回日本胸部外科学会総会 (60.10).

秋山文弥, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉: 僧帽弁後尖を温存した Björk-Shiley 人工弁置換術, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 弓部解離性大動脈瘤に対する一時的末梢側バルーン閉塞同時併施 Thromboexclusion 法, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: Edstein 奇形の手術 心房化右室を縫縮しない大動脈非遮断下の三尖弁置換術, 同上学会.

島本光臣, 篠崎 拓, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 田辺 一, 有安哲哉, 秋山文弥: 冠血行再建術 (CABG) を主とした発症2週以内の AMI に対する外科治療, 同上学会.

上野陽一郎: 心大血管手術時における自家血再輸注法の検討, 第2回静岡輸血懇談例会 (60.10).

井上寛治, 中村隆澄, 北村文夫, 宮本信昭: Clinical application of transvenous mitral commissurotomy by a new balloon catheter, アメリカフランスモロッコ, 国際心臓学会 (60.10).

藤尾 彰, 北野司久, 朝倉庄志, 鄭 台頭, 楠原健嗣, 小泉俊三: 気管・腕頭動脈瘻破裂の1救命例, 第138回近畿外科学会 (60.11).

秋山文弥: 心臓病 予防管理と治療, 第3回静岡県成人病予防講演会 (60.11).

伊東政敏, 上村博幸, 村上啓雄, 小林君美: 逆行性冠灌流による心筋保護の経験, 第32回国立療養所循環器疾患研究会 (60.11).

中村隆澄, 宮本信昭, 井上寛治, 北村文夫: 三尖弁置換術症例の検討, 日本循環器学会中国四国地方会第47回総会 (60.11).

宮本信昭, 井上寛治, 中村隆澄, 北村文夫: 経皮的肺動脈弁拡張術を行った成人肺動脈狭窄症の1例, 同上学会.

伊東政敏, 寺町政美, 奥村典仁, 糸井和美, 井上律子, 小林君美: 二次的三尖弁閉鎖不全を合併した弁膜症外科手術の経験, 第40回国立病院療養所総合医学会 (60.11).

奥村典仁, 寺町政美, 糸井和美, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 縦隔腫瘍自験例の検討, 同上学会.

## 6. 一般胸部疾患

高嶋義光: 呼吸器疾患の手術適応について, 武生市医師会講演会 (60.2).

梅宮正志, 高橋 豊, 乾 健二, 竹内吉喜, 中野 豊, 坂本益雄, カレッド・レシャード: 咳, たん, 労作時呼吸困難, 好酸球増多を呈し, 症状のみ軽快したびまん性小結節状陰影を呈した1例, 第8回びまん性肺疾患研究会 (60.2).

乾 健二, 高橋 豊, 梅宮正志, 竹内吉喜, カレッド・レシャード: 当院における呼吸器外科再手術症例の検討, 第133回静岡県外科医会集談会 (60.3).

人見滋樹: 胸部レントゲン読影の基礎, 大阪市東区医師会講演会 (60.4).

青木 稔, 安田雄司, 八木一之, 池 修, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 気管・気管支軟化症の治療と実験的研究, 第25回日本胸部疾患学会総会 (60.4).

池田貞雄, 安田雄司, 池 修, 八木一之, 青木 稔, 宮本好博, 二宮和子, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志: 呼吸器外科領域における嗄声, 発声不能の症例の対策, メガネマイク, 電動式人工喉頭および音声増幅器の応用, 同上学会.

千原幸司, 松延政一, 寺田泰二, 呉 俊雄, 外村聖一, 光岡明夫, 滝 俊彦, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: X線連続撮影による横隔膜一胸部運動の評価, 同上学会.

寺田泰二, 呉 俊雄, 千原幸司, 松延政一, 外村聖一: 重症マイコプラズマ肺炎に対するステロイド併用療法の意義, 同上学会.

八木一之, 安田雄司, 池 修, 宮本好博, 青木 稔, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺葉内肺分画症の1切除例, 第137回近畿外科学会 (60.4).

呉 俊雄, 寺田泰二, 千原幸司, 松延政一, 外村聖一, 清水慶彦: 8年間の経過中特異な胸部 X-P 像を呈した硬化性血管腫の1治験例, 同上学会.

青木 稔, 安田雄司, 池 修, 宮本好博, 二宮和子, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 気管・気管支軟化症の外科治療, 第85回日本外科学会総会 (60.4).

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満, 宮城 茂: 55歳で発見された先天性気管食道瘻の1例, 第8回日本気管支学会総会 (60.5).

青木 稔, 松原義人, 安田雄司, 八木一之, 池 修, 宮本好博, 二宮和子, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄: 気管軟化症に関する実験的研究, 同上学会.

カレッド・レシャード, 乾 健二, 高橋 豊, 梅宮正志, 竹内吉喜, 荒井俊之: 気管内吸引における血液ガス変動およびその対応, 同上学会.

乾 健二, 高橋 豊, 梅宮正志, 竹内吉喜, カレッド・レシャード: 当院における術後気管支瘻症例の治療成績, 同上学会.

高嶋義光, 江崎 寛, 鈴木雄二郎, 武藤 真, 長谷光雄: 呼吸器病手術症例の検討, 第64回福井県医学会 (60.5).

奥村典仁, 寺町政美, 糸井和美, 伊東政敏, 井上律子, 小林君美: 長い経過を呈した巨大気管嚢胞の1例, 第47回日本胸部疾患学会東海地方会 (60.6).

梅宮正志, 中野 豊, 坂本益雄, 高橋 豊, 乾 健二, カレッド・レシャード: ウェジナー肉芽腫症の1症例, 同上学会.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: Swan Ganz カテーテルによる肺梗塞の1切除例, 同上学会.

鈴木 清, 高橋 豊, 梅宮正志, 乾 健二, カレッド・レシャード: 呼吸器疾患における血清シアル酸値および IAP 値と炎症との関連について, 同上学会.

人見滋樹: 胸部X線読影の基礎, 京都府綴喜郡田辺町医師会学術研究会 (60.6).

畠中陸郎, 塙 健, 安田雄司, 八木一之, 宮本好博, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 最近の肺炎について検討, 第55回日本結核病学会第25回日本胸部疾患学会近畿地方会 (60.6).

西村浩一, 長井苑子, 荻原順一, 北市正則, 松井祐佐公, 門 政男, 木野稔也, 泉 孝英, 大島駿作, 李 民実, 光岡明夫, 他: D.O.E. とびまん性斑状影で発症し, 自然軽快したびまん性間質性肺炎の1例, 同上学会.

二宮和子, 塙 健, 安田雄司, 八木一之, 宮本好博, 畠中陸郎, 松原義人, 船津武志, 池田貞雄: 特発性間質性肺炎における血清 LDH の検討, 同上学会.

宮本好博, 塙 健, 安田雄司, 八木一之, 畠中陸郎, 松原義人, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 巨大肺のう胞症に合併した気胸, 同上学会.

塙 健, 安田雄司, 八木一之, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 船津武志, 池田貞雄, 二宮和子: Hydro-pneumothorax の一例, 同上学会.

田中瑩子, 水谷 哲, 鍵岡 均, 室本 仁, 倉田昌彦, 瀧 俊彦, 竹田秋郎, 立花秀一: 肺動静脈瘻の1症例, 同上学会.

千原幸司, 松延政一, 寺田泰二, 呉 俊雄, 室恒太郎, 外村聖一, 清水慶彦: 胸椎・肋骨が11対の DPB 3例, 同上学会.

小林 淳, 岡田賢二, 桑原正喜: 縦隔腫瘍摘出後に発生した乳糜胸の1治療例, 第28回日本胸部外科学会関西地方会 (60.6).

桑原正喜, 小林 淳, 岡田賢二: 呼吸器外科における前鋸筋の利用, 同上学会.

小林 淳, 岡田賢二, 桑原正喜, 他2名: 新鮮凍結漿輸血後に発生した Non cardiogenic pul. edema の一例, 同上学会.

桑原正喜, 小林 淳, 岡田賢二: 胸腔ドレナージのための新しい器具の考案, 同上学会.

田村康一, 山崎文郎, 三宅正幸, 五十部潤, 池 修, 中村達雄, 千原幸司, 住友伸一, 青木 稔, 光岡明夫, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 肋骨に生じた Fibrous dysplasia 7症例, 同上学会.

松原義人, 畠中陸郎, 宮本好博, 安田雄司, 八木一之, 塙 健, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 高齢者における肺全摘術, 同上学会.

松井輝夫, 朝倉庄志, 辰己明利, 藤尾 彰, 北野司久: フィブリン糊を用いた巨大肺嚢胞症手術例の検討, 同上学会.

田辺 一, 篠崎 拓, 島本光臣, 上野陽一郎, 河原崎茂孝, 長谷川誠紀, 有安哲哉, 秋山文弥: 遷延性気道出血を伴った Azygos lobe bronchus の1例, 同上学会.

安倍隆二, 水野 浩, 生嶋宏彦, 田村康一: Ⅲ期肺癌症例に対し, enblock 切除(左肺動脈左主管支分節切除)による気管支・肺動脈形成し5年生存の1症例, 同上学会.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: 胸骨縦切開にて左肺全摘を要した有癭性膿胸, 同上学会.

乾 健二, 高橋 豊, 中野 豊, 梅宮正志, 坂本益雄, カレッド・レシャード: 当院における呼吸器外科再手術症例の検討, 同上学会.

高嶋義光: 肺分画症の5手術例, 同上学会.

呉 俊雄, 室恒太郎, 寺田泰二, 松延政一, 外村聖一, 千原幸司, 清水慶彦: 外傷性多発肋骨骨折整復後肺機能を長期観察した1例(セラミック肋骨ピン使用による改善例), 同上学会.

寺田泰二, 室恒太郎, 呉 俊雄, 松延政一, 外村聖一, 千原幸司, 清水慶彦: 1側肺全摘後胸腔内 SF<sub>6</sub> 注入例の検討, 同上学会.

住友伸一, 三宅正幸, 山崎文郎, 池 修, 五十部潤, 中村達雄, 千原幸司, 青木 稔, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 渡部 智, 清水慶彦: 漏斗胸手術症例の胸部運動, 同上学会.

千原幸司, 松延政一, 寺田泰二, 呉 俊雄, 外村聖一, 清水慶彦: 換気機能の著明な改善を得た両側巨大肺嚢胞症の1手術例, 同上学会.

和澤 仁, 横見瀬裕保, 神頭 徹, 千葉 渉, 玉田二郎: 非定型抗酸菌症を合併した肺葉内肺分画症の1例, 第20回日本胸部疾患学会中国四国地方会(60.7).

神頭 徹, 和澤 仁, 横見瀬裕保, 玉田二郎: 支配領域に肺炎をくりかえした気管・気管支の1手術例, 同上学会.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: 肺硬化性血管腫の1例, 第46回中部肺癌学会(60.7).

人見滋樹: 肺癌の拡大手術, 肺・縦隔・胸壁の手術, シネセミナー, 朝日サイエンス(60.7).

人見滋樹: 肺機能回復と温存を求める呼吸器外科, 60年度滋刀会学術講演会(60.7).

北市正則, 古江増裕, 西村浩一, 長井苑子, 泉 孝英, 大島駿作, 鈴木康弘, 桜井信男, 光岡明夫, 他: DPBと気管支拡張症を含む気道病変症例の末梢気道病変の病理組織学的比較検討, 第30回閉塞性肺疾患研究会(60.8).

Hitomi, S.: Thoracoscopic Lung Biopsy, Pathologica Conference in Royal Melbourne Hospital, Australia, (1985.8).

M. Kitano, A. Fujio, A. Tatsumi, S. Asakura, T. Matsui: Surgical treatment for chest wall deformities, IX APCDC, Sydney (1985.8).

K. Chihara, S. Matsunobe, Y. Terada, T. Go, S. Tonomura, H. Wada, M. Ito, S. Hitomi, S. Watanabe, Y. Shimizu: The diaphragm-rib cage motion and their relationship during breathing efforts, XV World Congress on Diseases of the Chest, Sydney (1985.8).

S. Matsunobe, S. Tonomura, T. Goh, Y. Terada, C. Chihara, H. Wada, M. Itoh, S. Hitomi, F. Yoshida, S. Nakatani, Y. Simizu: EXTRACORPOREAL CO<sub>2</sub> REMOVAL BY HEMODIALYSIS IN PATIENTS WITH CHRONIC RESPIRATORY FAILURE (CRF), XV World Congress on Diseases of the Chest, Sydney (1985.8).

人見滋樹: 縦隔鏡検査, 胸腔鏡検査, 日中交友学術講演会, 大連医院(60.9).

坂本益雄, 梅宮正志, 中野 豊, 高橋 豊, 乾 健二, カレッド・レシャード: 胸部X線上, 進行性のびまん性陰影を呈した1症例, 第9回びまん性肺疾患研究会(60.9).

中野 豊, カレッド・レシャード, 坂本益雄, 高橋 豊, 糸井和美, 乾 健二: 当科における最近のマイコプラズマ性肺炎症例の検討, 第14回東海呼吸器感染症研究会(60.9).

桑原正喜: 開業医の為の胸部レ線写真の読み方と考え方, 第118回実地医家研究会(60.9).

黒瀬 健, 中野 豊, 坂本益雄, 糸井和美, 乾 健二, カレッド・レシャード, 中村治枝: ステロイド治療と



気胸，第25回気胸研究会。

カレッド・レシャード：バクシダールの呼吸器感染症に対する臨床的研究，抗生剤研究会（60. 9）。

乾 健二，高橋 豊，中野 豊，坂本益雄，糸井和美，カレッド・レシャード：当院における両側開胸術症例の検討，第135回静岡県外科医科集談会（60. 9）。

呉 俊雄，室恒太郎，寺田泰二，枚延政一，外村聖一，清水慶彦：マイコンを使用した  $N_2$  洗い出し法による肺気量分画分析，第23回日本社会保険医学会（60. 10）。

寺田泰二，室恒太郎，呉 俊雄，松延政一，外村聖一：重症マイコプラズマ肺炎に対するハイドロコチゾン併用療法の意義，同上学会。

松延政一，室恒太郎，呉 俊雄，寺田泰二，外村聖一，千原幸司，清水慶彦：肺領域に於ける血管再建（肺動脈分節切除術，大動脈再建，上大静再建術）の経験，同上学会。

松原義人，船津武志，安田雄司，八木一之，塙 健，畠中陸郎，宮本好博，二宮和子，池田貞雄：高齢者自然気胸の外科治療，第47回日本臨床外科医学会総会（60. 10）。

桑原正喜：胸腔ドレナージに用いる新しい器具，同上学会。

住友伸一，三宅正幸，山崎文郎，池 修，五十部潤，中村達雄，青木 稔，光岡明夫，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，松延政一，渡部 智，清水慶彦：胸部手術と胸郭運動（第2報），第38回日本胸部外科学会総会（60. 10）。

光岡明夫，池 修，五十部潤，山崎文郎，三宅正幸，千原幸司，住友伸一，中村達雄，青木 稔，田村康一，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，渡部 智，清水慶彦：当科における胸骨翻転術式，同上学会。

千原幸司，寺田泰二，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，呉 俊雄，松延政一，外村聖一，清水慶彦：横隔膜・胸郭運動よりみた胸部外科手術の評価（第2報） 換気機能の改善，温存の観点から ，同上学会。

山崎文郎，和田洋己，青木 稔，李 民実，人見滋樹：自家肺移植の問題点，同上学会。

安田雄司，塙 健，八木一之，宮本好博，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄，青木 稔，池 修：気管軟化症の実験的研究，同上学会。

源河圭一郎，国吉真行，石川清司，前里知夫，赤崎 満，城間 寛：肺内留弾摘出症例の検討，同上学会。

朝倉寛之，立石昭三：東北タイ農村に於る疫学調査——児歯の疫学調査，第44回衛生学会（60. 10）。

畠中陸郎，塙 健，安田雄司，宮本好博，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄：急性肺塞栓症の1例，第56回日本結核病学会第26回日本胸部疾患学会近畿地方会（60. 11）。

安田雄司，塙 健，小鯖 寛，宮本好博，松原義人，畠中陸郎，二宮和子，船津武志，池田貞雄：リポイド肺炎の1例，同上学会。

横見瀬裕保，大頭信義，青田正樹，中山正吾：両側巨大肺のう胞症の一手術例，同上学会。

寺田泰二，室恒太郎，呉 俊雄，枚延政一，外村聖一，清水慶彦：当院における DPB 20 例の検討，同上学会。

寺田泰二，呉 俊雄，室恒太郎，松延政一，外村聖一，清水慶彦：肋骨整復により解除できた開胸術後無気肺の二症例，第24回滋賀呼吸器疾患談話会（60. 11）。

松延政一，呉 俊雄，室恒太郎，寺田泰二，外村聖一，清水慶彦：肺領域における血管再建の経験，同上学会。

江崎 寛，武藤 真，長谷光雄，高嶋義光，大野暢宏：両側同時開胸術により巨大ブラの治療経験，第32回日本結核病学会第21回日本胸部疾患学会第6回日本気管支学会合同北陸地方会（60. 11）。

武藤 真，江崎 寛，長谷光雄，高嶋義光，大野暢宏，高田伸弘：肺犬糸状虫症の一例，同上学会。

高嶋義光，江崎 寛，武藤 真，長谷光雄，大野暢宏：肺分画症について，同上学会。

長谷光雄，江崎 寛，武藤 真，高嶋義光，大野暢宏：気管支動脈塞栓術が有用であった2例，同上学会。

寺町政美，奥村典仁，岡田賢二，伊東政敏，井上律子，小林君美，吉見直己，高橋正宜：肺硬化性血管腫の1例，第48回日本胸部疾患学会東海地方会（60. 11）。

田辺 一，篠崎 拓，島本光臣，上野陽一郎，河原崎茂孝，長谷川誠紀，有安哲哉：遷延性気道出血を伴った Azygos lobe bronchus の1例，同上学会。

中野 豊，カレッド・レシャード，乾 健二，高橋 豊，糸井和美，坂本益雄：マイコプラズマ性肺炎の臨床，

同上学会.

高橋 豊, カレッド・レシャード, 乾 健二, 中野 豊, 坂本益雄: 乳幼児膿胸の自験例, 同上学会.

鈴木 清, 高橋 豊, 中野 豊, 糸井和美, 坂本益雄, 乾 健二, カレッド・レシャード: 胸水アデノシンデアミナーゼ (ADA) 活性測定 of 臨床的意義, 同上学会.

乾 健二, 高橋 豊, 中野 豊, 坂本益雄, 糸井和美, カレッド・レシャード: 当院における肺全摘症例の検討, 同上学会.

埴 健, 安田雄司, 宮本好博, 松原義人, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 気管支嚢胞を同一肺葉内に2個認めた1切除例, 第138回近畿外科学会.

糸井和美, カレッド・レシャード, 松永和彦, 中野 豊, 高橋 豊, 坂本益雄, 乾 健二: 肺膿瘍と気胸の1合併切除例, 第136回静岡外科医会.

カレッド・レシャード: 胸部レントゲン写真の読影——正常編, 榛原医師会 (60.11).

桑原正喜: 開業医の為の胸部レ線写真の読み方と考え方——いつも外来で見られる呼吸器系レ線写真を中心に——, 第120回実施医家研究会 (60.11).

カレッド・レシャード: 胸部レントゲン写真の読影——異常編, 榛原医師会 (60.12).

渡部 智, 清水慶彦, 住友伸一, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 伊藤元彦, 人見滋樹, 高嶋義光, 松延政一, 加藤弘文: アルミナセラミック肋骨接合ピンの臨床的検討, 第5回整形外科セラミック・インプラント研究会 (60.12).

人見滋樹: 縦隔の外科, 神戸大学第2外科学術講演会 (60.12).

久場睦夫, 仲宗根恵俊, 宮城 茂, 普久原浩, 国吉真行, 源河圭一郎, 下地克佳, 金城 毅: Swyer-James 症候群の1例, 第20回日本胸部疾患学会九州地方会.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 城間 寛, 宮城 茂: 食道気管瘻 (H-type) の1成人例, 第22回九州外科学会.

## 〔著 書〕

寺松 孝: 臓器移植と人工臓器の現状, 生命科学は医療を変えるか, 医学研究振興財団編, 講談社.

人見滋樹: 気管支鏡検査 (p. 97-98), 気管・気管支結核 (p. 144-147), 結核・医学書院 (1985.4).

北野司久: Nude mouse を用いる感受性試験の基礎およびその臨床応用 (p. 184-200), 制癌剤感受性の決定, 近藤達平編, 金原出版.

Y. Shimizu: Biocompatible Materials in Surgery Treatise on Biomedical Materials 1. (p. 77-84), 1985 Edited by Takao Yamamuro, Printed by Shinko Printing Co. Ltd.

伊藤元彦: リンパ球サブセットから見た胸腺腫, 正岡昭編「胸腺腫の機能」, 蟹書房 (1985.11).

伊藤元彦: 胸腺腫の免疫学的アプローチ, 太田保世編「Annual Review 呼吸器1986」, 中外医学社.

和田洋己: 膿胸, (p. 176) 泉孝英編, 結核, 医学書院, 1985.

松村理司: 肺結核の治療, 外科療法 (p. 116-122) 泉孝英編, 結核, 医学書院, 1985.

松村理司: 呼吸機能検査と測定 (p. 50-75), 沼田克雄編, 基礎からより高度の知識まで, チーム医療, 1985.

## 〔誌 上 発 表〕

### 1. 腫 瘍

土井 修, 桑原正喜, 倉田昌彦, 他6名: 肺扁平上皮癌, 腺癌の術後再発様式, 肺癌, 25(3): 331-327, 1985.

光岡明夫, 和田洋己, 伊藤元彦: 肉腫成分を欠いた pulmonary blastoma (pulmonary endodermal tumor resembling fetal lung) の1症例, 肺癌, 25(4): 555-558, 1985.

伊藤元彦, 山中 晃, 玉田二郎: 産生粘液および産生蛋白の性状からみた肺腺癌の検討, 肺癌, 25(5): 399, 1985.

藤尾 彰, 北野司久, 朝倉庄志, 松井輝夫, カレッド・レシャード: 上大静脈内および右心房内に腫を形成し

た悪性胸腺腫の1長期生存例, 日本胸部疾患学会雑誌, 23(8): 934, 1985.

カレッド・レシャード, 鈴木 清, 乾 健二, 高橋 豊, 梅宮正志, 中野 豊, 坂本益雄: 腫瘍性, 非腫瘍性呼吸器疾患および喫煙における腫瘍マーカー (CEA, Ferritin, B<sub>2</sub>MG, TPA, IAP, Sialic Acid) の意義, 日本胸部疾患学会雑誌, 23(11): 1343, 1985.

北野司久: 制癌剤感受性テストの研究, 日本胸部疾患学会雑誌, 23(12): 1397-1398, 1985.

岡田賢二, 人見滋樹, 玉田二郎, 前里和夫, カレッド・レシャード, 小林 淳, 桑原正喜: 血胸をくり返した胸椎骨巨細胞腫の1例, 日本胸部臨床, 44(7): 586, 1985.

岡野昌彦, カレッド・レシャード, 高橋 豊, 乾 健二, 竹内吉喜: 特発性間質性肺炎に合併した肺癌の6例について, 日本胸部臨床, 44(1): 25, 1985.

人見滋樹, 瀧 俊彦: 肺癌の手術限界とその画像診断, リンパ節転移からみた肺癌手術の限界と適応, 胸部外科, 38(5): 351-360, 1985.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 赤崎 満: 縦隔腫瘍を疑われた悪性限局型胸膜中皮腫, 胸部外科, 38(11): 846, 1985.

藤尾 彰, 北野司久, 朝倉庄志, 松井輝夫, 岩田猛邦: 胸腺カルチノイドの1切除例, 胸部外科, 38(12): 976-979, 1985.

三宅正幸, 伊藤元彦, 瀧 俊彦, 光岡明夫, 田村康一, 和田洋己, 人見滋樹: 縦隔原発の non-seminomatous germ cell tumor の治療法の検討, 日本胸部外科学会雑誌, 33(8): 1142-1148, 1985.

伊藤元彦, 三宅正幸: Intravascular bronchioloalveolar tumor (IVBAT), 呼吸, 4(7): 765, 1985.

正岡 昭, 曾根修輔, 伊勢 泰, 西村 穰, 門田康正, 伊藤元彦: 縦隔腫瘍, 呼吸, 4(11): 1319, 1985.

陳 和夫, 藤川 潤, 高山康夫, 久保勝彦, 室本 仁, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 佐藤友信, 久野健志, 佐川弥之助: 肺癌患者における carbohydrate antigen 19-9 (CAI 19-9) 値の臨床的検討, 呼吸, 4(11): 1410-1415, 1985.

桑原 修, 平田 保, 早乙女一男, 柳内 登, 平井利加, 西山祥行, 小松彦太郎, 平田正信, 石渡弘一, 秋山三郎, 井内敬二, 中井 勲, 半井一郎, 岩崎健資, 武藤 真, 入来敦久, 源河圭一郎, 沢村献児: 肺癌手術後の重複癌と今後の対応, 癌の臨床, 31(14): 1771-1775, 1985.

池田貞雄: 脳転移を合併した肺癌, この症例について検査のすすめ方, 手術適応と術式の選択, 外科, 47(9): 893-899, 1985. 伊藤元彦: 肺癌における隣接臓器合併切除, 日本外科学会雑誌, 86(9): 1045, 1985.

伊藤元彦, 三宅正幸, 光岡明夫: 縦隔奇形腫群腫瘍の診断と治療, 癌と化学療法, 12(7): 1361, 1985.

李 民実, 梁 宗三, 金 英一, 人見滋樹: 開業医外来を利用した肺癌地域検診, 気管支学, 7(2): 155-163, 1985.

松原義人, 安田雄司, 八木一之, 池 修, 青木 稔, 宮本好博, 畠中陸郎, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: 肺癌患者における血清 Neuron-specific Enolase (NSE), 日本癌治療学会誌, 20(6): 1136-1145, 1985.

Norio Waseda, Yuzuru Kato and Masahiko Kurata: PROGNOSTIC VALUE OF ESTROGEN AND PROLACTIN RECEPTOR ANALYSIS IN HUMAN BREAST CANCER, Jpn. J. Cancer Res. (Gann), 76(6): 517-523, 1985.

Takaaki Miki, Takao Yamamuro, Yoshihiko Kotoura, Mutsumi Matsushita, Yasuhiko Shimizu, and Tasuo Nakamura: Osteosarcoma with multiple intramuscular metastases, Acta Orthop Scand 56, 92-95, 1985.

Khaled Reshad, K. Inui, Y. Takeuchi, Y. Takahashi and S. Hitomi: Treatment of malignant pleural effusion, CHEST, 88: 393, 1985.

高井晶子, 倉田昌彦, 友田恒典: 肺癌および乳癌患者の血中免疫抑制酸性蛋白 (IAP) 値と  $\alpha$ -glycoprotein, 医学と生物学, 110(2): 71-74, 1985.

高井晶子, 倉田昌彦, 竹田秋郎, 友田恒典: 肺癌患者の血中 CFA および CEA 添加赤沈, 医学と生物学, 110(6): 299-302, 1985.

高井晶子, 倉田昌彦, 竹田秋郎, 立花秀一, 友田恒典: 肺癌および乳癌患者の血中免疫抑制酸性蛋白 (IAP) 値と急性相反応物質との関係, 医学と生物学, 111(6): 309-313, 1985.

桑原正喜：Roentgenologically occult lung cancer の症例，第2回阪神呼吸器疾患勉強会収録集：17-26, 1985.

大頭信義：肺がんの外科治療——国立姫路病院の経験，姫路市医師会報60年5月号.

桑原正喜：日本肺がん学会印象記，財団法人大阪から肺がんをなくす会会報，11：5, 1984.

倉田昌彦，桑原正喜：肺胸膜直下の小型肺癌および胸膜転移の胸腔鏡下診断法の開発，財団法人大阪から肺がんをなくす会会報，12：17-20, 1985.

桑原正喜：患者の立場で考える——気配り——，財団法人大阪から肺がんをなくす会会報，12：29, 1985.

安田雄司，塙 健，池 修，八木一之，青木 稔，宮本好博，畠中陸郎，松原義人，二宮和子，船津武志，池田貞雄，長谷川徹，鈴木捷之，横川智信：肺癌組織中の Tissue Polypeptide Antigen (TPA) と Carcinoembryonic Antigen (CEA), TPA 研究会論文集：72-78, 1985.

人見滋樹：肺癌の拡大手術，肺・縦隔・胸壁の手術，朝日サイエンス V. 1~12, 7, 1985.

国吉真行，城間 寛，前里和夫，石川清司，源河圭一郎，下地克佳，普久原浩：肺カルチノイド2例の経験，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：10-16, 1985.

石川清司，源河圭一郎，国吉真行，前里和夫，城間 寛：縦隔腫瘍38例の臨床的検討，国療沖縄病院医学雑誌 6(1)：17-2, 1985.

石川清司，源河圭一郎，国吉真行，前里和夫，城間 寛：前縦隔に発生した Yolk Sack Carcinoma の1例，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：22-27, 1985.

城間 寛，石川清司，国吉真行，前里和夫，源河圭一郎，古波倉正照：縦隔気管支性嚢腫の1例，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：28-33, 1985.

源河圭一郎，前里和夫，石川清司，国吉真行，城間 寛，野原雄介：気管支内軟骨腫の1切除例，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：34-38, 1985.

久場睦夫，仲宗根恵俊，宮城 茂，下地克佳，大湾朝忠，大城盛夫，石川清司，国吉真行，城間 寛，前里和夫，源河圭一郎：肺癌と肺結核の合併例の検討，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：39-48, 1985.

久場睦夫，岸本明久，仲宗根恵俊，宮城 茂，下地克佳，源河圭一郎，嘉数こずえ：胸部X線像上肺炎様陰影を呈し，細胞診にて肺胞上皮癌と診断し得た1症例，国療沖縄病院医学雑誌，6(1)：49-56, 1985.

## 2. 胸腺・免疫

光岡明夫，後藤光良，杉山正敏，瀧 俊彦，伊藤元彦：マウスにおけるサイクロフォスファミド活性化における遺伝的背景，医学のあゆみ，132(9)：656~657, 1985.

松原義人，安田雄司，池田貞雄：Neuron-specific Enolase (NSE), SRL 宝函，9(4)：8-14, 1985.

## 3. 結 核

北野司久，竹内吉喜，松井輝夫，朝倉庄志，藤尾 彰，相原雅典：髄膜炎を合併した原発性肺クリプトコッカス症の1治験例，臨床胸部外科，5(2)：243-247, 1985.

玉田二郎，人見滋樹：境界領域の治療・肺結核，日本醫事新報. No. 3216. 135, 1985.

## 4. 人工材料

渡部 智，清水慶彦，中村達雄，人見滋樹，日野常稔：医用合成高分子材料の Biolization と抗菌活性の付与，人工臓器14(2)：851-854, 1985.

田村康一，中村達雄，水野 浩，岡田賢二，人見滋樹，清水慶彦，加藤弘文，日野常稔，城 靖，寺松 孝：Polyvinyl alcohol-Silica composite の人工血管への応用——細小動脈置換例の開存率の検討，人工臓器，14：891-894, 1985.

中村達雄，他5名：合成ポリアミノ酸膜の生体分解吸収性材料としての評価(2)，第7回日本バイオマテリアル学会大会予稿集，175-176.

中村達雄，他11名：生体内分解性高分子材料の分解と生体に及ぼす影響(4)，第7回日本バイオマテリアル学会大会予稿集，171-172.

清水慶彦：＜新しい手術器具と材料＞胸部，呼吸器外科から外科，47(2)，165-168，1985.

松原義人，畠中陸郎，船津武志，安田雄司，池 修，青木 稔，宮本好博，二宮和子，池田貞雄：人工気管による気管分岐部の再建，日本胸部外科学会雑誌，33(5)：202-204，1985.

清水慶彦：組織適合性材料の開発と in vivo 評価，日本臨床，43(12)：194(2684)～198(2588)，1985.

松原義人，畠中陸郎，船津武志，池田貞雄：人工気管による気道再建術，日本気管食道科学会会報，36(2)：144-149，1985.

清水慶彦，渡部 智：抗菌性生体適合性材料，文部省科学研究費特定研究，多相系生医学材料の設計に関する研究，研究成果総括報告書，1985.

## 5. 心・血 管

河原崎茂孝，篠崎 拓，島本光臣，上野陽一郎，高橋憲太郎，山崎文郎，林 丘，長谷川誠紀，秋山文弥：Blood Cardioplegia への Diltiazem 追加効果に関する検討，日本心臓血管外科学雑誌，14(3)：144，1985.

島本光臣，篠崎 拓，上野陽一郎，高橋憲太郎，山崎文郎，河原崎茂孝，林 丘，長谷川誠紀，秋山文弥：解離性大動脈瘤に対する Thromboexclusion 法の検討，日本心臓血管外科学会雑誌，14(5)：257，1985.

篠崎 拓，島本光臣，上野陽一郎，高橋憲太郎，山崎文郎，河原崎茂孝，林 丘，長谷川誠紀，秋山文弥：三尖弁閉鎖不全と肺高血圧を中心に見た僧帽弁狭窄症手術症例の予後，日本心臓血管外科学会雑誌，14(6)：352，1985.

島本光臣，篠崎 拓，上野陽一郎，山崎文郎，河原崎茂孝，長谷川誠紀，田辺 一，有安哲哉，秋山文弥：一時的末梢側バルーン閉塞と中枢側 permanent aortic clamp を同時併施する Thromboexclusion 法，日本心臓血管外科会雑誌，15(2)：134，1985.

島本光臣，篠崎 拓，高橋憲太郎，井村正史，山崎文郎，河原崎茂孝，秋山文弥：解離性大動脈瘤に対する Thromboexclusion 法の検討——一時的バルーン閉塞同時併施法の意義，日本胸部外科学会雑誌，33(3)：379，1985.

島本光臣，秋山文弥：解離性大動脈瘤の外科・Thromboexclusion 法，日本胸部外科学会関西地方会第12回学術セミナーテキスト，89-98，1985.

藺 潤，庄村東洋，橋平 誠，荻野 均，福山 守，岡本交二，岡田行功，宮本 覚，西内 素，秦 紘，立道 清，吉栖正之，他3名：高齢者不完全型 ECD の1治療例，胸部外科，38(1)：62-66，1985.

福山 守，藺 潤，岡本交二，岡田行功，宮本 覚，西内 素，秦 紘，立道 清，庄村東洋，吉栖正之：虚血性心疾患の外科治療——急性心筋梗塞後の難治性不整脈に対する外科治療の問題点，循環器科，18(4)：332-333，1985.

## 6. 一般胸部疾患

光岡明夫，金城 明，伊藤元彦：漏斗胸に関する新しい術式の試み，胸部外科，38(6)：445-448，1985.

寺田泰二，呉 俊雄，千原幸司，松延政一，外村聖一，高嶋義光，清水慶彦：外傷7年後に形成術を施行された左主管支断裂症の1例：胸部外科，38(7)：563-567，1985.

光岡明夫，人見滋樹，伊藤元彦，和田洋己，渡部 智，田村康一，瀧 俊彦，住友伸一，中村達雄，三宅正幸：術後無気肺治療における BFS-HFJV の臨床的検討，気管支学，7(3)：271-276，1985.

田村康一，光岡明夫，瀧 俊彦，和田洋己，伊藤元彦，人見滋樹，倉沢卓也，門 政男，西村浩一，佐藤公彦：気管支鏡の合併症および対策——大量出血について，気管支学，7：506-513，1985.

八木一之，北野司久，藤尾 彰，朝倉庄志，松井輝夫，梶間清隆：呼吸器外科領域におけるフィブリン糊の使用経験，臨床胸部外科，5(1)：88-93，1985.

藤尾 彰，北野司久，朝倉庄志，松井輝夫：肺葉外肺分画症の1例，臨床胸部外科，5(3)：65-68，1985.

玉田二郎，人見滋樹：気管の病変，日本胸部臨床，44(2)：87-96，1985.

光岡明夫，人見滋樹：特集・外科臨床における画像診断の進歩，縦隔腫瘍の CT 診断，外科診療，27(9)：85-87，1985.

瀧 俊彦, 伊藤元彦: 肺部分切除術および区域切除術, 外科治療, 53(10): 367, 1985.

玉田二郎, 人見滋樹: 術前検査と術前準備・呼吸機能検査, 外科治療, 52(6): 617-620, 1985.

田村康一, 人見滋樹: 解説・疾患, 肺分画症, 呼吸, 4: 629-641, 1985.

桑原正喜, 松原義人, 畠中陸郎, 安田雄司, 池 修, 青木 稔, 宮本好博, 二宮和子, 船津武志, 池田貞雄: CUSA とフィブリン糊を用いた肺動脈静脈瘻の手術, 手術, 39(3): 335-339, 1985.

神頭 徹, 岡崎俊郎, 乾 健二, カレッド・レシャード, 和田洋己, 経気管支動脈投与法による 20/TlCl シンチグラフィ, 臨床放射線, 30(13): 1529-1536, 1985.

田村康一, 人見滋樹: 総合特集, 悪性腫瘍患者の管理Ⅱ悪性腫瘍患者の外科療法と術前・術中・術後管理4, 胸部の腫瘍, 縦隔腫瘍.

阪口周吉, 秋山文弥, 細井靖夫, 和爾隆政, 鎗木恒男, 井上 章, 竹中正文, 大沢幹夫: 末梢阻血症状に対する Prostaglandin E<sub>1</sub> 点滴静注療法, 特に適応と投与期間について, 現代医療, 17(3): 664, 1985.

Toshiyuki Arai, Y. Hatano, K. Komatsu and Khaled Reshad: Real-time analysis of the change in arterial oxygen tension during endotracheal suction with a fiberoptic bronchoscope, Critical Care Medicine, 13, 10, 855, 1985.

Khaled Reshad and Shigeki Hitomi: Pleural permeability to antibiotics and anticancer drugs, Annals of Kansai Denryoku Hospital, 16, 1, 1984.

Masayoshi Kuwabara, MD., Osamu Ike, MD., Satoshi Kosaba, MD., Yoshito Matsubara, MD., Rikuro Hatakenaka, MD., Kazuko Ninomiya, MD., Takeshi Funatsu, MD., and Sadao Ikeda, MD.: Diagnosis of Pulmonary Nodules by Computed Tomography Application of Graphic patterns classification of CT number and Contrast index, Ann. Kansai-Denryoku Hosp., 16(2): 1-7, 1984.

桑原正喜, 岡田賢二, 小林 淳, 小高泰一: 自然気胸の valve drainage のための新しい器具の考案, 関電医学誌, 16(2): 23-26, 1984.

石川清司, 源河圭一郎, 国吉真行, 前里和夫, 城間 寛, 宮城 茂, 上里忠興: 肝のポリープ様脱出を呈した右横隔膜ヘルニアの1例, 国療沖縄病院医学雑誌, 6(1): 7-9, 1985.

下地克佳, 久場睦夫, 宮城 茂, 仲宗根恵俊, 大城盛夫, 大湾朝忠, 城間 寛, 前里和夫, 石川清司, 国吉真行, 源河圭一郎, 宮国 毅, 嘉数光一郎: 縦隔腫瘍および縦隔リンパ節腫脹と鑑別を要した血管輪の1例, 国療沖縄病院医学雑誌, 6(1): 57-65, 1985.

人見滋樹: 部門の関連施設の胸部外科の水準と将来性, 京大胸部研紀要, 18(1,2): 6-8, 1985.

倉澤卓也, 村山尚子, 西山秀樹, 久世文幸, 渡部 智, 樋口加代子, 竹田俊男, 中島道郎: 肺 Pseudolymphoma の1例と本邦報告例の検討, 京大結研紀要, 18(1,2): 1985.

#### 〔胸部外科学部門主催講演会〕

Gazdar Adi F.M.D. (Head, Human Tumor Biology Section, National Cancer Institute, U.S.A.): Biology of Lung Cancer (60.11.8).

## 病 理 学 部 門

### 1. 老化・結合組織研究グループ

#### 〔学 会 発 表〕

樋口佳代子, 宇谷厚志, 冨田由美子, 松村敦子, 樋口京一, 河野篤子, 松下 睦, 米津智徳, 梅沢眞樹子, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XVII. 皮膚コラーゲン及び酸性ムコ多糖の加齢変化について(2), 第74回日本病理学会総会 (昭60.4).

黒住眞史, 松下隆寿, 樋口京一, 樋口佳代子, 河野篤子, 米津智徳, 梅沢眞樹子, 竹下修史, 細川昌則, 竹田俊男, 松下 睦, 宇谷厚志, 吉岡秀幸: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XVIII. 自然発症腫瘍について(1), 第74回日本病理学会総会 (昭60.4).

杉山 博, 秋山治彦, 秋口一郎, 松下 睦, 米津智徳, 樋口京一, 竹下修史, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XIX. 中枢神経系の形態学的変化(1), 第74回日本病理学会総会 (昭60.4).

樋口京一, 米津智徳, 小岸久美子, 松村敦子, 竹下修史, 樋口佳代子, 河野篤子, 松下 睦, 岩井昭一, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XX. マウス血清中老化アミロイド共通抗原性物質 (apo SAS<sub>SAM</sub>) の生化学的特性, 第74回日本病理学会総会 (昭60.4).

松下 睦, 笠井隆一, 奥村秀雄, 山村隆夫, 細川昌則, 樋口京一, 樋口佳代子, 河野篤子, 米津智徳, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) に関する実験的研究 XXI. 骨粗鬆症を自然発症する SAM-P/6 系の開発, 第74回日本病理学会 (昭60.4).

樋口京一, 米津智徳, 小岸久美子, 松村敦子, 竹下修史, 樋口佳代子, 河野篤子, 細川昌則, 竹田俊男, 松下睦: マウス血清中老化アミロイド共通抗原性物質 (apo SAS<sub>SAM</sub>), 第17回日本結合組織学会総会 (昭60.7).

黒住眞史, 松下隆寿, 樋口京一, 樋口佳代子, 河野篤子, 米津智徳, 梅沢眞樹子, 松下 睦, 宇谷厚志, 吉岡秀幸, 秋山治彦, 花田敬吾, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) にみる自然発症について, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

松下 睦, 坪山直生, 笠井隆一, 奥村秀雄, 山室隆夫, 樋口京一, 樋口佳代子, 河野篤子, 米津智徳, 梅沢眞樹子, 内木宏延, 細川昌則, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) にみる自然発症骨粗鬆症系 SAM-R/3 及び SAM-P/6 の諸特性, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

秋山治彦, 杉山 博, 川又敏男, 中村慎一, 秋口一郎, 亀山正邦, 松下 睦, 樋口京一, 竹下修史, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の中枢神経系における形態学的変化について, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

細川友秀, 細野正道, 青池 晟, 川井啓市, 河野篤子, 米津智徳, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の *in vitro* 免疫応答能 I. 胸腺依存性, 非依存性抗原に対する抗体産生能, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

細野正道, 細川友秀, 河野篤子, 米津智徳, 青池 晟, 川井啓市, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の *in vitro* 免疫応答能 II. 細胞性免疫応答能に関する研究, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

光岡明夫, 伊藤元彦, 細野正道, 米津智徳, 河野篤子, 馬場満男, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の免疫応答能: *in vivo* での解析, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

米津智徳, 樋口京一, 綱沢 進, 崎山文夫, 高木成幸, 小岸久美子, 松村敦子, 竹下修史, 細川昌則, 竹田俊男: マウス老化アミロイド蛋白 (AS<sub>SAM</sub>) 及び血清中 AS<sub>SAM</sub> 共通抗原性物質 (apo SAS<sub>SAM</sub>) の生化学的, 免疫化学的特性について, 日本基礎老化学会第9回大会 (昭60.9).

### 〔誌 上 発 表〕

Yamagishi, H., Kunisada, T. and Takeda, T.: Amplification of extrachromosomal small circular DNAs in a murine model of accelerated senescence, *Mech. Ageing Dev.* 29: 101-103 (1985).

Kohno, A., Yonezu, T., Matsushita, M., Irino, M., Higuchi, K., Higuchi, K., Takeshita, S., Hosokawa, M. and Takeda, T.: Chronic food restriction modulates the advance of senescence in Senescence Accelerated Mouse (SAM), *J. Nutrition* 115: 1259-1266 (1985).

Takeshita, S., Higuchi, K., Hosokawa, M., Matsumura, A., Higuchi, K., Kohno, A., Matsushita, M., Yonezu, T. and Takeda, T.: Morphological demonstration of cytoplasmic AS<sub>SAM</sub> related antigenic substance (CAS<sub>SAM</sub>) by an immunoperoxidase technique, *Am. J. Pathol.* 121: 455-465 (1985).

松下 睦, 一坂 章, 笠井隆一, 奥村秀雄, 山室隆夫, 細川昌則, 樋口京一, 樋口佳代子, 本間篤子, 米津智徳, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) における骨の加齢変化, *整形外科基礎科学* 12: 172-175 (1985).

清水克時, 山室隆夫, 竹田俊男: 関節とアミロイド沈着, 特集—関節と内分泌代謝病, 関節外科 4: 1031-1036 (1985).

## 2. 肺表面活性物質研究グループ

### 〔学 会 発 表〕

鈴木康弘, 藤田葉子, 中井栄一, 大川欣一: 肺表面活性物質アポ蛋白による脂質形態の修飾. 第74回日本病理学会総会 (60年4月).

大川欣一, 鈴木康弘: オキシダーゼ作用にもとづくカタラーゼの新しい細胞化学的証明法に関する研究(3).  $MnCl_2$  及び反応液の pH の影響, 同上.

大川欣一, 鈴木康弘: オキシダーゼ作用にもとづくカタラーゼの新しい細胞化学的証明法に関する研究(4). 電子顕微鏡レベルで, 同上.

大川欣一, 鈴木康弘: ナヂ反応に関する研究 (第7報). M-ナヂ反応の電子顕微鏡による研究(1). ——ラット好中球の場合——, 同上.

小岸久美子, 藤田葉子, 鈴木康弘, 喜納辰夫, 西川伸一: 豚肺表面活性物質15,000ダルトンアポ蛋白に対するモノクローナル抗体の作成, 第21回日本界面医学会 (60年11月).

藤田葉子, 小岸久美子, 鈴木康弘, 中井栄一: 豚肺表面活性物質アポ蛋白に対するモノクローナル抗体産生ハイブリドーマ移植マウスの肺所見, 同上.

### 〔誌 上 発 表〕

H. Hattori, Y. Suzuki, T. Fujimiya, K. Yamamoto, & M. Ueda: Aacute effects of carbon monoxide and cyanide on hepatic mitochondrial function. *Zeitschrift für Rechtsmedizin*. 96: 1-10, 1986.

Y. Suzuki: The role of apoproteins and phosphatidylglycerol in artificial surfactant. In *Selected Topics in Perinatal Medicine* pp. 211-217. eds. E. V. Cosmi, & G. C. di Renzo CIC Edizioni International-Roma 1986.

## 3. 臨床病理

### 〔誌 上 発 表〕

倉澤卓也, 村山尚子, 西山秀樹, 久世文幸, 渡辺 智, 樋口加代子, 竹田俊男, 中島道郎: 肺 Pseudolymphoma の1例と本邦報告例の検討, 京大胸部研紀要. 18: 60-71 (1985).

## 細胞学化部門

### 〔学 会 発 表〕

大川欣一, 鈴木康弘: オキシダーゼ作用にもとづくカタラーゼの新しい細胞化学的証明法に関する研究(3).  $MnCl_2$  及び反応液の pH の影響. 第74回日本病理学会総会.

大川欣一, 鈴木康弘: オキシダーゼ作用にもとづくカタラーゼの新しい細胞化学的証明法に関する研究(4): 電子顕微鏡レベルで. 第74回日本病理学会総会.

大川欣一, 鈴木康弘: ナヂ反応に関する研究 (第7報): M-ナヂ反応の電子顕微鏡による研究(1)——ラット好中球の場合. 第74回日本病理学会総会.

Yasuhiro Suzuki, Yoko Fujita, Ei-ichi Nakai and Kin-ichi Owkawa: Modification of lipid Structures by surfactant protein 第74回日本病理学会総会.

大川欣一, 鈴木康弘, 稲本康彦: 白血球オキシダーゼの新しい方法, 第27回日本臨床血液学会総会.



波内俊三, 熊谷俊一, 佐野 統, 井村裕夫, 内山 卓, 淀井淳司, 岡本祐之, 前田道之: 全身性エリテマトーデス (SLE) 患者末梢血より樹立されたレトロウイルス産生株, 第44回日本癌学会総会, 昭和60年10月, 東京.

前田道之, 清水 章, 生田宏一, 岡本祐之, 柏原万里, 内山 卓, 本庶 佑, 淀井淳司: 成人T細胞白血病 (ATL) に由来するT細胞株の起源: ATL の段階的進展について, 同上.

岡田雅文・笠原 忠, 勅使河原計介, 檜村真弓, 前田道之, Matsushima Kouji, 淀井淳司: ADF (ATL 由来因子) はマクロファージ由来インターロイキン1とは異ったコストимуレーターである, 同上.

高木邦明, 市川康夫: マウス骨髓性白血病細胞 (M1 株) の増殖と分化 XXVIII. 細胞分化における 38 K 蛋白質の細胞骨格成分としての役割. 第44回日本癌学会総会. 昭和60年10月, 東京.

高木邦明, 市川康夫: 細胞運動及び貪食能における 38 K 蛋白質の役割. 第38回日本細胞生物学会大会. 昭和60年11月, 広島.

多森繁喜, 堀 利行, 馬止 裕, 通堂 満, 内山 卓, 内野治人, 淀井淳司, 前田道之, 服部俊夫: ATL 細胞における PHA 刺激による活性化初期反応 (細胞内  $Ca^{++}$  の上昇) の異常, 同上.

佐野 統, 熊谷俊一, 前田道之, 淀井淳司, 内山 卓, 服部俊夫, 高月 清, 井村裕夫: SLE 患者血清中の HTLV-I 感染T細胞株細胞質抗体の検討第15回日本免疫学会総会, 昭和60年12月, 福岡市.

岡田雅文, 多賀谷温, 檜村真弓, 笠原 忠, 満屋裕明, 中村修二, 下遠野忠邦, 前田道之, 内山 卓, 淀井淳司: HTLV-I, II 感染と ADF (ATL 由来因子) 産生: インターロイキン2レセプター (IL-2-R) 発現の増強と Comitogenic 活性, 同上.

谷口良久, 二階堂敏雄, 岡田雅文, 前田道之, 本庶 佑, 淀井淳司: ADF, IL-2 による IL-2 レセプター遺伝子発現の誘導, 同上.

前田道之: T細胞受容体をマーカーとしたクローン解析, 第5回血液シンポジウム, 昭和60年11月, 大阪.

#### 〔誌 上 発 表〕

C. Shimoda, A. Hirota, M. Kishida, T. Hashida and K. Tanaka: Characterization of meiosis-deficient mutants by electron microscopy and mapping of four essential genes in the fission yeast *Schizosaccharomyces pombe*. *Mol. Gen. Genet.* 200: 252-257 (1985).

K. Nagata, M. J. Humphries, K. Olden and K. M. Yamada: Collagen can modulate cell interactions with fibronectin. *J. Cell Biol.* 101: 386-394 (1985).

J. Yodoi, M. Okada, Y. Tagaya, K. Teshigawara, K. Fukui, N. Ishida, K. Ikuta, M. Maeda, T. Honjo H. Osawa, T. Diamanstein, M. Tateno and T. Yoshiki: Rat lymphoid cell lines producing human T cell leukemia virus, II. Constitutive expression of rat interleukin 2 receptor. *J. Exp. Med.* 161: 924-934 (1985).

T. Uchiyama, T. Hori, M. Tsudo, Y. Wano, H. Umadome, S. Tamori, J. Yodoi, M. Maeda, H. Sawami and H. Uchino: Interleukin-2 receptor (Tac antigen) expressed on adult T cell leukemia cells. *J. Clin. Invest.* 76: 446-453 (1985).

M. Okada, M. Maeda, Y. Tagaya, Y. Taniguchi, K. Teshigawara, T. Yoshiki, T. Diamanstein, K. A. Smith, T. Uchiyama, T. Honjo and J. Yodoi: TCGF (IL-2)-receptor inducing factor(s). II. Possible role of ATL-derived factor(ADF) on constitutive IL 2 receptor expression of HTLV-I(+) T cell lines. *J. Immunol.* 135: 3995-4003 (1985).

M. Maeda, A. Shimizu, K. Ikuta, H. Okamoto, M. Kashihara, T. Uchiyama, T. Honjo and J. Yodoi: Origin of human T-lymphotrophic virus-I positive T cell lines in adult T cell leukemia. Analysis of T cell receptor gene rearrangement. *J. Exp. Med.* 162: 2169-2174 (1985).

前田道之, 清水 章, 生田宏一, 岡本祐之, 柏原万里, 内山 卓, 本庶 佑, 淀井淳司: 成人T細胞白血病 (ATL) に由来するT細胞株の起源 — T細胞抗原受容体遺伝子を用いたクローン解析 —. *Medical Immunology* 10: 673-679 (1985).

## 細菌血清学部門

### 〔学会発表〕

- 桂 義元, 西川伸一, 雨貝 孝: T系幹細胞の検出と分離. 第47回日本血液学会総会, 昭60年4月, 東京.
- 西川伸一, 桂 義元, 雨貝 孝: B系細胞は, CFU-S から分化しない. 第47回日本血液学会総会, 昭60年4月, 東京.
- 細野正道, 細川友秀, 河野篤子, 米津智徳, 青池 晟, 川井啓市, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の *in vitro* 免疫応答能. II. 細胞性免疫応答能に関する研究. 第9回日本基礎老化学会, 昭60年9月, 東京.
- 細川友秀, 細野正道, 青池 晟, 川井啓市, 河野篤子, 米津智徳, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の *in vitro* 免疫応答能. I. 胸腺依存性, 非依存性抗原に対する抗体産性能. 第9回日本基礎老化学会, 昭60年9月, 東京.
- 光岡明夫, 伊藤元彦, 細野正道, 米津智徳, 河野篤子, 馬場満男, 竹田俊男: 老化促進モデルマウス (SAM) の免疫応答能: *in vivo* での解析. 第9回日本基礎老化学会, 昭60年9月, 東京.
- 西川伸一: 幹細胞からB細胞へ. 幹細胞研究会, 昭60年10月, 大阪.
- 桂 義元, 喜納辰夫, 高沖悠子, 雨貝 孝, 佐渡敏彦, 西川伸一: T細胞系幹細胞の限界希釈法による定量. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.
- 細野正道, 喜納辰夫, 桂 義元: MHC-クラスII反応性胸腺細胞における新生仔免疫寛容誘導: 同系および異系 H-2 抗原による寛容誘導の比較. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.
- 西川伸一, 喜納辰夫, 雨貝 孝, 桂 義元: B細胞初期分化の研究: 抗 IgM アロタイプ抗体を用いた donor B細胞の追跡. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.
- 喜納辰夫, 西川伸一, 雨貝 孝, 桂 義元: T細胞系幹細胞が濃縮された細胞群の分離とその証明. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.
- 雨貝 孝, 喜納辰夫, 西川伸一, 高沖悠子, 今西二郎, 桂 義元: 単一幹細胞に由来する胸腺細胞の機能分化. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.
- 鏑田武志, 西川伸一, 桂 義元, 熊谷俊一, 井村裕夫: 正常マウスにおける DNA 反応性B細胞レパートアーの検討. 第15回日本免疫学会総会, 昭60年12月, 福岡.

### 〔誌上発表〕

- 西川伸一: デキスターカルチャー. 細胞工学, 14(7), 590-595, 1985.
- 西川伸一: Bリンパ球の発生と分化. 免疫薬理, 3(4), 369-373, 1985.
- Ido, M., Uno, K., Inaba, K., Komatsubara, S., Hosono, M. and Muramatsu, S.: Ontogeny of 'macrophage' function. V. Differential effect of prostaglandin E<sub>2</sub> on the activation of newborn and adult mouse macrophages. Dev. Comp. Immunol., 9, 719-725, 1985.
- Nishikawa, S., Kina, T., Amagai, T. and Katsura, Y.: Early B cell precursors in long-term bone marrow culture: selective development in the bone marrow of irradiated recipients. Eur. J. Immunol., 15, 696-701, 1985.
- Katsura, Y., Amagai, T., Kina, T., Sado, T. and Nishikawa, S.: Two subpopulations of stem cells for T cell lineage. J. Immunol., 135, 3021-3027, 1985.

## 臨床肺生理学

### 〔学会・研究会〕

- 久野健志: 気道及び肺胸郭インピーダンスの周波数依存性: 第25回日本胸部疾患学会総会, 会長指定講演,

1985. 4.

佐藤公彦, 佐川弥之助: エンドトキシン投与による赤血球 GSH<sub>px</sub>, SOD の動態とメチールプレドニゾロンの効果について, 第25回日本胸部疾患学会総会, 1985. 4.

平井正志, 大井元晴, 栗山隆信, 鎌苅邦彦, 奥井克治, 越久仁敬, 久野健志, 佐川弥之助: Respiratory Inductive Plethysmography の較正法の検討, 同上, 1985. 4.

大井元晴, 栗山隆信, 平井正志, 山岡新八, 堀川禎夫, 岩田岳士, 水谷 哲, 久野健志, 佐川弥之助: 自発過換気後の低酸素血症, 同上, 1985. 4.

越久仁敬, 久野健志, 加藤幹夫, 佐川弥之助: 単一呼吸法による混合静脈血炭酸ガス分圧測定のコピューターシミュレーションとその臨床評価, 同上, 1985. 4.

Yuichi Ishibe, Takafumi Izumi, Takashi Umeda, Masato Nakamura, Keita Suekane: Effect of halothare on hypoxic pulmonary Vasoconstriction in dogs, Fourth Asean congress of Anesthesiologists, 1985, 4.

Masato Nakamura, Takafumi Izumi, Takashi Umeda, Yuichi Ishibe, Keita Suekane: Hemodynamic changes following the rapid re-expansion of the collapsed lung in dogs, Fourth Asean Congress of Anesthesiologists, 1985, 5. Jakarta INDONESIA

周防正史, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: 胸腔内甲状腺腫の1例, 第137回近畿外科学会, 1985. 4.

市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: Latamoxef (LMOX) の気管支内への移行について, 第33回日本化学療法学会総会, 1985. 5.

西川博文, 安田隆三郎, 他: 大動脈瘤(解離性大動脈瘤, 腹部大動脈瘤)の診断と治療, 第19回滋賀県循環器疾患研究会, 1985. 5.

渡田正二, 吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎, 他: 巨大左房を伴う僧帽弁疾患の経験, 同上, 1985. 5.

川上賢三, 平林正孝, 三嶋理晃, 中川正清, 久野健志, 佐川弥之助, 武田善樹: 嚢胞内貯留液中 CEA 高値を示した良性縦隔奇形腫の一例, 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会, 1985. 6.

日置辰一郎, 加藤幹夫, 高田範男, 他: 原発型 M. xenopi 症の1例, 第55回日本結核病学会, 第25回日本胸部疾患学会近畿地方会, 1985. 6.

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 中耳結核により発見された肺結核症の1例, 同上, 1985. 6.

白川太郎, 日下幸則, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 超硬合金喘息患者に対する誘発テストの臨床的検討(I), 同上, 1985. 6.

田中瑩子, 水谷 哲, 鍵岡 均, 室本 仁: 肺動静脈瘻の1症例, 同上, 1985. 6.

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 他: 生コーヒー豆粉塵による職業性喘息の1症例, 同上, 1985. 6.

藤村直樹, 白川太郎, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 心嚢気腫を伴った自然気胸の1症例, 同上, 1985. 6.

白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎: 高槻赤十字病院における胸水診断に関する検討, 同上, 1985. 6.

藤村直樹, 白川太郎, 加藤幹夫, 日置辰一郎: アルミニウム含有溶接フラックス取扱者にみられたびまん性間質性肺炎の1症例, 同上, 1985. 6.

高橋睦長, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 周防正史: ウェステルマン肺吸虫症の一夫婦発生例, 同上, 1985. 6.

大井元晴, 佐川弥之助: 自発過換気後の低酸素血症, 箱根シンポジウム, 1985. 6.

吉田 仁, 安田隆三郎, 李 泰興, 島田一恵, 福永隆文, 他: 対側に巨大ブラを伴った自然気胸の一手術治験例, 第23回滋賀呼吸器疾患談話会, 1985. 6.

吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎, 他: 急性心筋梗塞後心室自由壁破裂で外科的に救命し得た1例, 第28回日本胸部外科学会関西地方会, 1985. 6.

田中瑩子, 室本 仁, その他: 生前に診断しえた腹膜原発 Mesothelioma の1例, 第116回日本内科学会近畿地方会, 1985. 6.

福田正悟, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 右多発性ブラ内肺腫瘍を疑わせた肺アスペルギールス症の1例, 大津日赤院内発表会, 1985. 6.

三嶋理晃, 川上賢三, 平林正孝, 中川正清, 久野健志, 佐川弥之助: ボディーボックスを用いたランダム波オシレーション法による呼吸インピーダンスの解析——システムの妥当性を中心に——, 第5回京阪神肺機能研究会, 1985. 6.

渡田正二, 吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎: 術後管理に難渋した3症例の経験, 第11回近畿心臓外科研究会, 1985. 7.

陳 和夫: 肺癌症例における CA 19-9 の検討, 第21回京大癌研究会, 1985. 7.

佐藤公彦: 肺小細胞癌における NSE 測定の意義について, 同上, 1985. 7.

室本 仁, 田中瑩子, 鍵岡 均, 高山康夫, 水谷 哲: 胸腺腫(重症筋力症)を合併した肺腺癌の1例, 第43回日本肺癌学会関西支部会, 1985. 7.

川上賢三, 平林正孝, 三嶋理晃, 東谷康治, 中川正清, 久野健志, 佐川弥之助: ランダム波オシレーション法による呼吸インピーダンスの解析——システムの妥当性の検討——, 第31回閉塞性肺疾患研究会, 1985. 8.

山岡新八, 平井正志, 栗山隆信, 大井元晴, 久野健志, 佐川弥之助, 他: COPD 患者の運動負荷による循環動態の検討, 同上, 1985. 8.

久野健志: 換気力学, 第25回臨床肺機能講習会, 1985. 8.

加藤幹夫: 酸塩基平衡, 第25回臨床肺機能講習会, 1985. 8.

大井元晴: 睡眠時呼吸異常, 第25回臨床肺機能講習会, 1985. 8.

加藤幹夫: 術前肺機能, 第25回臨床肺機能講習会課外講義, 1985. 8.

渡田正二, 吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎, 他: 低肺機能を伴った重症僧帽弁狭窄症の2手術経験例, 第21回京滋奈良循環器懇話会, 1985. 8.

Hang-Hisao Hsu, Kimihiko Sato and Yanosuke Sagawa: Ozone (O<sub>3</sub>) exposed mice lung as observed by freeze-fracturing, XV Congress of World Chest Disease, 1985. 8.

室本 仁, 久保勝彦, 田中瑩子, 陳 和夫: Significance of Carbohydrate Antigen 19-9 (CA 19-9) as a tumor marker for lung Carcinomas, 第4回 World Conference on Lung Cancer, 1985. 8.

水谷 哲, その他: ネフローゼ症候群を伴った原発性胆汁性肝硬変症, 第44回日本消化器病学会近畿地方会, 1985. 8.

加藤幹夫: 気道確保, 第2回呼吸療法研修会, 主催日本胸部外科学会, 日本胸部疾患学会, 日本麻酔学会, 1985. 8.

石部裕一, 末包慶太, 中村正人, 泉 貴文, 榎田高士: 低酸素性肺血管収縮に対するハロセンの影響, 第31回日本麻酔学会関西地方会, 1985. 9.

中村正人, 末包慶太, 石部裕一, 泉 貴文, 榎田高士: ニカルジピンとニフェジピンの低酸素性肺血管収縮に対する影響, 同上, 1985. 9.

水本明良, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: 当院呼吸器外科における自然気胸症例の検討, 第382回京都(京滋)外科集談会, 1985. 9.

鍵岡 均, 他: 著明な好酸球増多を伴った肺癌の1例, 第32回大阪内科懇話会, 1986. 9.

陳 和夫, 大井元晴, 平井正志, 栗山隆信, 久野健志, 佐川弥之助: 自発過換気後の低酸素血症と換気応答の関連, 第6回呼吸調節研究会, 1985. 10.

佐川弥之助: 呼吸不全と在宅酸素療法, 京都府医師会内科医学講演, 1985. 11.

栗山隆信, 大井元晴, 平井正志, 陳 和夫, 久野健志, 佐川弥之助: Medroxyprogesterone acetate (MPA) 投与により症状の改善をみた中枢性肺泡低換気症候群(CAH)の一例, 第26回日本胸部疾患学会近畿地方会, 1985. 11.

山岡新八, 水谷 哲, 久野健志, 佐川弥之助: 左右肺に異なる肺泡洗浄を実施し, 効果を比較した肺泡蛋白症の1例, 同上, 1985. 11.

川添隆司, 白川太郎, 藤村直樹, 高田範男, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 他: びまん性肺出血の1症例, 同上, 1985. 11.

白川太郎, 川添隆司, 藤村直樹, 加藤幹夫, 日置辰一郎, 他: 超硬合金喘息患者に於ける誘発テストの臨床的

検討(Ⅱ), 同上, 1985. 11.

室本 仁, 久保勝彦, 陳 和夫: 肺癌患者における Carbohydrate Antigen 19-9 (CA 19-9) の臨床的検討, 同上, 1985. 11.

竹内 亮, 岩田岳士, 越久仁敬, 山岡新八, 李 勝弘, 佐藤公彦, 久野健志, 佐川弥之助: 肺芽細胞腫の1症例, 同上, 1985. 11.

水本明良, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: Castleman Lymphoma の1手術例, 同上, 1985. 11.

陳 和夫, 大井元晴, 栗山隆信, 平井正志, 山岡新八, 久野健志, 佐川弥之助: 自発的過換気後の無呼吸及び低酸素血症に関する検討, 第22回日本臨床生理学会総会, 1985. 11.

吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎: 先天性気管支閉鎖症の1手術治験例, 第138回近畿外科学会, 1985. 11.

水本明良, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: 自然気胸に対する胸腔内持続吸引中の低酸素血症について, 第138回近畿外科学会, 1985. 11.

加藤幹夫: 酸塩基平衡——生体内の調節を中心として——第3回実践肺機能講座, 1985. 11.

加藤幹夫, 川添隆司, 白川太郎, 他: 高槻赤十字病院における呼吸リハビリテーションの現状, 第21回日本赤十字社医学総会, 1985. 11.

市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志: 巨大ブラの手術と呼吸機能の改善, 第21回赤十字社医学総会, 1985. 11.

安田隆三郎, 李 泰興, 吉田 仁, 他: 腹部大動脈瘤手術症例の検討, 滋賀県外科医会, 1985. 11.

渡田正二, 吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎: Hancock 弁置換患者の再弁置換術の一例, 第20回滋賀県循環器疾患研究会, 1985. 11.

吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎: 急性心筋梗塞後左心室自由壁破裂の1手術治験例について, 第2回滋賀救急医療研究会, 1985. 11.

山岡新八: RI による肺性心の診断, 第8回京都大学結核胸部疾患研究所臨床肺生理学部門研究会, 1985. 12.

川上賢三, 三嶋理晃, 東谷康治, 平林正孝, 中川正清, 久野健志: 夜間睡眠時の呼吸変動についての考察——第1報——, 同上, 1985. 12.

安井浩明, 高井克治: インターフェロンの作用機構: ヒトガンマインターフェロンによるインドールアミン酸素添加酵素の誘導とその作用, 同上, 1985. 12.

水谷 哲, 鍵岡 均, 田中瑩子, 藤川 潤, 久保勝彦, 室本 仁: 薬剤誘起性肺炎を疑った肺結核の一例, 同上, 1985. 12.

平林正孝, 川上賢三, 三嶋理晃, 中川正清, 久野健志: Young adult lymphoblastic lymphoma の2例, 同上, 1985. 12.

鍵岡 朗, 奥井克治, 稲葉宜雄, 坪井裕志, 弘野慶次郎, 市谷勉雄: 当院における夏型過敏性肺臓炎について, 同上, 1985. 12.

佐野 求, 越久仁敬: 興味ある経過を示した気管支及びリンパ節結核の一例, 同上, 1985. 12.

大成功一: 喘息教室の経験, 同上, 1985. 12.

中村正人: ニフェジピンの低酸素性肺血管収縮反応に及ぼす影響について, 同上, 1985. 12.

川上賢三, 平林正孝, 三嶋理晃, 中川正清, 久野健志: 幼小时以来残存せる気管支内異物により左全摘術を施行した一例, 同上, 1985. 12.

吉田 仁, 李 泰興, 安田隆三郎, 島田一恵, 福永隆文: 先天性気管支閉塞症の1手術例, 1985. 12.

福田正悟, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 肺癌を疑い切除したブラ内アスペルギルス症の一治験例, 同上, 1985. 12.

島田一恵, 福永隆文, 吉田 仁, 渡田正二, 李 泰興, 安田隆三郎: Cis-Platinum の著効した扁平上皮癌の一例, 1985. 12.

山口 力: 側彎症の肺機能, 同上, 1985. 12.

加藤幹夫: 呼吸調節, 第3回実践肺機能講座, 1985. 12.

平井正志, 大井元晴, 栗山隆信, 陳 和夫, 久野健志, 佐川弥之助: 睡眠時における経皮  $PCO_2$  の変化, 厚生省特定疾患「呼吸不全」調査研究班, 1986. 1.

弘野慶次郎: シンポジウム「肺癌を疑うレントゲン像」, 大阪から肺癌をなくす会, 1986. 1.

川上賢三, 平林正孝, 三嶋理晃, 東谷康治, 中川正清, 久野健志, 佐川弥之助: ランダム波オシレーションによる COPD における気道および肺胸郭インピーダンスの周波数特性の解析, 第32回閉塞性肺疾患研究会, 1986. 1.

安田隆三郎, 李 泰興, 吉田 仁, 他: I 型解離性大動脈瘤手術症例の検討, 第16回日本心臓血管外科学会, 1986. 2.

坪井裕志, 市谷勉雄, 弘野慶次郎, 佐々木正道: 気管支 atypical carcinoid の1例, 第44回日本肺癌学会関西地方会, 1986. 2.

川上賢三, 三嶋理晃, 平林正孝, 中川正清, 久野健志: 胸膜炎と鑑別困難であった嚢胞を伴った縦隔奇形腫の1例, 第13回兵庫県立塚口病院集団会, 1965. 2.

平林正孝, 川上賢三, 三嶋理晃, 中川正清, 陳 和夫, 安井浩明, 久野健志: 気管支動脈内制癌剤注入法 (BAI) 施行症例の検討, 第42回日本肺癌学会関西支部会, 1985. 2.

渡田正二, 吉田 仁, 西川忠男, 安田隆三郎: 心筋梗塞を合併した解離性大動脈瘤の一緊急手術例, 第3回滋賀救急医療研究会, 1986. 3.

福永隆文, 島田一恵, 安田隆三郎: 胸郭変形による呼吸不全の二症例. 第25回滋賀呼吸器疾患談話会, 1986, 3.

福田正悟, 鎌苅邦彦, 土肥佳郎: 舌状部多発性ブラを伴った左下葉形成不全の1例, 同上, 1986. 3.

#### 〔退官記念講演〕

佐川弥之助: 呼吸不全とともに30年, 1986. 3. 8.

#### 〔臨床肺生理学部門主催講演会〕

James C. Hogg, M. D.: Professor of Pathology, U. B. C. Director, Pulmonary Research Laboratory, Canada : Leukocyte Kinetics in ARDS, 1985. 4. 15.

R. M. Cherniack, M. D.: Professor & Chairman Department of Medicine University of Colorado, U. S. A.: Pathophysiology and Management of Asthma, 1985. 5. 21.

N. R. Anthonisen, M. D.: Head of Section of Respiratory Diseases The University of Manitoba, Canada : Ventilatory response to hypoxia, 1985. 5. 28.

John Victor Weil, M. D.: Professor of Medicine, Director, Cardiovascular Pulmonary Research Laboratory, University of Colorado Health Sciences Center U. S. A.: Ventilatory Control in Normal Humans During Sleep, 1985. 10. 15.

#### 〔誌 上 発 表〕

佐川弥之助: 公害病認定四疾病の合併症の問題点, 環境庁大気汚染公害病生理研究班.

佐川弥之助: 合併症管理マニュアル・呼吸器系・3 肺線維症, 消化器外科, 8巻6号, 1985.

久野健志, 佐川弥之助, 三嶋理晃, 川上賢三, 平林正孝, 中川正清: 慢性呼吸不全患者の気道及び肺胸郭インピーダンスの周波数特性の検討, 厚生省特定疾患「呼吸不全」調査研究班 (昭和59年度研究報告), 152~157.

平井正志, 大井元晴, 栗山隆信, 鎌苅邦彦, 堀川禎夫, 岩田岳士, 久野健志, 佐川弥之助: 鼻 CPAP により, 睡眠時呼吸異常の改善をみた閉塞型無呼吸の2例, 厚生省特定疾患「呼吸不全」調査研究班昭和59年度業績集.

大井元晴, 平井正志, 栗山隆信, 奥井克治, 越久仁敬, 水谷 哲, 久野健志, 佐川弥之助: Cuirass Respirator の試作と睡眠時呼吸異常に対する効果, 厚生省特定疾患「呼吸不全」調査研究班昭和59年度業績集264~268, 1985.

佐藤公彦: 混合静脈血ガスの非観血的測定法に関する研究 (58570342), 昭和59年度科学研究費補助金研究成果報告書 (一般研究C).

大井元晴, 平井正志, 加藤幹夫, 久野健志, 佐川弥之助: 慢性呼吸不全の睡眠時呼吸異常: 日本胸部疾患学会

誌, 23(3): 296~301, 1985.

石部裕一, 末包慶太, 中村正人, 泉 貴文, 榎田高士, 佐川弥之助, 大井元晴, 佐藤公彦, 麻酔: 35(3): 373~378, 1986.

弘野慶次郎, 市谷勉雄, 坪井裕志: 真性赤血球増加症合併肺癌の手術経験, 外科診療, 27: 88, 1985.

Kimihiko Sato: An Protective Mechanism against Hyperoxia induced Lipid Peroxidation in the Lung of Vitamin E-deficient Rats. 京都大学結核胸部疾患研究所紀要, 第18巻第1・2号 (15~21).

Michiaki Mishima: Studies on the Peripheral Pulmonary Circulation Time in COPD, 同誌, 第18巻第1・2号 (1-4).

島田一恵: 低酸素負荷及び肺血管床減少の血管外肺水分量に及ぼす影響, 同誌, 第18巻第1・2号 (42~51).

川上賢三, 平林正孝, 三嶋理晃, 中川正清, 久野健志, 佐川弥之助, 武田善樹: 嚢胞内貯留液中 CEA 高値を示した縦隔奇形腫の1例, 同誌, 第18巻第1・2号 (52~58).

越久仁敬, 久野健志, 佐藤公彦, 加藤幹夫, 佐川弥之助: 混合静脈血ガスの非観血的測定法に関する研究, 同誌, 第18巻第1・2号 (22~26).

越久仁敬, 大井元晴, 久野健志: 混合静脈血二酸化炭素分圧 ( $P_vCO_2$ ), 呼吸, 4(1): 50~54, 1985.

鎌苅邦彦, 平井正志, 大井元晴, 久野健志, 佐川弥之助, 北市正則, 金地研二, 大熊 稔, 戸田憲一: 肺線維症を伴った Hermansky-Pudlak 症候群の1例, 呼吸, 4(3): 339~343, 1985.

栗山隆信, 大井元晴, 平井正志, 久野健志: アニオンギャップ, その化学と病態, 呼吸, 4(4): 435~440, 1985.

加藤幹夫: in vitro 曲線と in vivo 曲線, 呼吸, 4(6): 692~701, 1985.

久野健志: 気道クリーニング, 呼吸, 4(7): 813~820, 1985.

平井正志, 大井元晴, 久野健志: 低酸素負荷時の換気と気流阻止圧 ( $P_{0.1}$ ) に及ぼす姿勢の影響, 呼吸, 4(9): 1116~1122, 1985.

久野健志: 肺野における血流遅延の測定法に関する研究, 呼吸, 4(10): 1273~1282, 1985.

陳 和夫, 藤川 潤, 高山康夫, 久保勝彦, 室本 仁, 竹田秋郎, 倉田昌彦, 佐藤友信, 久野健志, 佐川弥之助: 肺癌患者における carbohydrate antigen 19-9 (CA 19-9) 値の臨床的検討, 呼吸, 4(11): 1985.

栗山隆信, 内田英一, 山本隆一, 関 庚燁, 大橋 仁, 田本敦子, 茂在敏司, 森本英夫, 武内敦郎, 繁田正子, 大澤 旭, 久保田憲彦: 先天性気管支閉鎖症——特異な経過を呈した2手術例と本邦報告29例の文献的考察——, 呼吸, 5(2): 212~220, 1986.

石部裕一, 末包慶太, 榎田高士, 中村正人, 泉 貴文, 佐川弥之助, 大井元晴, 佐藤公彦: 熱とナトリウムを用いる二重指示薬希釈法の基礎的検討, 呼吸, 5(3): 337~342, 1986.

市谷勉雄, 弘野慶次郎, 坪井裕志, 他: 巨大ブラの手術後に認められた呼吸機能改善について, 呼吸, 5: 99, 1986.

佐川弥之助, 大井元晴, 久野健志, 土肥佳郎, 藤田正憲, 室本 仁, 矢野博正, 他: 呼吸器疾患における呼吸困難に対するノイキノンの臨床的効果の検討, 日本胸部臨床, 44(9): 774~782, 1985.

平林正孝, 川上賢三, 三嶋理晃, 中川正清, 久野健志, 武田善樹: 特発性肺血鉄症の1例——成人発症例の報告並びに周辺疾患との鑑別に関する文献的考察——日本胸部臨床, 44(3): 204~209, 1985.

弘野慶次郎, 市谷勉雄, 坪井裕志: 左 SVC 遺残を伴った肺静脈瘤の1例, 日本胸部臨床, 44: 844, 1985.

Toshiji Mozai, Masazumi Takenaka and Takanobu Kuriyama: Pulmonary function in SCD (preliminary report), In: Sobue I. ed. TRH & Spinocerebellar Degeneration, Elsevier Science Publishers BV (Biomedical Division), 247~251, 1986.

M. Fujita and R. E. Hyatt: Mayo Medical School, Rochester, MN 55905. PRODUCTION OF CHRONIC BRONCHITIS INVOLVING PERIPHERAL AIRWAYS IN DOGS (abstract). Federation Proceedings 1985; 44(3): 614. Presented at the 69th annual meeting of The Federation of American Societies for Experimental Biology, Anaheim, California, April 22, 1985.

P. Antol, M. Fujita and R. E. Hyatt: Mayo Medical School, Rochester, MN 55905. HISTAMINE TACHYPHYLAXIS IN THE INTACT DOG (abstract). Physiologist 1985; 28(4): 266. Presented at the

36th annual fall meeting of The American Physiological Society, Niagara Falls, New York, Oct. 14, 1985.

〔著 書〕

加藤幹夫：肺癌と肺機能，内科 MOOK，肺癌：126～138，金原出版，東京，1985.

加藤幹夫：酸塩基平衡，肺機能検査：83～116，金芳堂，京都，1985.

加藤幹夫：呼吸調節，肺機能検査：121～133，1985.

薬 剤 部 門

〔学 会 発 表〕

中山守雄，田中共生，右近邦郎，千熊正彦，田中 久：Bismuthiol-II Sulfonate による陰イオン交換樹脂のセレン選択的捕集樹脂への変換——環境水中の Se(IV) および Se(VI) の分別定量——. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 3. 金沢).

岡林義人，中川照真，井上愛子，田中 久，千熊正彦：アリザリンコンプレクソノーランタン錯体担持樹脂によるフッ素化物イオンの捕集. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 3. 金沢).

斎藤 寛，中山宏美，御船正樹，田中善正，千熊正彦，田中 久：Peroxidase の代りに Mn-tetrakis(sulfophenyl)porphine 担持陰イオン交換樹脂を用いる Glycerol の定量. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 4. 金沢).

山口裕子，中川照真，長谷川ゆかり，田中 久，千熊正彦，桜井 弘，中山守雄：チオール化合物と Se(IV) との反応の解析(1)ペニシラミンセレントリスルフィドの HPLC 分離と構造. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 3. 金沢).

川勝一雄，沢岡平和，千熊正彦，川合 満，久世文幸：経口抗アレルギー剤併用時におけるテオフィリンの体内動態. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 4. 金沢).

川合 満，加藤元一，倉沢卓也，田中健一，川勝一雄，千熊正彦：経口抗アレルギー薬併用時におけるテオフィリン徐放製剤の体内動態. 第35回日本アレルギー学会総会 (1985. 9. 28. 前橋).

中川照真，山口祐子，長谷川ゆかり，田中 久，千熊正彦，桜井 弘，中山守雄：セレン代謝のモデル反応としてのチオール化合物とセレン (IV) との反応. 第2回生体関連化学シンポジウム (1985. 6. 4. 東京).

御船正樹，斎藤 寛，田口敦子，田中光彦，福井啓恵，鳥谷竜哉，田中善正，千熊正彦，田中 久：ポルフィリン金属錯体担持樹脂の臨床分析における酸化反応に対する促進効果. 第35回錯体化学討論会 (1985. 10. 10. 広島).

中川照真，長谷川ゆかり，田中 久，千熊正彦，桜井 弘，中山守雄：含硫アミノ酸およびペプチドとセレン (IV) との反応，第8回含硫アミノ酸研究会 (1985. 8. 30. 大津).

田中 久，斎藤 寛，千熊正彦：ペルオキシダーゼ，カタラーゼの mimesis としてのポルフィリン金属錯体担持イオン交換樹脂とその臨床分析への応用. 公開シンポジウム，遷移金属が関与する生体系の構造と機能の研究 (1985. 12. 12. 大阪).

Hisashi Tanaka, Yoshito Okabayashi, Terumichi Nakagawa, Aiko Inoue, Rie Oh and Masahiko Chikuma: Separation and determination of fluoride ion by a highly selective ion-exchange resin. The 14th Conference of The International Society for Fluoride Research (June. 12-15, 1985. Morioka).

Hisashi Tanaka, Morio Nakayama, Masahiko Chikuma, Tomoo Tanaka, Kazuo Itoh, Hiromu Sakurai and Motoko Tanaka: Separation and determination of selenium(IV) and selenium(VI) by the use of bismuthiol-II sulfonic acid and anion-exchange resin. The 15th International Conference of Chemistry for Protection of the Environment (Sept. 10-13, 1985. Leuven, Belgium).

Mitsuru Kawai, Koichi Yamamoto, Hideki Nishiyama, Ryoichi Amitani, Takuya Kurasawa, Kazuo



Kawakatsu, Masahiko Chikuma and Fumiyuki Kuze: Influence of oral antiallergic drugs on theophylline pharmacokinetics. XV World Congress on Diseases of the Chest (August, 25-30, 1985. Sydney, Australia).

森川則文, 向井栄治, 武山正治, 中野 節:  $\beta$ -カロチン製剤の安定性. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 3. 金沢).

福岡憲泰, 武山正治, 中野 節, 小栗頭二: 香川県における中毒症例実態調査. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 3. 金沢).

二宮昌樹, 朝倉正登, 武山正治, 中野 節: 院内製剤ニトロプルシドナトリウム注射液の安定性. 日本薬学会第105年会 (1985. 4. 4. 金沢).

森川則文, 石川安範, 武山正治, 中野 節, 戸崎洋子, 上藤哲郎, 小栗頭二: 脳保護作用を目的としたバルビタール療法とその血中濃度および脳波. 第2回 TDM 研究会総会 (1985. 5. 26. 大阪).

木村なおみ, 塚本豊久, 武山正治, 中野 節: 自動錠剤包装機の問題点, 錠剤の吸湿性について. 第24回日本薬学会中国四国支部大会 (1985. 10. 26. 徳島).

増田繁子, 森川則文, 塚本豊久, 武山正治, 中野 節: 医薬品タンパク結合簡易測定法の検討. 第24回日本薬学会中国四国支部大会 (1985. 10. 27. 徳島).

森川則文, 塚本豊久, 武山正治, 中野 節: Ara-C の HPLC 簡易測定法. 第24回日本薬学会中国四国支部大会 (1985. 10. 27. 徳島).

森川則文, 武山正治, 中野 節, 戸崎洋子, 上藤哲郎, 小栗頭二: Thiamylal の体内動態と脳波. 第6回日本臨床薬理学会 (1985. 11. 29. 別府).

岸本育子, 安原真人, 谷川原祐介, 奥村勝彦, 堀 了平, 川勝一雄, 西村浩一, 川合 満, 千熊正彦, 山岡 清: 点滴静注時における Theophylline の Population Pharmacokinetics. 第6回日本臨床薬理学会 (1985. 11. 29. 別府).

川勝一雄, 武山正治, 岡部好恵, 千熊正彦: 血清中テオフィリン濃度測定における FPIA 法と PETINIA 法の比較検討. 第7回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (1986. 2. 1. 大阪).

#### 〔誌 上 発 表〕

Saito, Y., Nakashima, S., Mifune, M., Odo, J., Tanaka, Y., Chikuma, M. and Tanaka, H.: Determination of hydrogen peroxide by use of an anion-exchange resins modified with manganese tetrakis(sulfophenyl) porphine as a mimesis of peroxidase. Anal. Chim. Acta., 172, 285-287 (1985).

Chikuma, M., Nakagawa, M., Kunimasa, J., Suzuki, Y., Kurisaka, Y. and Tanaka, H.: A chelate-forming resin prepared from a sulfonated dithizone and anion-exchange resin and its application to collection of heavy metal ions. Reactive Polymers, 3, 163-171 (1985).

Johno, I., Kawakatsu, K., Kuwata, H. and Kitazawa, S.: Segmental difference in transmucosal fluid movement and its effect on gastrointestinal drug absorption in rabbits, Int. J. Pharm., 25, 255-263 (1985).

川勝一雄, 千熊正彦: 血清中テオフィリン濃度測定におけるモノクロナル抗体を用いた蛍光偏光免疫測定法の臨床的評価, 薬理と治療, 13(8), 4509-4516 (1985).

川合 満, 千熊正彦: 薬物療法の進歩. COLD の治療. ステロイド薬, 現代医療, 17(4), 751-758 (1985).

川合 満, 千熊正彦: 気管支ぜん息治療に用いられる薬物. ステロイド薬. アレルギーの臨床, 5(8), 612-617 (1985).

川合 満, 千熊正彦: 最近の薬物療法 5. 感染症. COLD. 9. ステロイド薬 (p. 103-121). 現代医療社 (東京), 1985.

千熊正彦: 共同研究のすすめ, 薬事新報, p. 481-482 (1985年 5 月 9 日1329号).